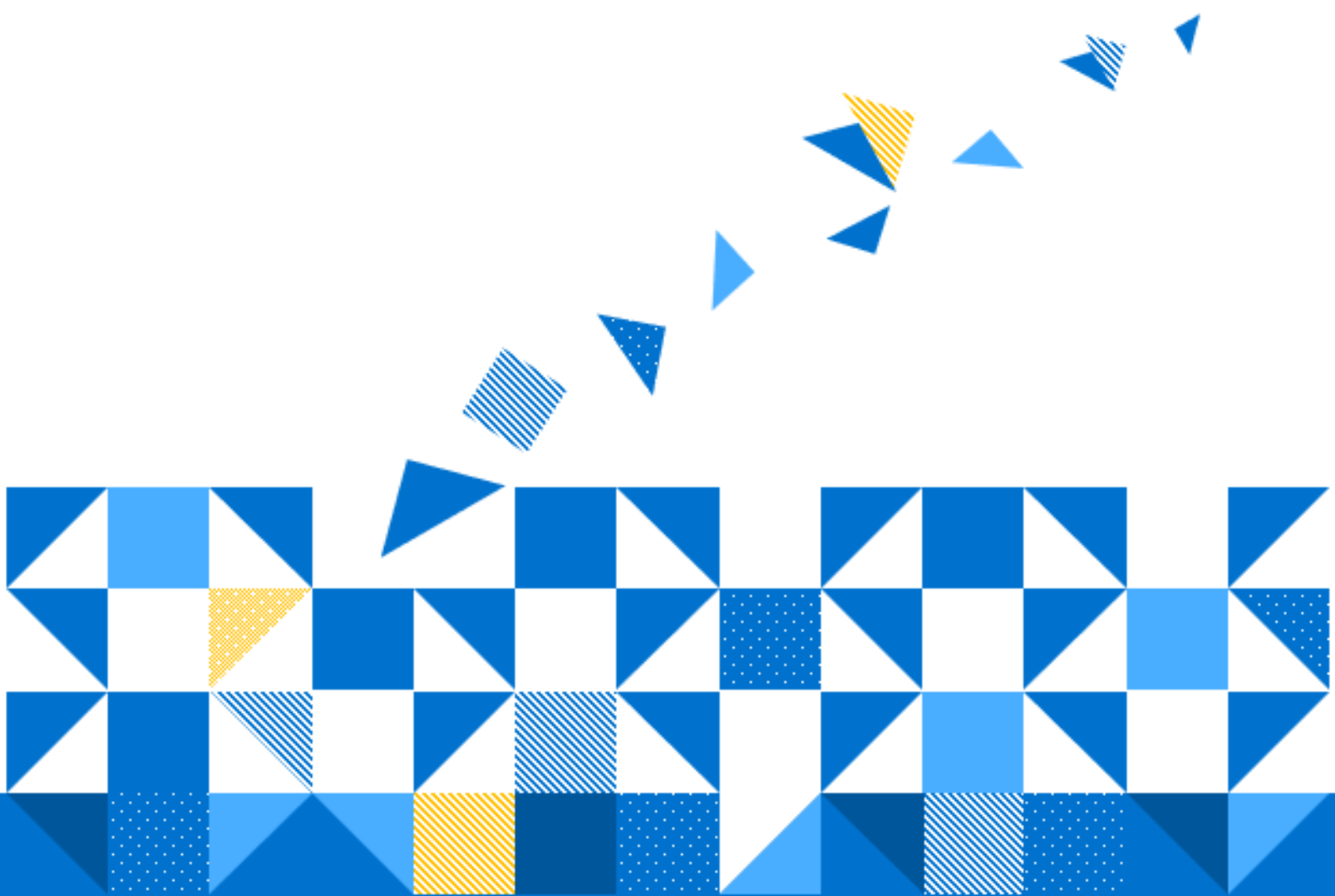


# 東京圏に住む大卒以上の元大企業 OB・OG の キャリアに関するアンケート調査

## 報告書



2025年9月

## ■ はじめに

「東京圏に住む大卒以上の元大企業のOB/OGを対象にしたキャリアに関する調査」(以下、本調査)は、東京圏(神奈川県、埼玉県、東京都、千葉県)に住む60歳以上、現在職に就いていない、従業員数1,000人以上の企業の退職者で、最終学歴は、大学卒業または大学院修了の方を対象にキャリアに関する意識についてウェブアンケート調査を実施したものである。

本調査を通じて、元大企業のOB/OGのキャリア意識、再就職やボランティア活動への意欲等を明らかにすることで、日本社会において、年齢を問わず活躍をしていくための施策を検討するための基礎資料として活用されることを期待している。

## ■ 調査の実施方法

- 調査期間および実施方法: 2025年3月25日から3月27日にかけてウェブ調査により実施。
- 調査対象: 楽天インサイト株式会社の調査パネルを使用し、東京圏に住む60歳以上の現在職に就いていない、従業員数1,000人以上の企業の退職者で、最終学歴は、大学卒業または大学院修了の方を対象とした。
- 有効回収数: 900人 5歳刻み年齢別の均等割付で各300人計900人が対象、全数回収有効。

| 60～64歳 | 65～69歳 | 70～89歳 | 計   |
|--------|--------|--------|-----|
| 300    | 300    | 300    | 900 |

2025年9月16日

本調査の実施に当たっては、労働政策研究・研修機構 理事 小野 晶子氏、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 研究役 小俣 誠司氏、弁護士 福田 隆行氏にご意見をいただいたことに感謝するとともに、本研究レポートに誤りなどがある場合、すべて筆者達個人の責任であることを明記する。

### <本調査の作成者メンバー>

スペシャリスト 小島 明子

インキュベーションプロデューサー 青山 温子

コンサルティングスタッフ 新倉 美紀

インキュベーションプロデューサー 七澤 安希子

### <本調査に関する問い合わせ先>

小島 明子 [kojima.akiko\[at\]jri.co.jp](mailto:kojima.akiko[at]jri.co.jp)

## 目次

|                                         |    |
|-----------------------------------------|----|
| 1. 回答者の属性とクロス集計の分類 .....                | 4  |
| 1.1. 男女別 .....                          | 4  |
| 1.2. 年齢 .....                           | 4  |
| 1.3. 配偶者の有無 .....                       | 4  |
| 1.4. 子供の有無 .....                        | 4  |
| 1.5. 健康状態 .....                         | 5  |
| 1.6. 最も高い役職 .....                       | 5  |
| 1.7. 会社・組織で導入されていた両立支援に関する取り組みや制度 ..... | 6  |
| 1.8. 何歳まで働きたいか .....                    | 7  |
| 1.9. ボランティア活動参加の有無 .....                | 7  |
| 1.10. やってみたいボランティアや社会貢献活動 .....         | 8  |
| 1.11. 労働者協同組合セミナー参加意向 .....             | 9  |
| 1.12. アルumniネットワークの有無と利用 .....          | 9  |
| 1.13. 将来の不安 .....                       | 10 |
| 2. キャリア意識と元勤め先や生活の捉え方 .....             | 11 |
| 2.1. 就職活動時と現在のキャリア意識 .....              | 11 |
| 2.2. 元勤め先や生活の捉え方 .....                  | 14 |
| 3. 経験のある仕事とスキル .....                    | 16 |
| 3.1. 職業生活で携わった仕事 .....                  | 16 |
| 3.2. 身につけたスキルや資格 .....                  | 18 |
| 4. 退職・再就職 .....                         | 20 |
| 4.1. 働いていない理由 .....                     | 20 |
| 4.2. 会社・組織で導入されていた両立支援に関する取り組みや制度 ..... | 22 |
| 4.2.1. 再就職活動 .....                      | 23 |
| 4.2.2. 何歳まで働きたいか .....                  | 23 |
| 4.2.3. ボランティア活動参加の有無 .....              | 24 |
| 4.2.4. 参加したボランティア活動 .....               | 24 |
| 4.2.5. やってみたいボランティアや社会貢献活動 .....        | 25 |
| 4.3. 65歳まで勤めなかった理由 .....                | 26 |
| 4.4. 再就職活動 .....                        | 27 |
| 4.5. 再就職活動を行った際の相談先 .....               | 28 |
| 4.6. 何歳まで働きたいか .....                    | 29 |
| 4.7. 働きたい理由 .....                       | 30 |
| 4.8. 再就職しても良いと感じる仕事 .....               | 31 |

|                                   |           |
|-----------------------------------|-----------|
| 4.9. 希望する働き方のスタイル .....           | 33        |
| <b>5. 社会貢献活動 .....</b>            | <b>35</b> |
| 5.1. ボランティア活動参加 .....             | 35        |
| 5.1.1. ボランティア活動参加の有無 .....        | 35        |
| 5.1.2. 参加したボランティア活動 .....         | 37        |
| 5.1.3. 参加したボランティア活動の有償/無償 .....   | 38        |
| 5.2. やってみたいボランティアや社会貢献活動 .....    | 40        |
| <b>6. 労働者協同組合 .....</b>           | <b>43</b> |
| 6.1. 労働者協同組合法の認知 .....            | 43        |
| 6.2. 労働者協同組合セミナー参加意向 .....        | 45        |
| 6.2.1. 現在のキャリア意識 .....            | 48        |
| 6.2.2. 職業生活で携わった仕事 .....          | 49        |
| 6.2.3. 身につけたスキルや資格 .....          | 50        |
| 6.2.4. 再就職活動 .....                | 51        |
| 6.2.5. 再就職活動を行った際の相談先 .....       | 52        |
| 6.2.6. 働きたい理由 .....               | 52        |
| 6.2.7. 希望する働き方のスタイル .....         | 53        |
| 6.2.8. ボランティア活動参加の有無 .....        | 54        |
| 6.2.9. 参加したボランティア活動 .....         | 55        |
| 6.2.10. やってみたいボランティアや社会貢献活動 ..... | 56        |
| <b>7. アルムナイネットワーク .....</b>       | <b>57</b> |
| 7.1. アルムナイネットワークの有無と利用 .....      | 57        |
| 7.1.1. 現在のキャリア意識 .....            | 59        |
| 7.1.2. 働きたい理由 .....               | 60        |
| 7.1.3. 希望する働き方のスタイル .....         | 60        |
| 7.1.4. ボランティア活動参加の有無 .....        | 61        |
| 7.1.5. やってみたいボランティアや社会貢献活動 .....  | 62        |
| 7.2. アルムナイネットワークの提供サービス .....     | 63        |
| <b>8. 人間関係 .....</b>              | <b>64</b> |
| 8.1. 友人の数 .....                   | 64        |
| 8.2. 共食 .....                     | 66        |
| 8.3. 将来の不安 .....                  | 69        |
| <b>9. 社会や政府、企業への意見 .....</b>      | <b>71</b> |
| <b>10. 図表索引 .....</b>             | <b>73</b> |

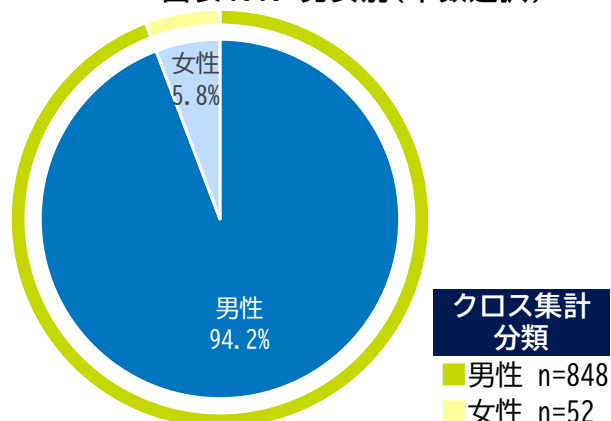
## 1. 回答者の属性とクロス集計の分類

### 1.1. 男女別

回答者の男女比は、男性が94.2%、女性が5.8%だった。

以下外縁は、次章以降のクロス集計の分類を表す。

図表1.1. 男女別(単数選択)

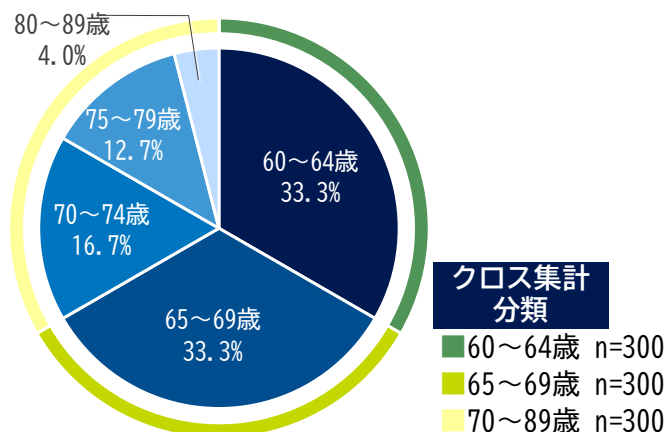


### 1.2. 年齢

60～64歳300人、65～69歳300人、70歳以上300人から有効な回答を得た。

クロス集計の分類は、この3分類としている。

図表1.2. 年齢(単数選択)

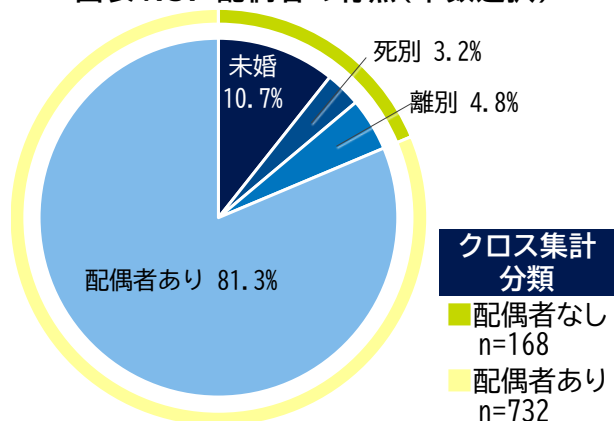


### 1.3. 配偶者の有無

配偶者のいる回答者が8割を超え、婚姻経験のない回答者も1割を超えた。

クロス集計の分類は、現在の配偶者の有無状態で分類し、「未婚」「死別」「離別」を「配偶者なし」とした。

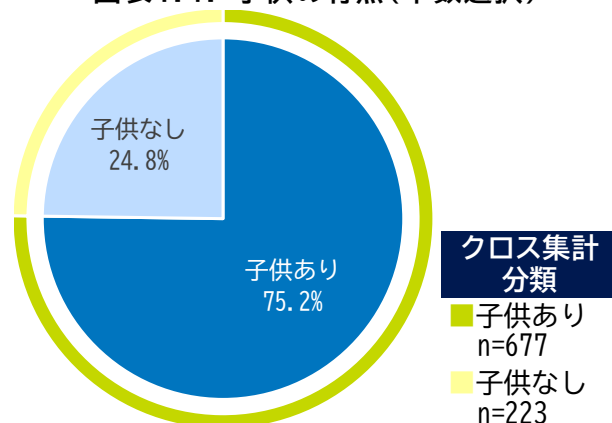
図表1.3. 配偶者の有無(単数選択)



### 1.4. 子供の有無

回答者の約8割に子供あり、子供のいない回答者は約2割だった。

図表1.4. 子供の有無(単数選択)

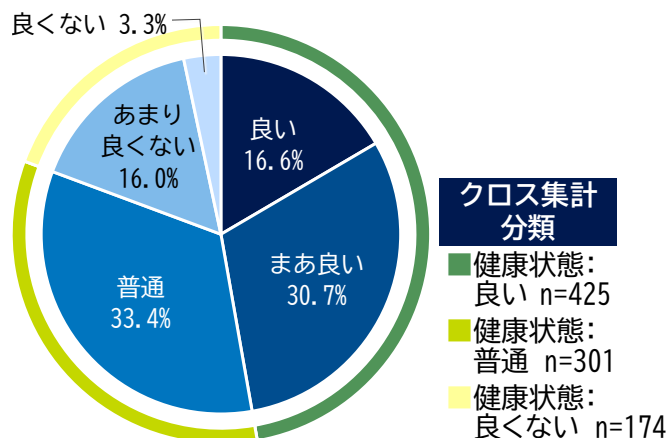


## 1.5. 健康状態

健康状態について尋ねたところ、「良い」と「まあ良い」の計は半数近くに及び、「良くない」「あまり良くない」の計は2割に満たない。

クロス集計の分類は、「良い」と「まあ良い」、「良くない」と「あまり良くない」をそれぞれ合算し3分類とした。

図表1.5. 健康状態(単数選択)

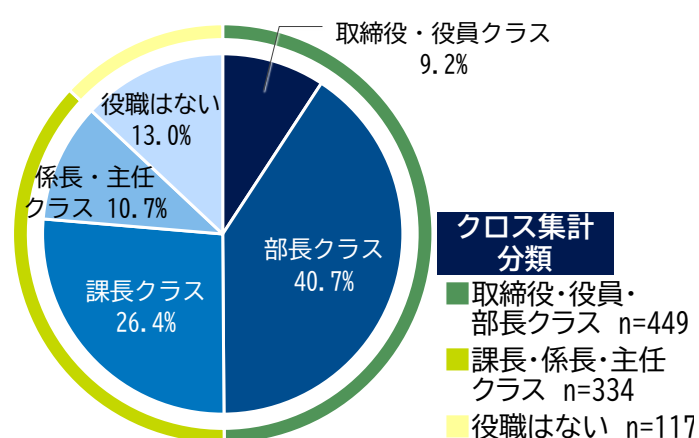


## 1.6. 最も高い役職

定年まで勤めていた企業で就いていた最も高い役職を尋ねたところ、「部長クラス」が最も多く4割を超え、次いで「課長クラス」が約3割と多かった。

クロス集計の分類は、「取締役・役員クラス」と「部長クラス」、「課長クラス」と「係長・主任クラス」をそれぞれ合算し3分類とした。

図表1.6. 最も高い役職(複数選択)



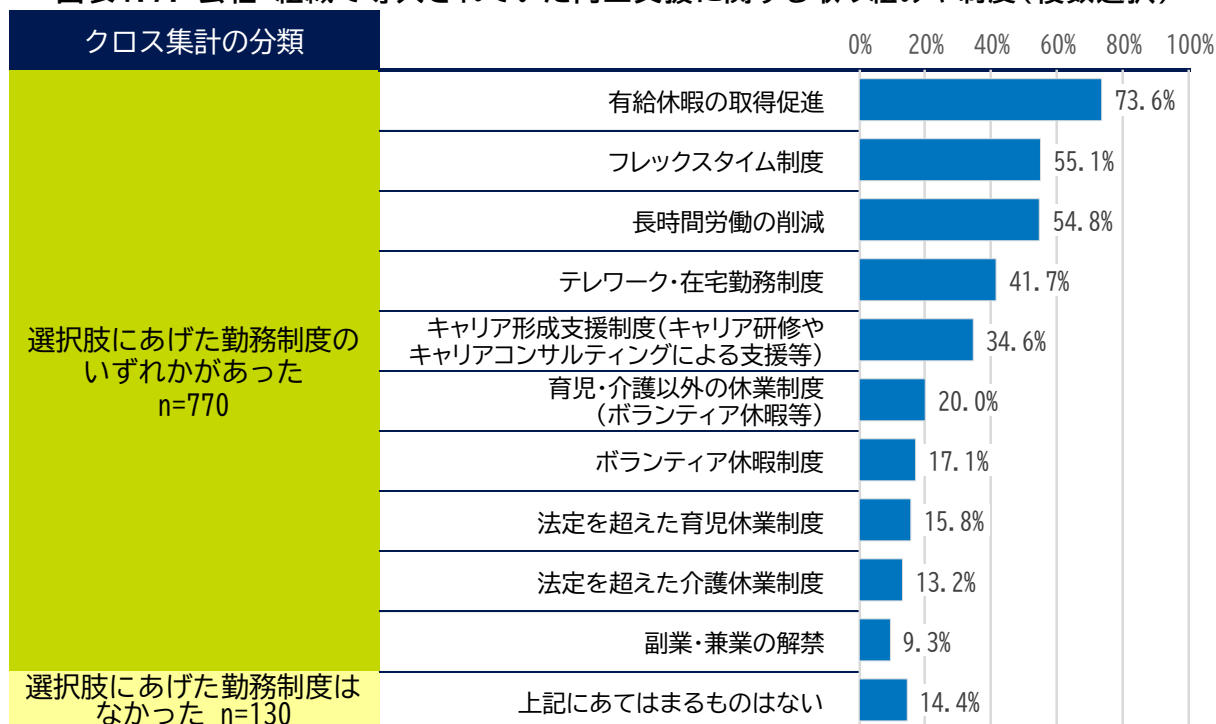
## 1.7. 会社・組織で導入されていた両立支援に関する取り組みや制度

定年まで勤めた会社・組織で導入されていた両立支援に関する取り組みや制度について、例をあげて尋ねたところ、「有給休暇の取得促進」が最も多く7割を超え、次いで「フレックスタイム制度」「長時間労働の削減」が多く半数を超えていた。

クロス集計の分類は、「選択肢にあげた勤務制度はなかった」の選択/非選択により2分類とした。

この設問への回答は、[4.2.会社・組織で導入されていた両立支援に関する取り組みや制度](#)で詳述する。

図表1.7. 会社・組織で導入されていた両立支援に関する取り組みや制度（複数選択）



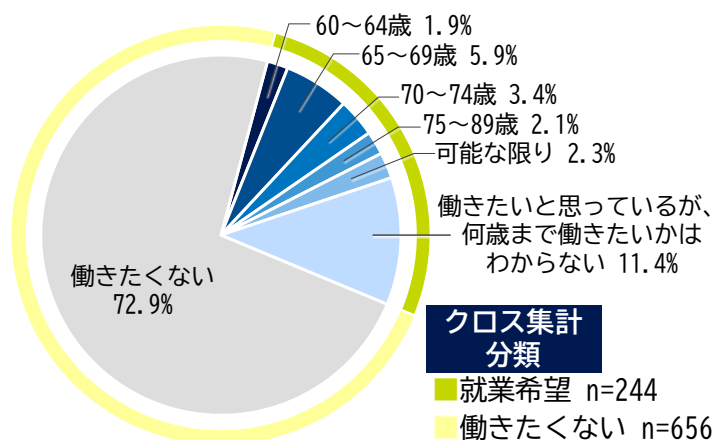
## 1.8. 何歳まで働きたいか

働きたいか、働きたい場合何歳まで働きたいか尋ねたところ、「働きたくない」との回答が最も多く7割を超えた。就業を希望する回答では、「働きたいと思っているが、何歳まで働きたいかはわからない」との回答が最も多く、具体的にあげられた年齢では「65～69歳」が多い。

クロス集計の分類は、「働きたくない」とそれ以外の選択の2分類とした。

この設問への回答は、[4.6.何歳まで働きたいか](#)で詳述する。

図表1.8. 何歳まで働きたいか(単数選択)

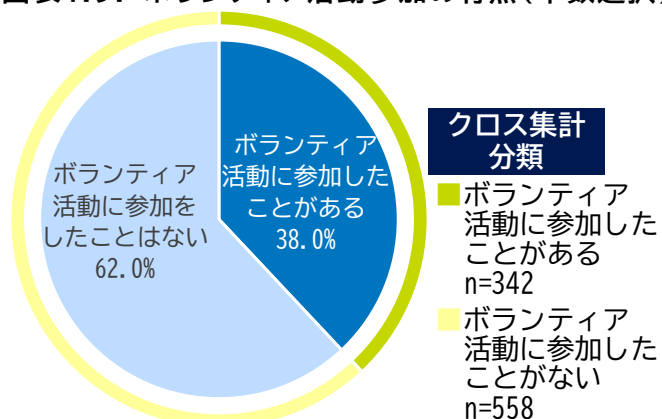


## 1.9. ボランティア活動参加の有無

最近5年間で何らかのボランティア活動に参加したことがあるか尋ねたところ、「ボランティア活動に参加をしたことはない」との回答が6割を超えた。

この設問への回答は、[5.1.1.ボランティア活動参加の有無](#)で詳述する。

図表1.9. ボランティア活動参加の有無(単数選択)

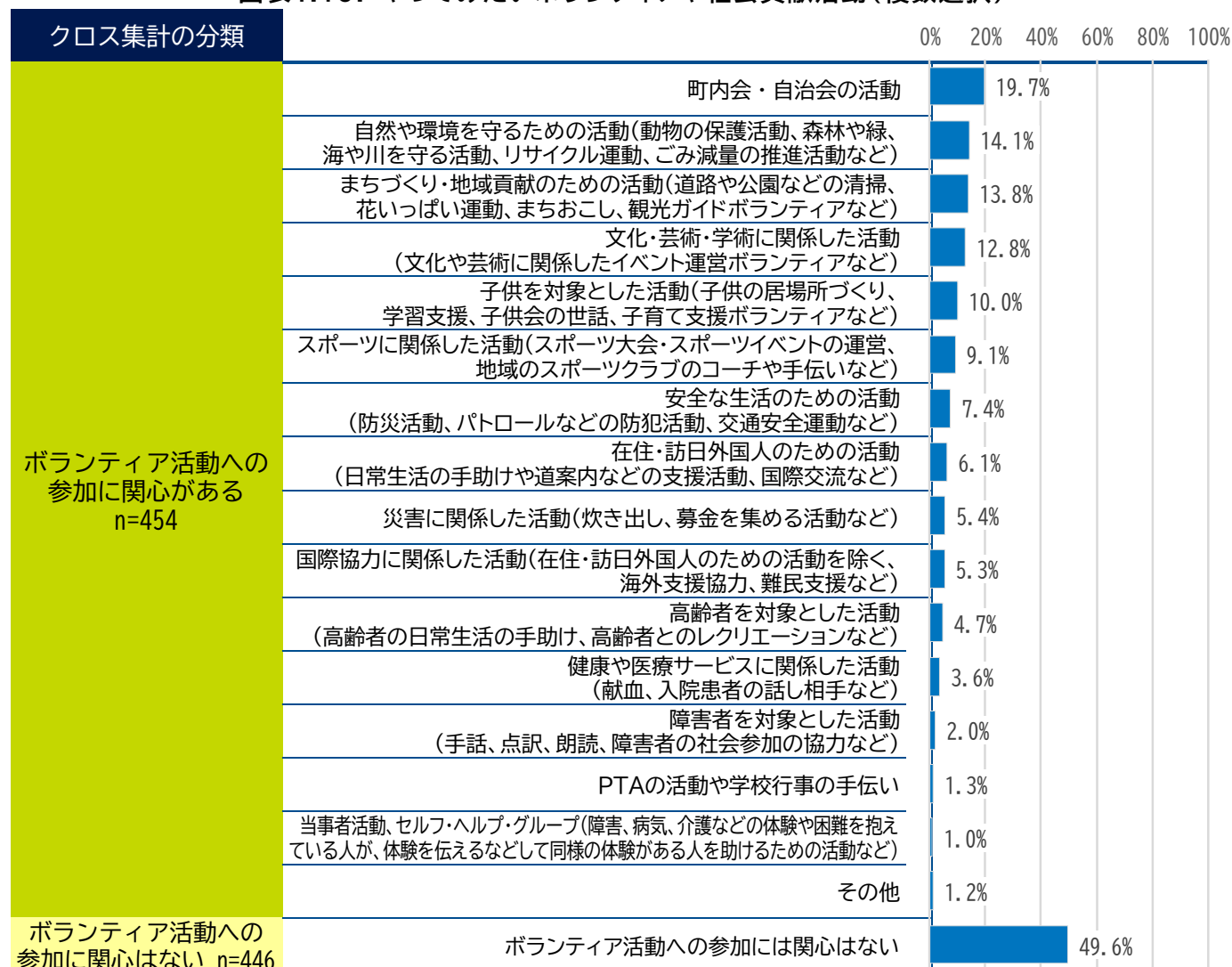


## 1.10. やってみたいボランティアや社会貢献活動

ボランティアや社会貢献活動を行う際に、やってみたいことを尋ねたところ、「ボランティア活動への参加には関心はない」との回答が最も多く、約半数に及んだ。やってみたいボランティアや社会貢献活動としてあげられた中では、「町内会・自治会の活動」が2割近くで最も多く、他の選択肢は約1割以下だった。

この設問への回答は、[5.2. やってみたいボランティア活動](#)で詳述する。

図表1.10. やってみたいボランティアや社会貢献活動（複数選択）



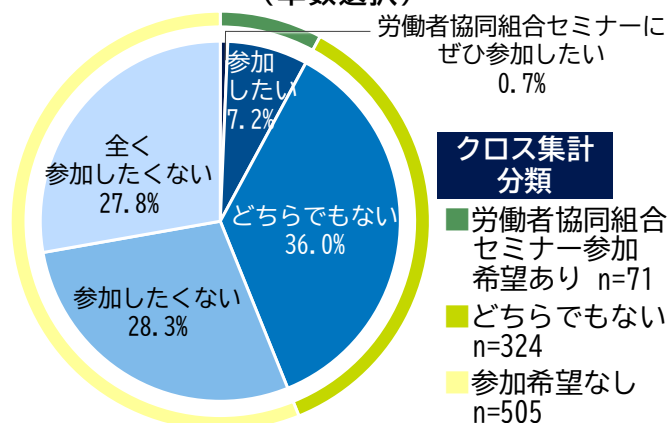
## 1.11. 労働者協同組合セミナー参加意向

国や自治体が行う労働者協同組合の設立や参画についてのセミナーへの参加意向を尋ねたところ、「労働者協同組合セミナーにぜひ参加したい」と「参加したい」の計は約1割であった。

クロス集計の分類は、「労働者協同組合セミナーにぜひ参加したい」と「参加したい」、「全く参加したくない」と「参加したくない」をそれぞれ合算し3分類とした。

この設問への回答は、[6.2.労働者協同組合セミナー参加意向](#)で詳述する。

図表1.11. 労働者協同組合セミナー参加意向  
(単数選択)



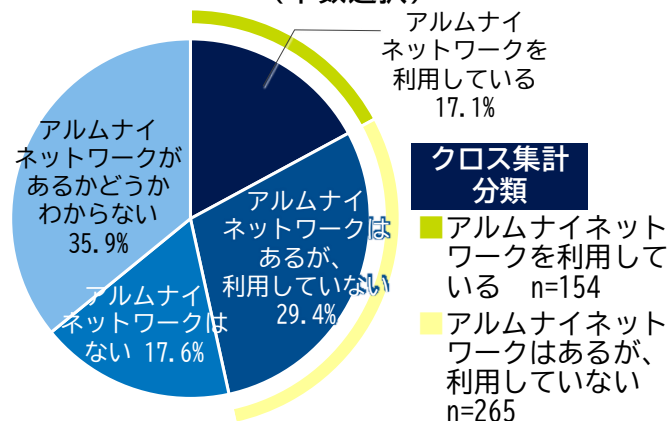
## 1.12. アルumniネットワークの有無と利用

アルumniネットワーク(例:OB/OG会など企業の元従業員で形成されるコミュニティ)の利用状況等を尋ねたところ、「アルumniネットワークがあるかどうか分からない」との回答が最も多く約4割に及び、次いで「アルumniネットワークはあるが、利用していない」との回答が約3割だった。

クロス集計は、「アルumniネットワークを利用している」「アルumniネットワークはあるが、利用していない」というアルumniネットワークがあると回答した層のみを対象とした。

この設問への回答は、[7.1.アルumniネットワークの有無と利用](#)で詳述する。

図表1.12. アルumniネットワークの有無と利用  
(単数選択)



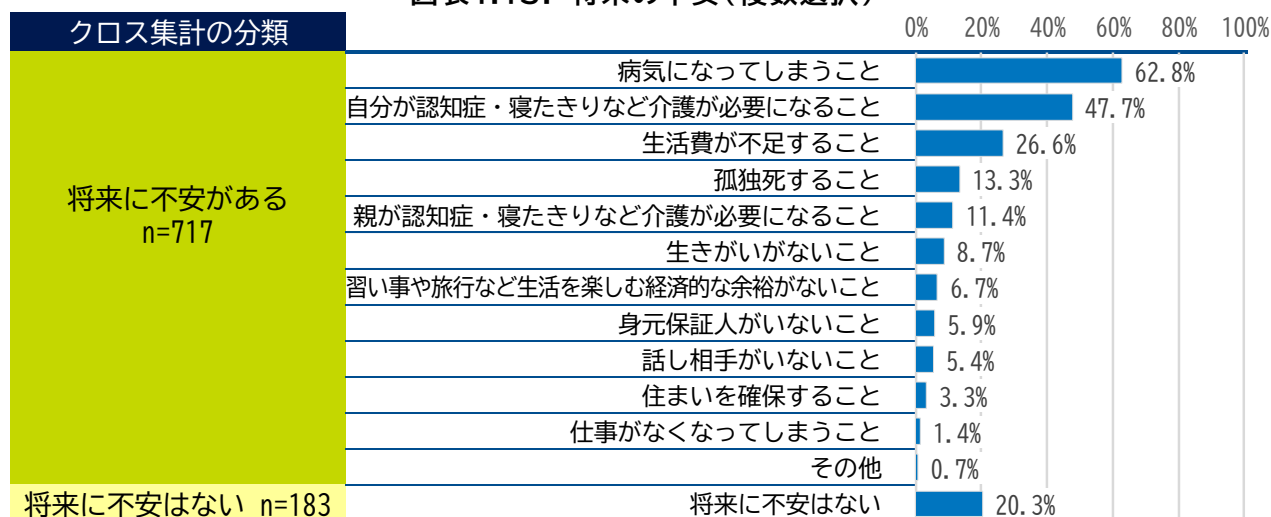
## 1.13. 将来の不安

将来の不安について尋ねたところ、「病気になってしまうこと」という回答が6割を超えて最も多く、次いで「自分が認知症・寝たきりなど介護が必要になること」も約半数の回答者があげた。一方で「将来に不安はない」との回答も2割を超えた。

クロス集計の分類は、「将来に不安はない」の選択/非選択により2分類とした。

この設問への回答は、[8.3.将来の不安](#)で詳述する。

図表1.13. 将来の不安(複数選択)



## 2. キャリア意識と元勤め先や生活の捉え方

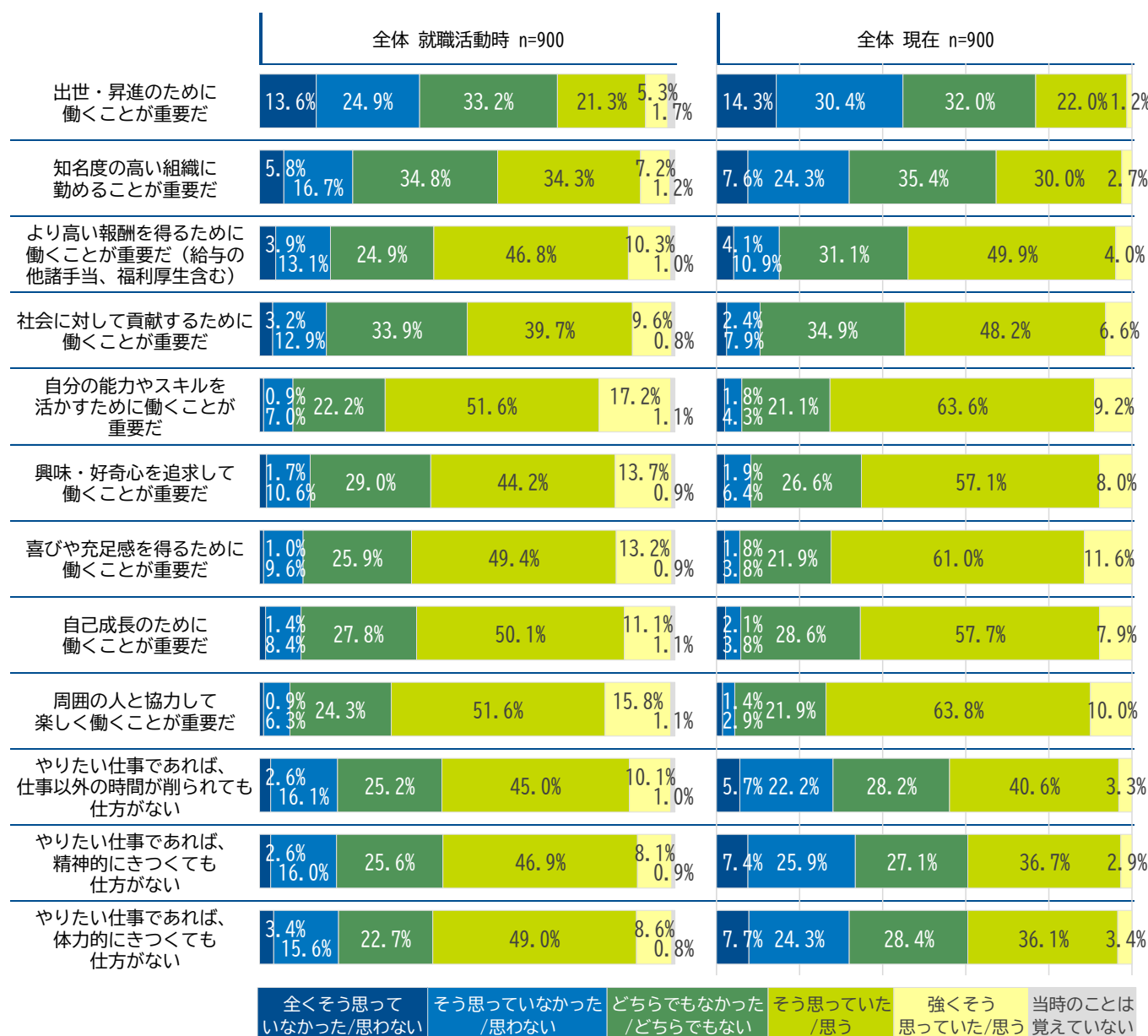
### 2.1. 就職活動時と現在のキャリア意識

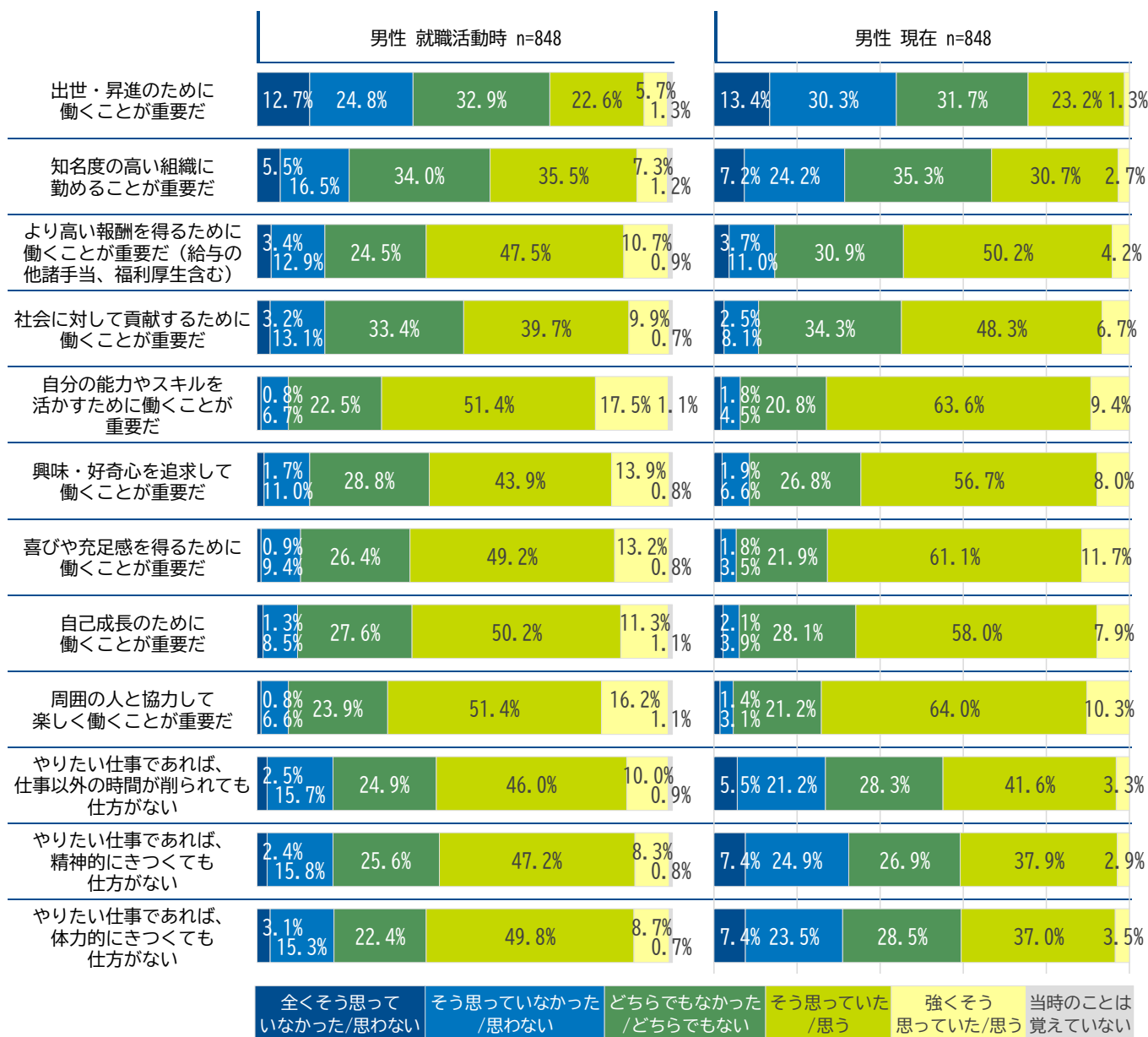
学生時代に就職活動を行っていた当時と、現在の働くことに対する気持ちを尋ねたところ、「やりたい仕事であれば体力的にきつなくても仕方がない」「やりたい仕事であれば、精神的にきつなくても仕方がない」「やりたい仕事であれば、仕事以外の時間が削られても仕方がない」「(そう思っていた/思う)」「強くそう思っていた/思う」(以下同様)は、就職活動時では約6割だったが、現在は約4割にとどまる。

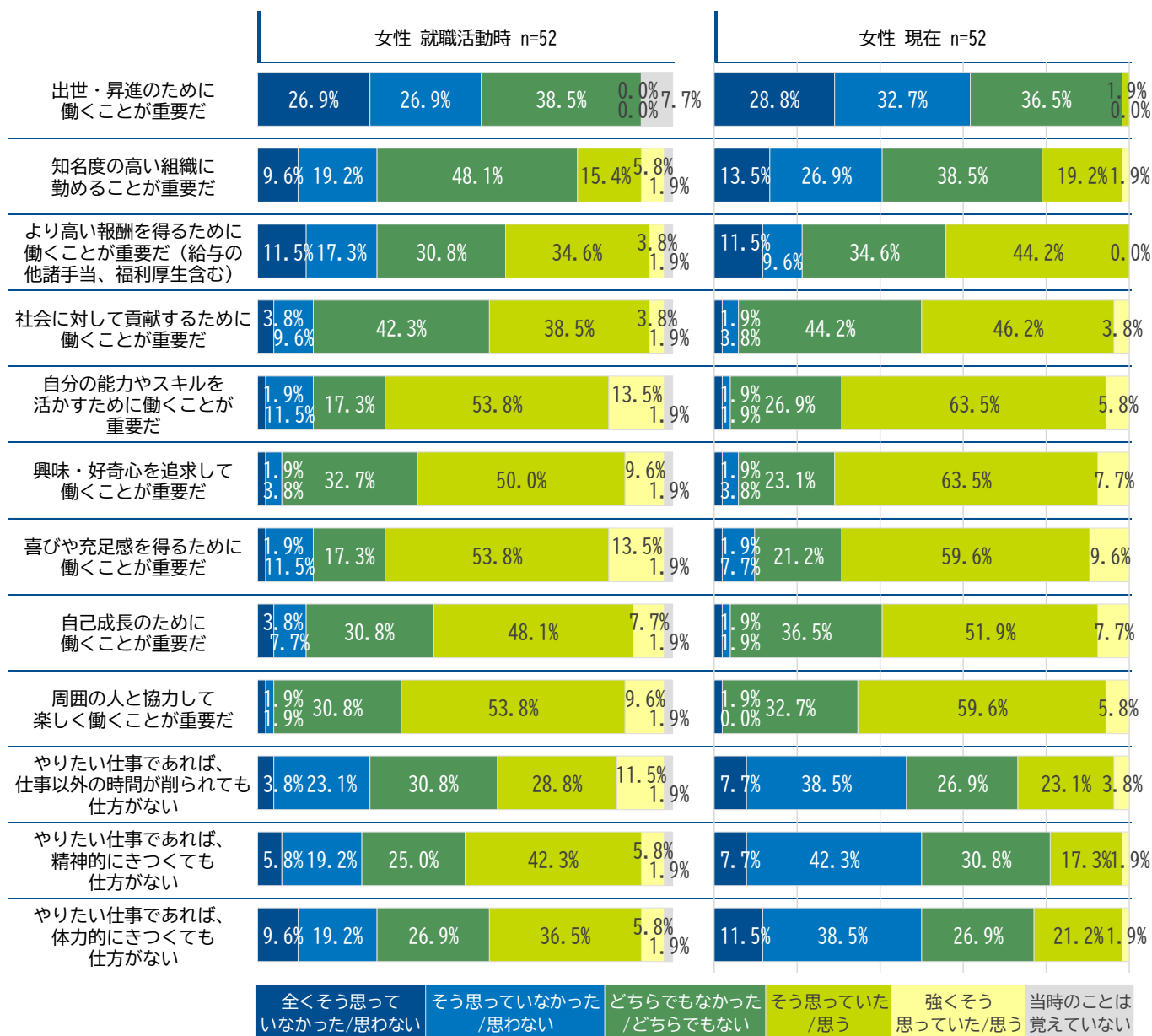
一方で、「自分の能力やスキルを活かすために働くことが重要だ」、「周囲の人と協力して楽しく働くことが重要だ」という回答者は、就職活動時、現在ともに約7割に上る。

女性は「出世・昇進のために働くことが重要だ」と思う回答者は就職活動時、現在ともほとんどいない。就職活動時の「知名度の高い組織に勤めることが重要だ」と思う回答者、現在の「やりたい仕事であれば、精神的にきつなくても仕方がない」と思う回答者も全体に比べて少ない。

図表2.1. 就職活動時と現在のキャリア意識(単一選択)







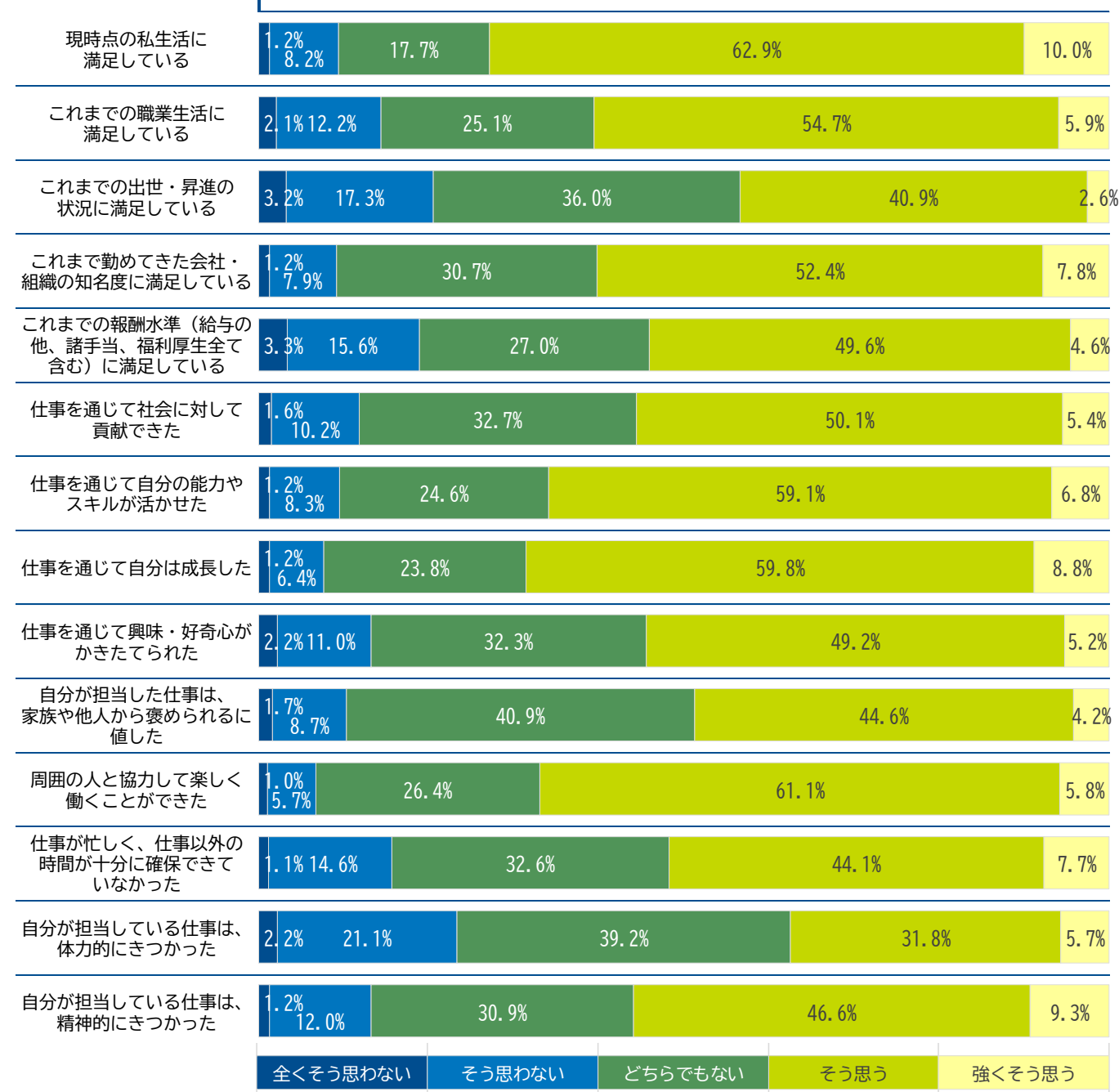
## 2.2. 元勤め先や生活の捉え方

元勤め先や生活に関して尋ねたところ、「現時点の私生活に満足している」との回答（「そう思う」、「強くそう思う」以下同様）が7割を超え最も多く、次いで「仕事を通じて自分は成長した」「周囲の人と協力して楽しく働くことができた」も約7割に及ぶ。

女性は1番目に「これまでの出世・昇進の状況に満足している」で否定（「全くそう思わない」「そう思わない」以下同）、2番目に「仕事が忙しく、仕事以外の時間が十分に確保できていなかった」の否定が多く、いずれも2割を超える。

図表 2.2. 元勤め先や生活の捉え方（単一選択）

全体 n=900



|                                     | 男性 n=848      |       |        |       |         | 女性 n=52       |       |        |       |  |
|-------------------------------------|---------------|-------|--------|-------|---------|---------------|-------|--------|-------|--|
| 現時点の私生活に満足している                      | 1.2%<br>8.4%  | 17.8% | 62.5%  | 10.1% |         | 1.9%<br>5.8%  | 15.4% | 69.2%  | 7.7%  |  |
| これまでの職業生活に満足している                    | 2.0%<br>12.1% | 24.4% | 55.4%  | 6.0%  |         | 3.8%<br>13.5% | 36.5% | 42.3%  | 3.8%  |  |
| これまでの出世・昇進の状況に満足している                | 2.8%<br>16.9% | 36.3% | 41.3%  | 2.7%  |         | 9.6%<br>25.0% | 30.8% | 34.6%  | 0.0%  |  |
| これまで勤めてきた会社・組織の知名度に満足している           | 1.1%<br>7.9%  | 30.7% | 52.4%  | 8.0%  |         | 3.8%<br>7.7%  | 30.8% | 53.8%  | 3.8%  |  |
| これまでの報酬水準（給与の他、諸手当、福利厚生全て含む）に満足している | 2.8%<br>15.9% | 26.9% | 49.8%  | 4.6%  |         | 11.5%<br>9.6% | 28.8% | 46.2%  | 3.8%  |  |
| 仕事を通じて社会に対して貢献できた                   | 1.4%<br>10.4% | 32.5% | 50.1%  | 5.5%  |         | 3.8%<br>7.7%  | 34.6% | 50.0%  | 3.8%  |  |
| 仕事を通じて自分の能力やスキルが活かせた                | 0.9%<br>8.3%  | 24.8% | 59.2%  | 6.8%  |         | 5.8%<br>9.6%  | 21.2% | 57.7%  | 5.8%  |  |
| 仕事を通じて自分は成長した                       | 1.1%<br>6.7%  | 23.5% | 60.0%  | 8.7%  |         | 3.8%<br>11.9% | 28.8% | 55.8%  | 9.6%  |  |
| 仕事を通じて興味・好奇心がかきたてられた                | 2.0%<br>11.4% | 32.5% | 49.1%  | 5.0%  |         | 5.8%<br>3.8%  | 28.8% | 51.9%  | 9.6%  |  |
| 自分が担当した仕事は、家族や他人から褒められるに値した         | 1.4%<br>9.2%  | 40.4% | 44.7%  | 4.2%  |         | 5.8%<br>0.0%  | 48.1% | 42.3%  | 3.8%  |  |
| 周囲の人と協力して楽しく働くことができた                | 0.8%<br>5.7%  | 25.7% | 61.9%  | 5.9%  |         | 3.8%<br>5.8%  | 38.5% | 48.1%  | 3.8%  |  |
| 仕事が忙しく、仕事以外の時間が十分に確保できていなかった        | 1.1%<br>13.9% | 32.7% | 44.7%  | 7.7%  |         | 1.9%<br>25.0% | 30.8% | 34.6%  | 7.7%  |  |
| 自分が担当している仕事は、体力的にきつかった              | 2.4%<br>21.0% | 39.2% | 32.0%  | 5.5%  |         | 0.0%<br>23.1% | 40.4% | 28.8%  | 7.7%  |  |
| 自分が担当している仕事は、精神的にきつかった              | 1.3%<br>11.9% | 31.0% | 46.7%  | 9.1%  |         | 0.0%<br>13.5% | 28.8% | 44.2%  | 13.5% |  |
|                                     | 全くそう思わない      |       | そう思わない |       | どちらでもない | そう思う          |       | 強くそう思う |       |  |

## 3. 経験のある仕事とスキル

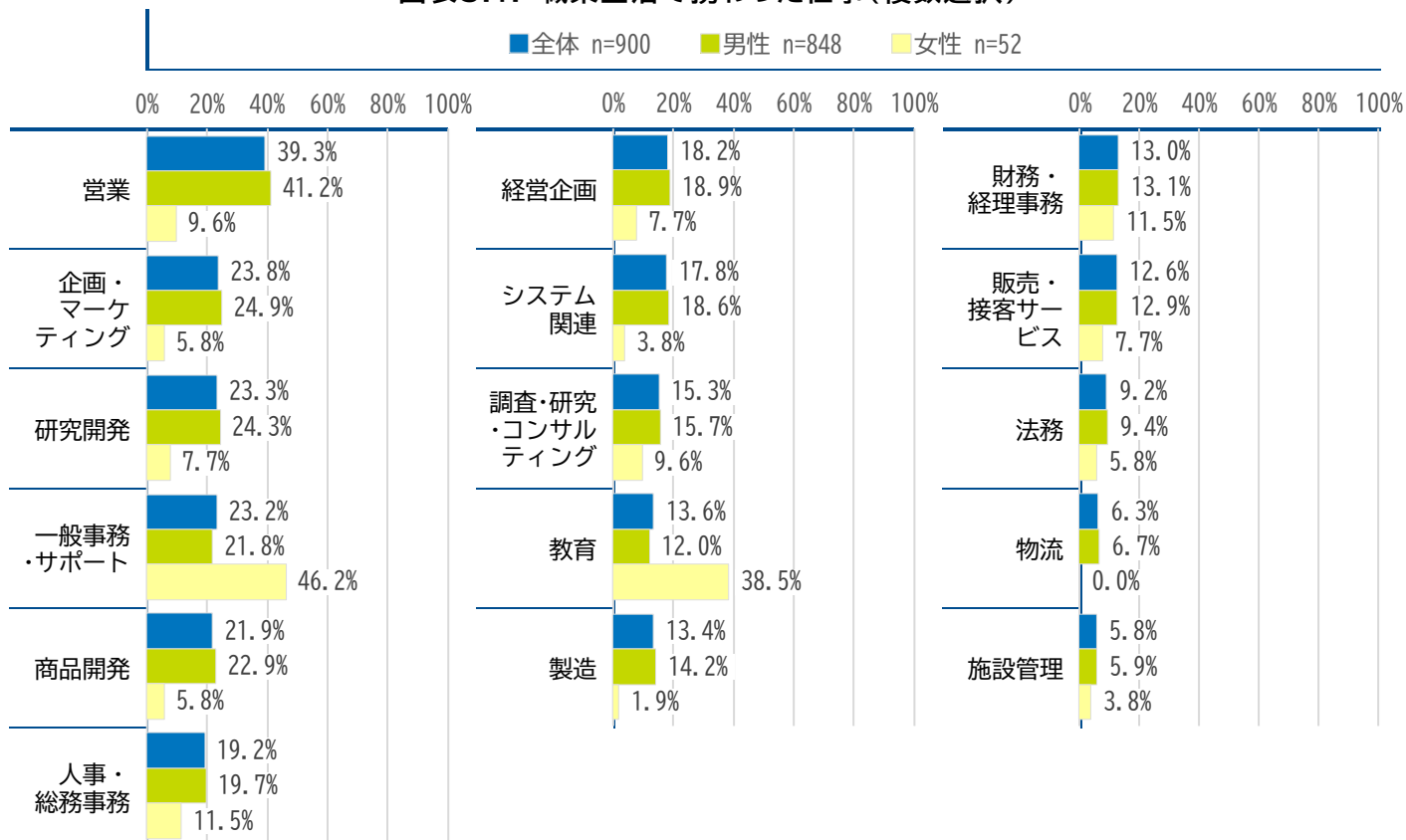
### 3.1. 職業生活で携わった仕事

職業生活で携わった仕事について尋ねたところ、最も多いのは「営業」で約4割、次いで「企画・マーケティング」「研究開発」「一般事務・サポート」「商品開発」で2割を超える。

女性は「一般事務・サポート」が約半数、「教育」も4割近くある。

今後、就業やボランティア活動で活かしたいと思っている人たちの過去の職業経験を把握するために、就業希望別、ボランティア経験別、ボランティア希望別でもクロス集計を行ったが、最も多いのは「営業」で約4割であった。

図表3.1. 職業生活で携わった仕事(複数選択)



※ 選択肢「広報・IR」「その他」「翻訳・通訳」「電話オペレーター」「軽作業」「保育」「介護」の選択は、5%に満たなかった。

※ 選択肢「その他」には、建設工事、建築技術者、現場管理、生産技術、技術指導、海外技術支援、設計、保守、測量、ディーリング、渉外、審査、購買、調達、リスク管理、リスクマネジメント、プロジェクトマネージャー、公務員獣医師、自動車の検査、運転手、路線バスドライバー、船長、空港ポーター、原価低減活動、品質管理、品質保証、顧客サービス、関連組織、サステナビリティ、公務員、捜査などがあつた。

■ 就業希望 n=244  
■ 働きたくない n=656

■ ボランティア活動に参加したことがある n=342  
■ ボランティア活動に参加したことはない n=558

■ ボランティア活動への参加に関心がある n=454  
■ ボランティア活動への参加に関心はない n=446

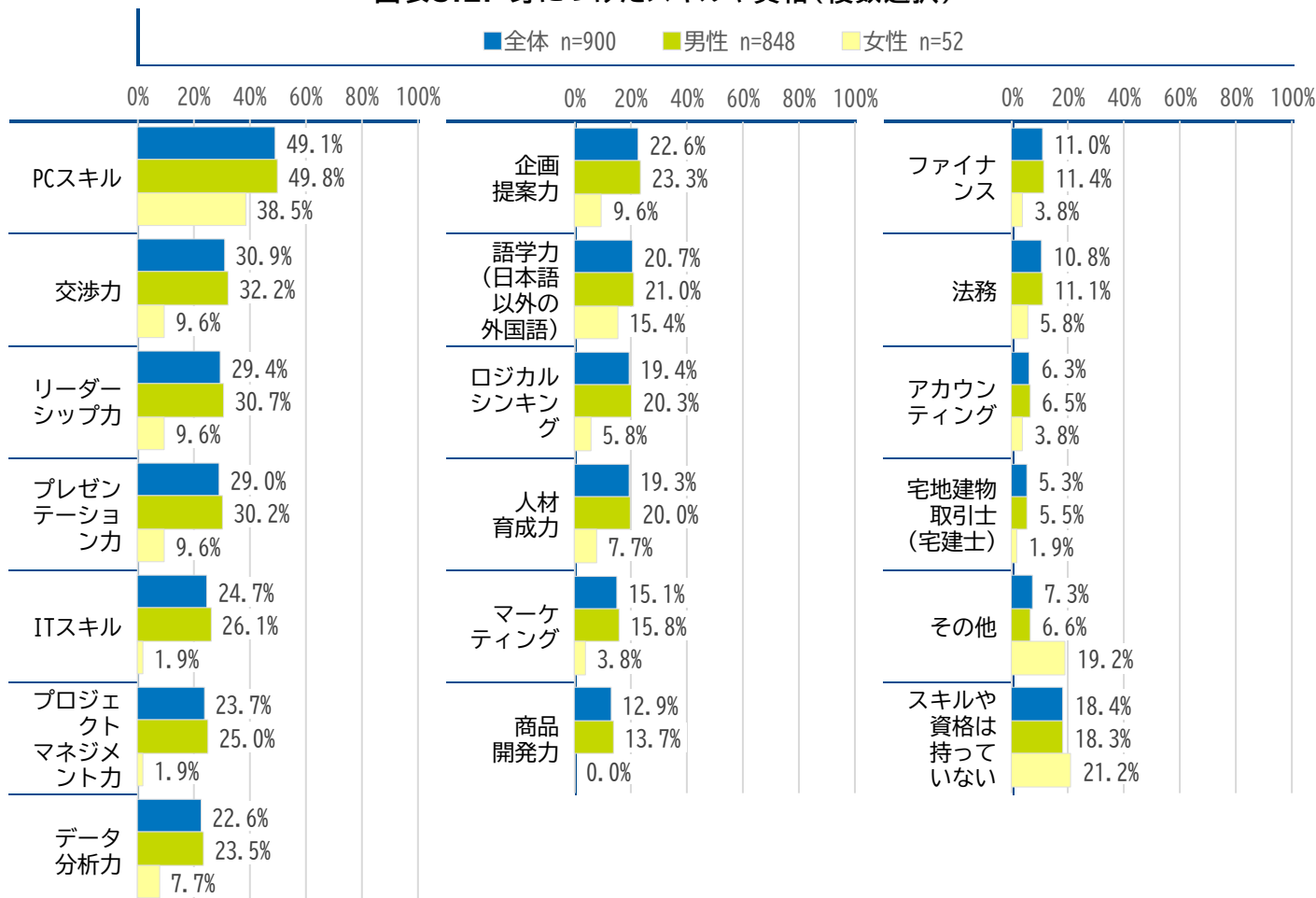
|                |     |     |     |
|----------------|-----|-----|-----|
| 営業             | 43% | 42% | 44% |
| 企画・マーケティング     | 38% | 37% | 35% |
|                | 27% | 28% | 27% |
|                | 23% | 21% | 21% |
| 研究開発           | 26% | 24% | 23% |
| 一般事務・サポート      | 22% | 23% | 24% |
|                | 25% | 24% | 24% |
|                | 23% | 23% | 22% |
| 商品開発           | 24% | 25% | 23% |
|                | 21% | 20% | 20% |
| 人事・総務事務        | 18% | 22% | 22% |
|                | 20% | 18% | 17% |
| 経営企画           | 20% | 20% | 19% |
|                | 17% | 17% | 17% |
| システム関連         | 18% | 18% | 18% |
|                | 18% | 18% | 17% |
| 調査・研究・コンサルティング | 19% | 18% | 18% |
|                | 14% | 14% | 12% |
| 教育             | 16% | 17% | 18% |
|                | 13% | 11% | 9%  |
| 製造             | 14% | 15% | 15% |
|                | 13% | 13% | 12% |
| 財務・経理事務        | 11% | 13% | 12% |
|                | 14% | 13% | 14% |
| 販売・接客サービス      | 18% | 14% | 14% |
|                | 11% | 11% | 11% |
| 法務             | 9%  | 10% | 10% |
|                | 9%  | 9%  | 9%  |
| 物流             | 7%  | 6%  | 6%  |
|                | 6%  | 6%  | 7%  |
| 施設管理           | 8%  | 7%  | 7%  |
|                | 5%  | 5%  | 5%  |

## 3.2. 身につけたスキルや資格

職務経験等を通じて身につけたスキルや資格を尋ねたところ、「PCスキル」が最も多い半数近く、次いで「交渉力」「リーダーシップ力」「プレゼンテーション力」と続き、それぞれ約3割あった。

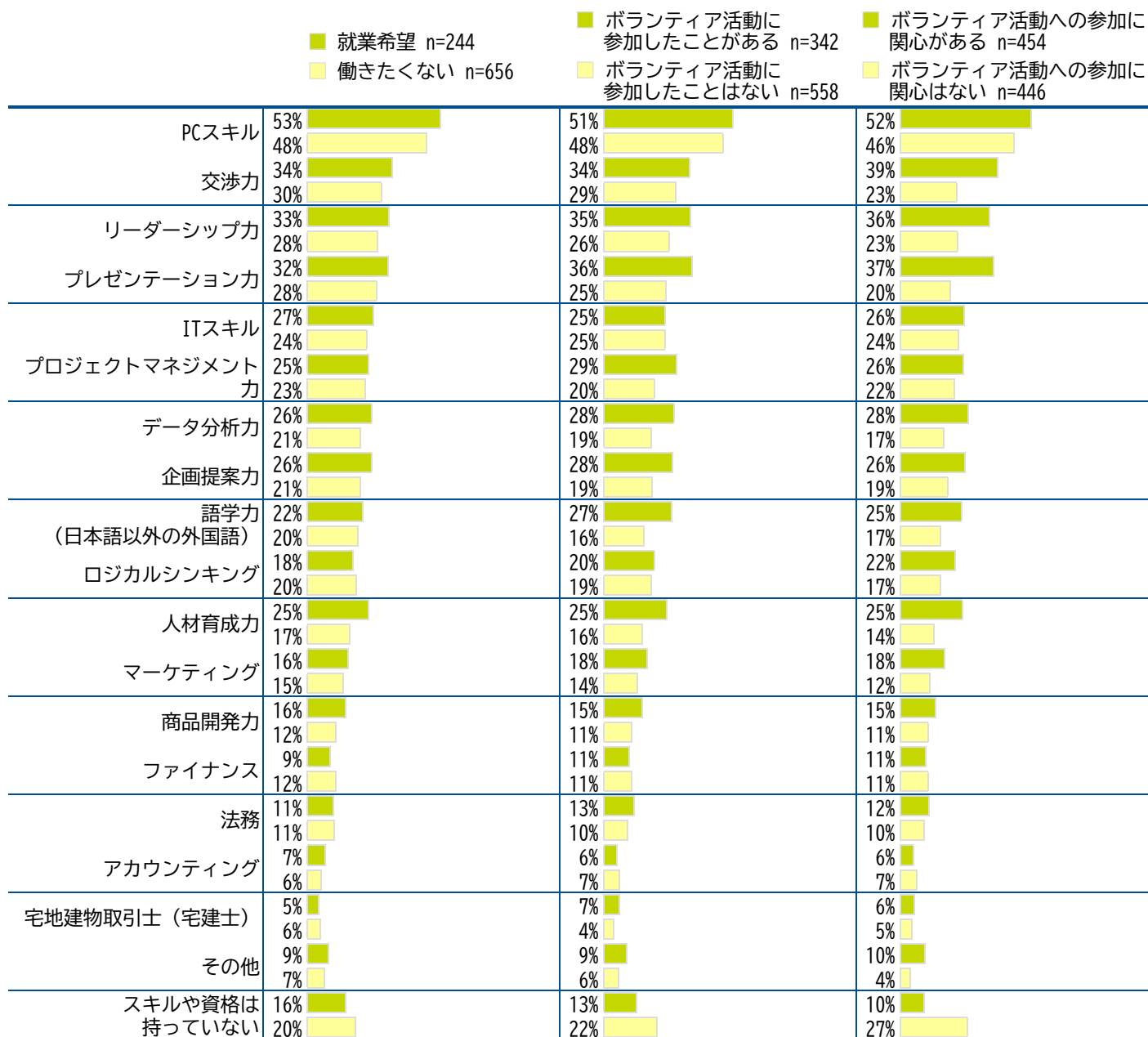
今後、就業やボランティア活動で活かしたいと思っている人たちの過去のスキルや資格を把握するために、就業希望別、ボランティア経験別、ボランティア希望別でもクロス集計を行ったが、最も多いのは「PCスキル」で役5割であった。

図表3.2. 身につけたスキルや資格(複数選択)



※ 選択肢「仮説構築力」「行政書士」「社会保険労務士」「中小企業診断士」「公認会計士」「税理士」「弁護士」「介護福祉士」「管理栄養士」の選択は、5%に満たなかった。

※ 選択肢「その他」には、大型免許、海技士、運航管理者、教員免許、初級システムアドミニストレーター、公認内部監査人、マネジメント審査員、監査能力、簿記、建設業経理事務士、貸金業務取扱主任者、生損保全資格、銀行口座解明、経営アセスメント、FP、QC、コンプライアンスオフィサー、一般旅行業務取扱主任者、添乗員、通訳、マンション管理士、司書、貿易実務、土木施工管理技士、建築士、建築施工監理、技術士、回路設計、計量士、危険物、高圧ガス、電気工事士、特種情報処理技術者、公害防止、農業機械士、放射線管理責任者、第一種放射線取扱主任者、衛生管理者、工学博士、建設系資格、メディカル、MR、薬剤師、精神保健福祉士、獣医師、ポストドクター、学位(博士号)、弁理士、演出力、気象予報士などがあつた。



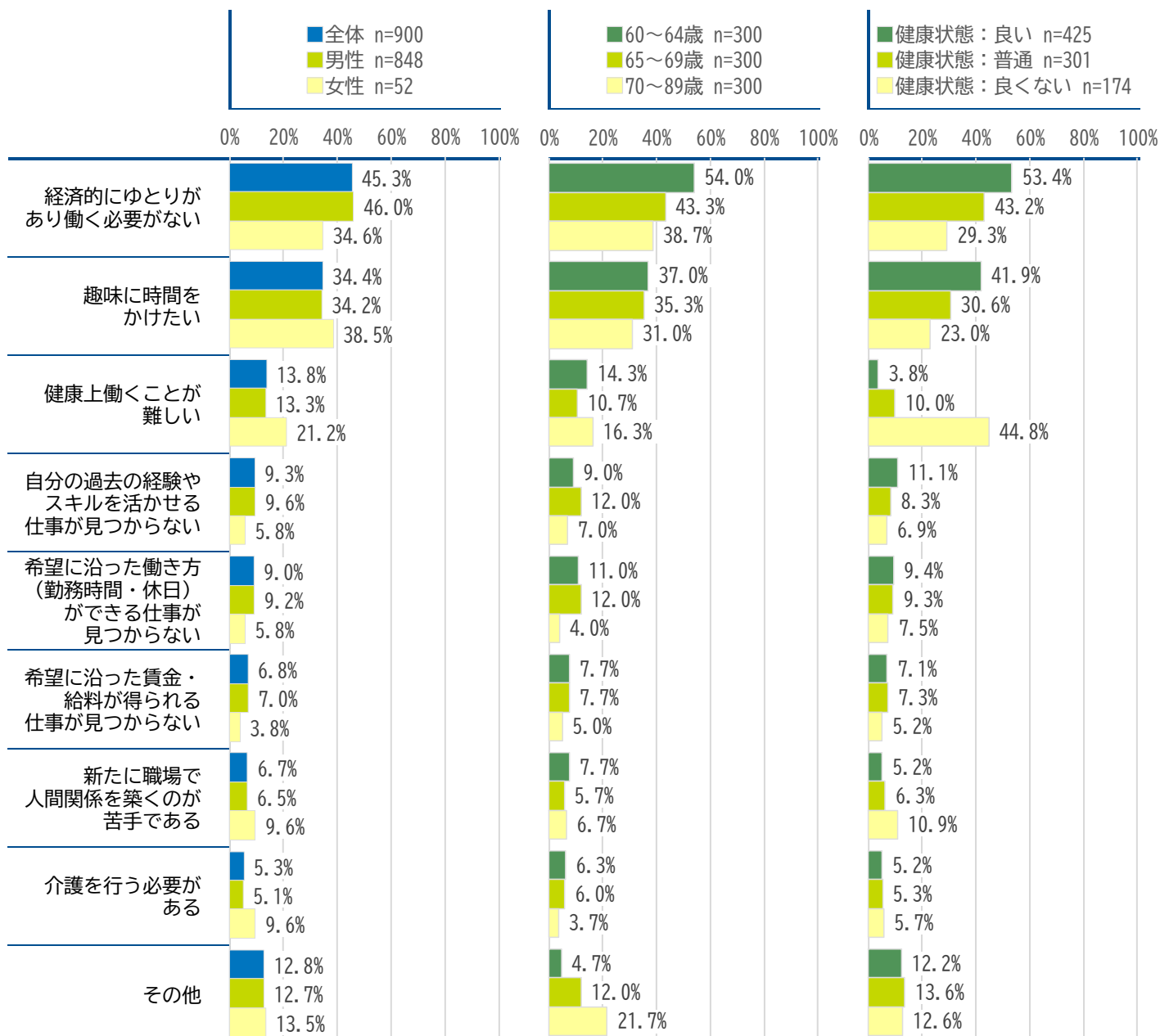
## 4. 退職・再就職

### 4.1. 働いていない理由

働いていない理由を尋ねたところ、「経済的にゆとりがあり働く必要がない」との理由が半数近くと最も多く、次いで「趣味に時間をかけたい」が3割を超えた。他の理由は約1割以下である。

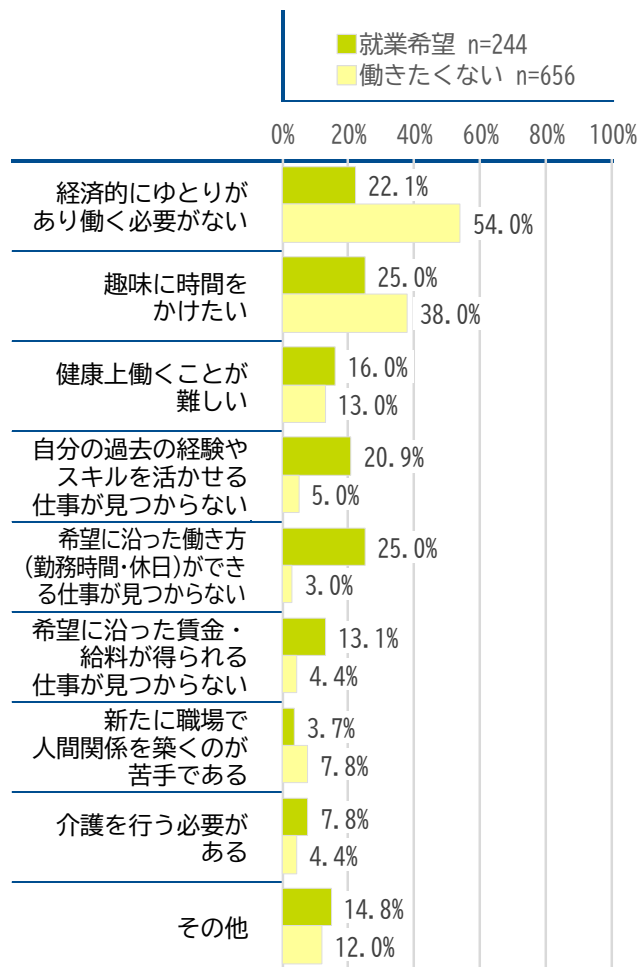
「経済的にゆとりがあり働く必要がない」との理由は、女性は約3割と少なく、若い世代ほど多く、健康状態が良い層ほど「趣味に時間をかけたい」との理由が多い。また、就職を希望する層では「経済的にゆとりがあり働く必要がない」との理由は少なく、「自分の過去の経験やスキルを活かせる仕事が見つからない」「希望に沿った働き方(勤務時間・休日)ができる仕事が見つからない」を理由にあげる回答者が多い。

図表 4.1. 働いていない理由(複数選択)



※ 選択肢「仕事を探すために必要な面接や履歴書作成などが面倒である」「仕事の探し方がわからない」の選択は、5%に満たなかった。

※ 選択肢「その他」には、退職したから、定年になったから、リタイア、高齢のため、年齢的に求人がない、年金暮らし、後期高齢者で働く必要がない、のんびり過ごすつもり、働く気持ちの低下、仕事も会社も嫌い、自由に時間を使いたい、若い人に活躍の場を譲るべきと思っている、仕事はやり遂げたので、残りの時間は自分や家族に使いたい、ボランティア、疲れた、まずは身体の再構築がしたいから、家族の面倒を見ることがあり時間が不確定、現在就職活動中である、専門職大学院進学のため、会社都合、十分働いた、働きたくないなどがあった。



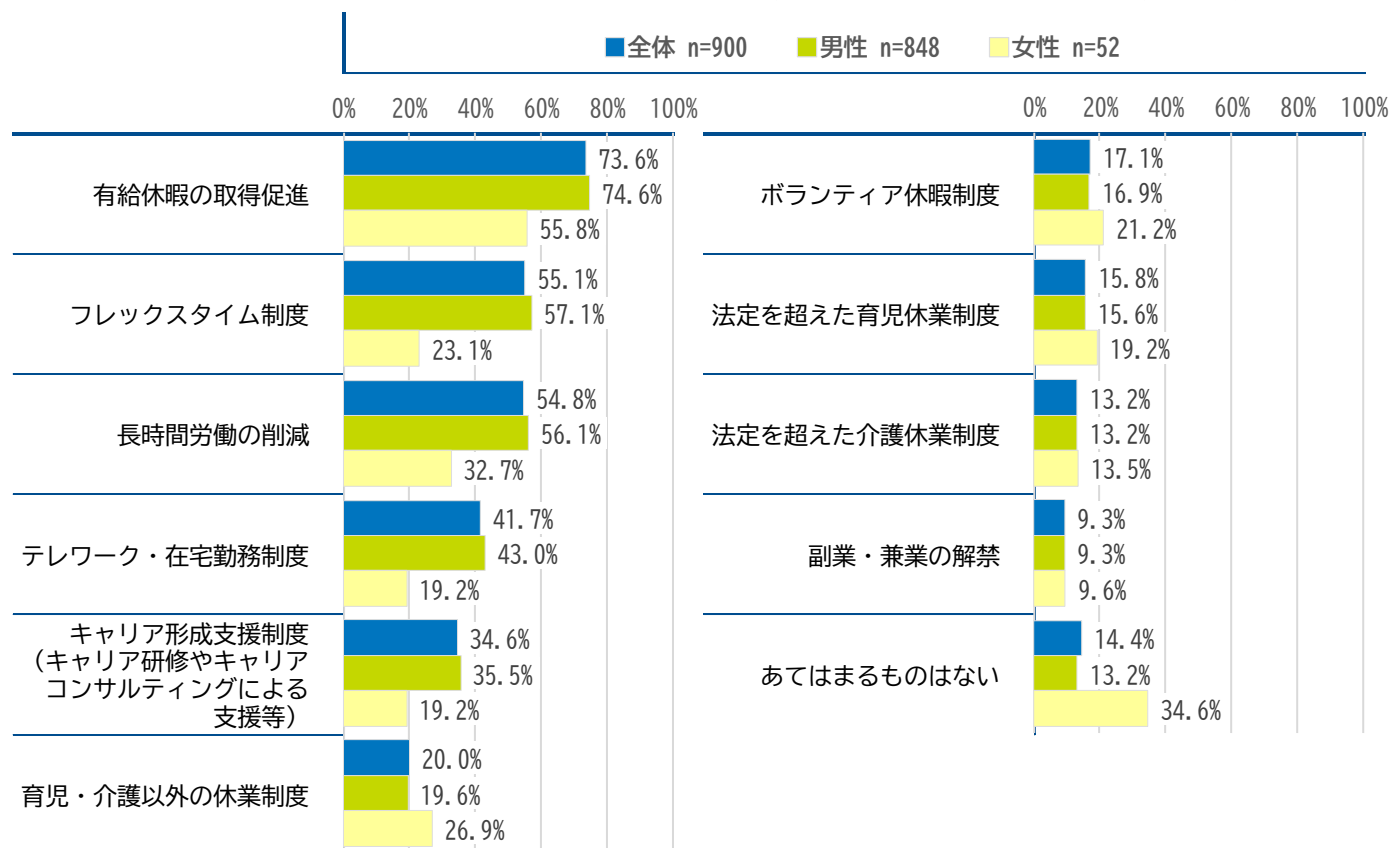
## 4.2. 会社・組織で導入されていた両立支援に関する取り組みや制度

定年まで勤めた会社・組織で導入されていた両立支援に関する取り組みや制度について、例をあげて尋ねたところ、「有給休暇の取得促進」が最も多く7割を超え、次いで「フレックスタイム制度」「長時間労働の削減」が多く半数を超えていた。

女性は上位5項目「有給休暇の取得促進」「フレックスタイム制度」「長時間労働の削減」「テレワーク・在宅勤務制度」「キャリア形成支援制度（キャリア研修やキャリアコンサルティングによる支援等）」が、導入されていたとの回答が少なく、「あてはまるものはない」との回答が多かった。

例にあげた取り組みや制度のいずれかがあったと回答した層と、「あてはまるものはない」と回答した層に分けたクロス集計グラフを、次ページ以降に掲載する。

図表4.2. 会社・組織で導入されていた両立支援に関する取り組みや制度（複数選択）

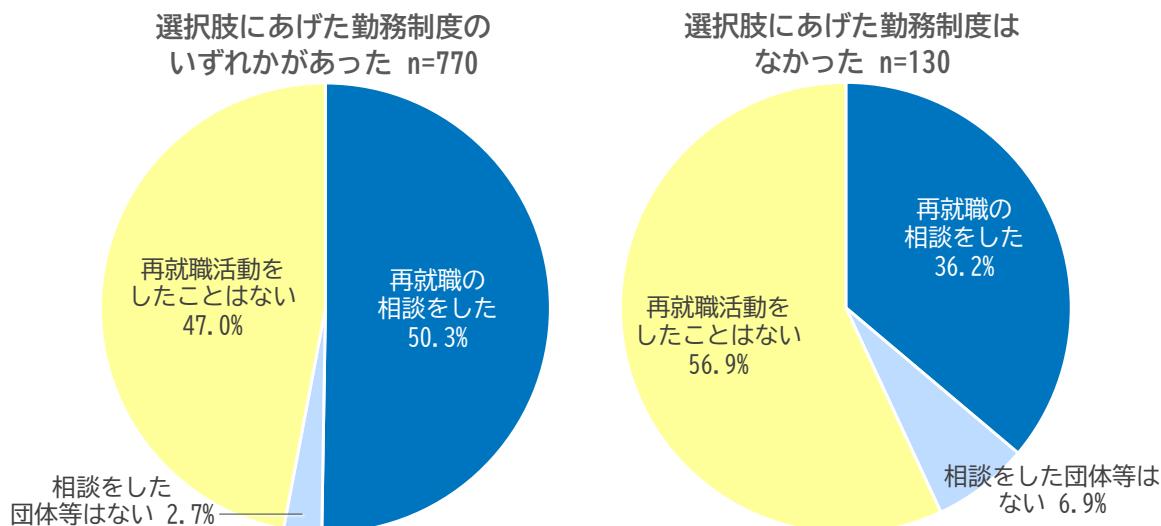


#### 4.2.1. 再就職活動

両立支援に関する取り組みや制度のいずれかがあったと回答した層と、いずれもなかったと回答した層で、再就職活動について比較すると、いずれもなかった層は「再就職の相談をした」回答者が少ない。

再就職活動の全体や他のクロス集計の結果は、[4.4.再就職活動](#)で述べる。

図表4.2.1. 再就職活動(複数選択)

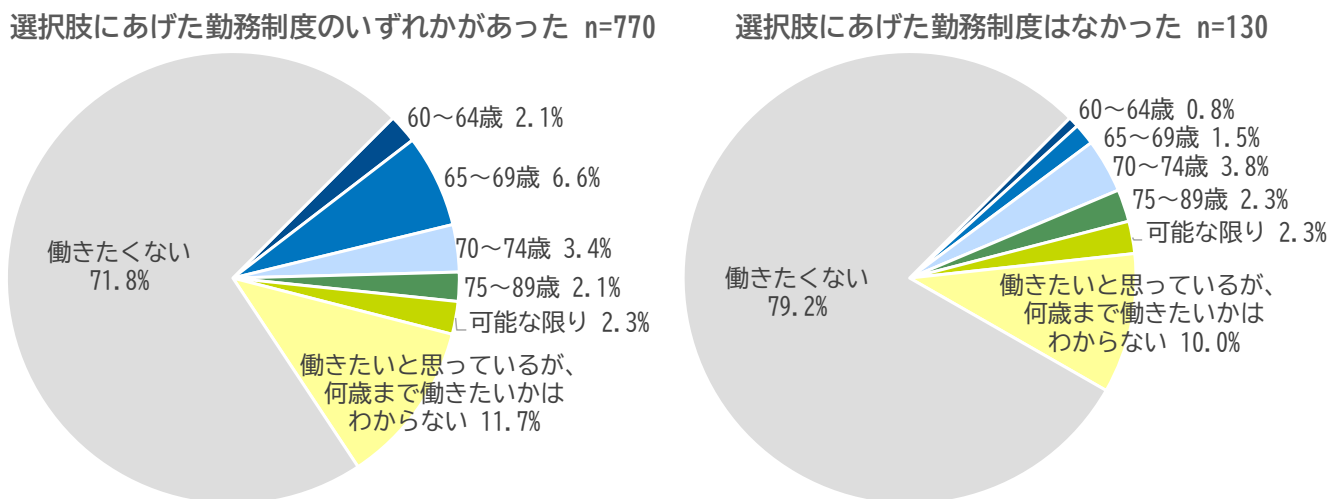


#### 4.2.2. 何歳まで働きたいか

同様に取り組みや制度のいずれかがあったと回答した層と、いずれもなかったと回答した層で、何歳まで働きたいかを比較した。二つの層に大きな差異はなかった。

何歳まで働きたいかの全体や他のクロス集計の結果は、[4.6.何歳まで働きたいか](#)で述べる。

図表4.2.2. 何歳まで働きたいか(単一選択)



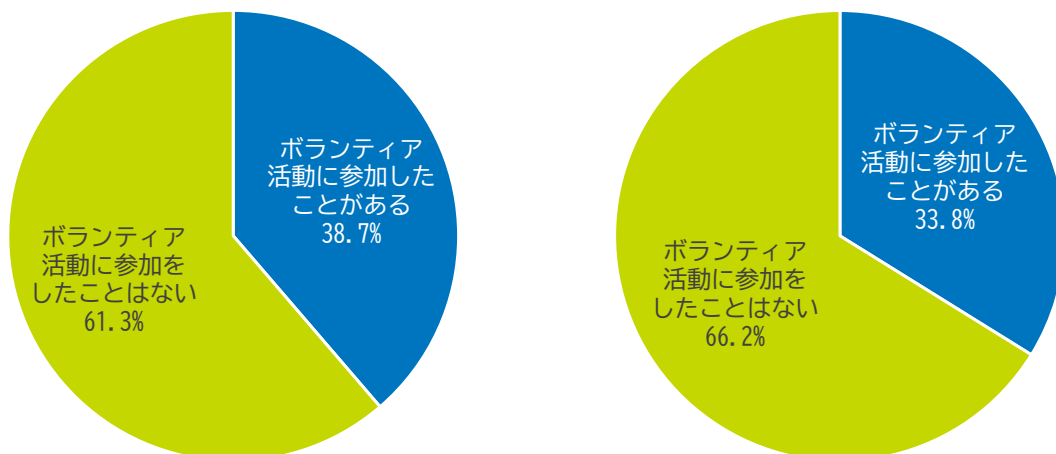
#### 4.2.3. ボランティア活動参加の有無

同様に取り組みや制度のいずれかがあったと回答した層と、いずれもなかったと回答した層で、最近5年間のボランティア活動参加の有無を比較したが、二つの層に大きな差異はなかった。

最近5年間のボランティア活動参加有無の、全体や他のクロス集計の結果は、[5.1.1. ボランティア活動参加の有無](#)で述べる。

図表 4.2.3. ボランティア活動参加の有無(単一選択)

選択肢にあげた勤務制度のいずれかがあった n=770 選択肢にあげた勤務制度はなかった n=130



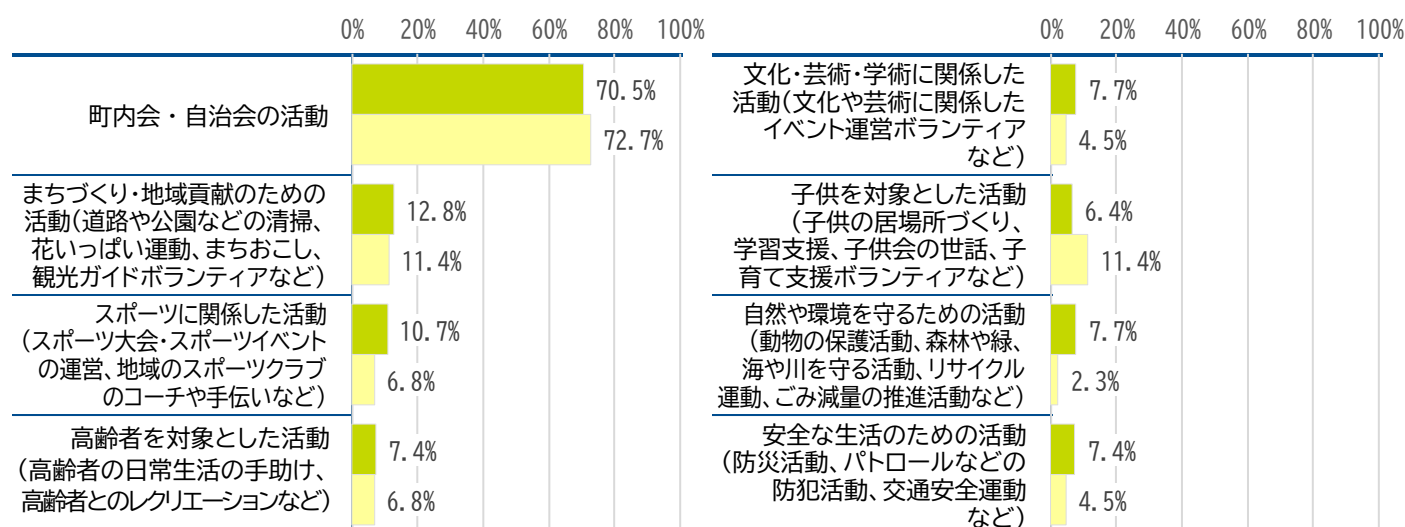
#### 4.2.4. 参加したボランティア活動

さらに、ボランティア活動に参加した回答者に絞って活動内容を比べたが、二つの層に大きな差異はなかった。

参加したボランティア活動内容の全体や他のクロス集計の結果は、[5.1.2. 参加したボランティア活動](#)で述べる。

図表 4.2.4. 参加したボランティア活動(複数選択)

■ 選択肢にあげた勤務制度のいずれかがあった n=298  
■ 選択肢にあげた勤務制度はなかった n=44



※ 選択肢「その他」「在住・訪日外国人のための活動(日常生活の手助けや道案内などの支援活動、国際交流など)」「災害に関係した活動(炊き出し、募金を集める活動など)」「障害者を対象とした活動(手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力など)」「国際協力に関係した活動(在住・訪日外国人のための活動を除く、海外支援協力、難民支援など)」「PTAの活動や学校行事の手伝い」「健康や医療サービスに関係した活動(献血、入院患者の話し相手など)」「当事者活動、セルフ・ヘルプ・グループ(障害、病気、介護などの体験や困難を抱えている人が、体験を伝えるなどして同様の体験がある人を助けるための活動など)」の選択は、5%に満たなかった。

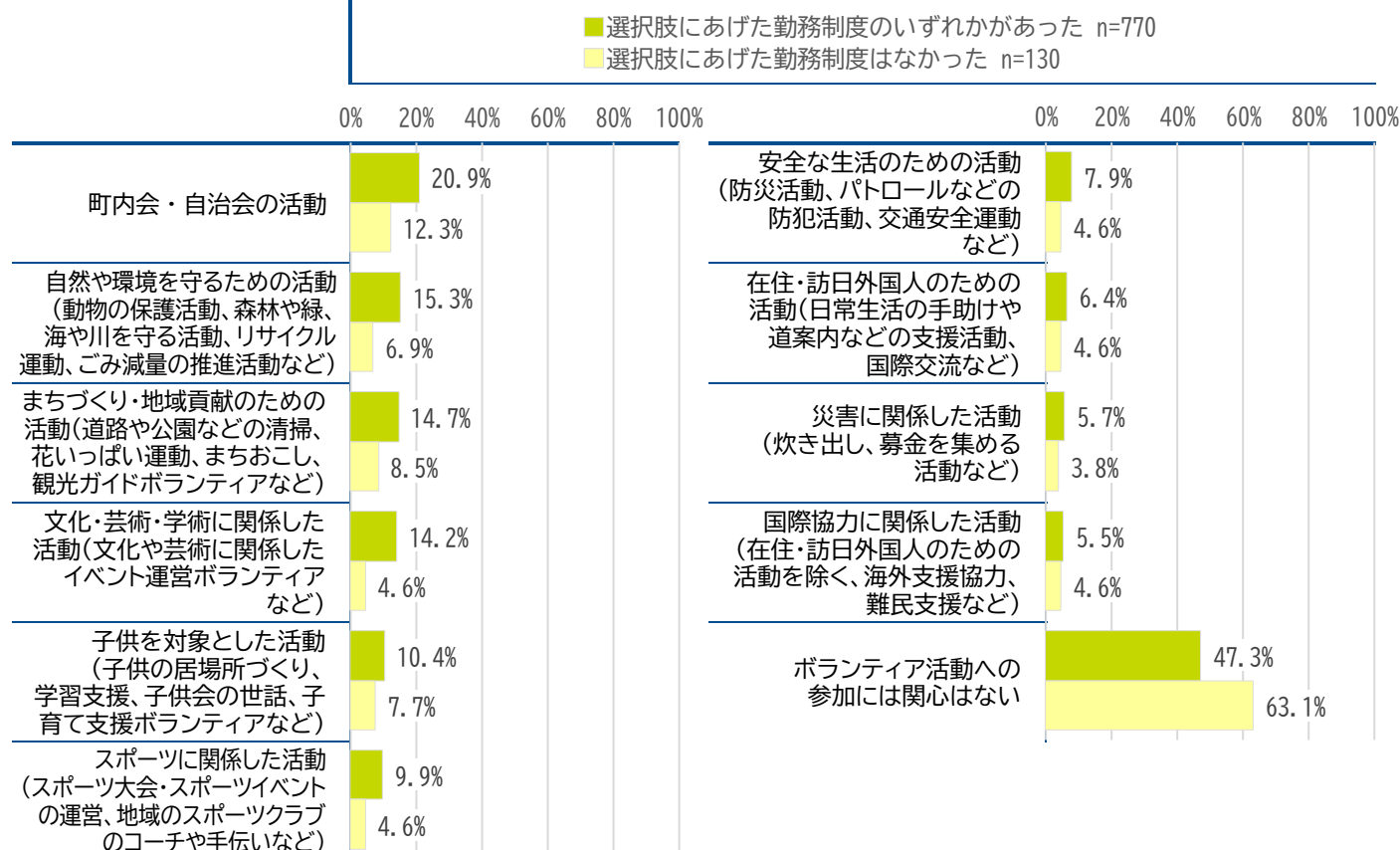
※ 選択肢「その他」には、民生委員、児童委員、司法委員、調停委員、プログラム作成翻訳、前職関連、経理サポート、マンション管理組合理事、OB会役員、キリスト教会、農協、援農、募金などがあつた。

#### 4.2.5. やってみたいボランティア活動

同様に取り組みや制度のいずれかがあったと回答した層と、いずれもなかったと回答した層で、ボランティア活動をするとしたらやってみたいことを比較すると、いずれもなかったと回答した層は「ボランティア活動への関心はない」との回答が多い。

ボランティア活動をするとしたらやってみたいことの全体や他のクロス集計の結果は、[5.2. やってみたいボランティア活動](#)で述べる。

図表 4.2.5. やってみたいボランティア活動(複数選択)



※ 選択肢「高齢者を対象とした活動(高齢者の日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど)」「健康や医療サービスに関係した活動(献血、入院患者の話し相手など)」「障害者を対象とした活動(手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力など)」「PTAの活動や学校行事の手伝い」「その他」「当事者活動、セルフ・ヘルプ・グループ(障害、病気、介護などの体験や困難を抱えている人が、体験を伝えるなどして同様の体験がある人を助けるための活動など)」の選択は、5%に満たなかった。

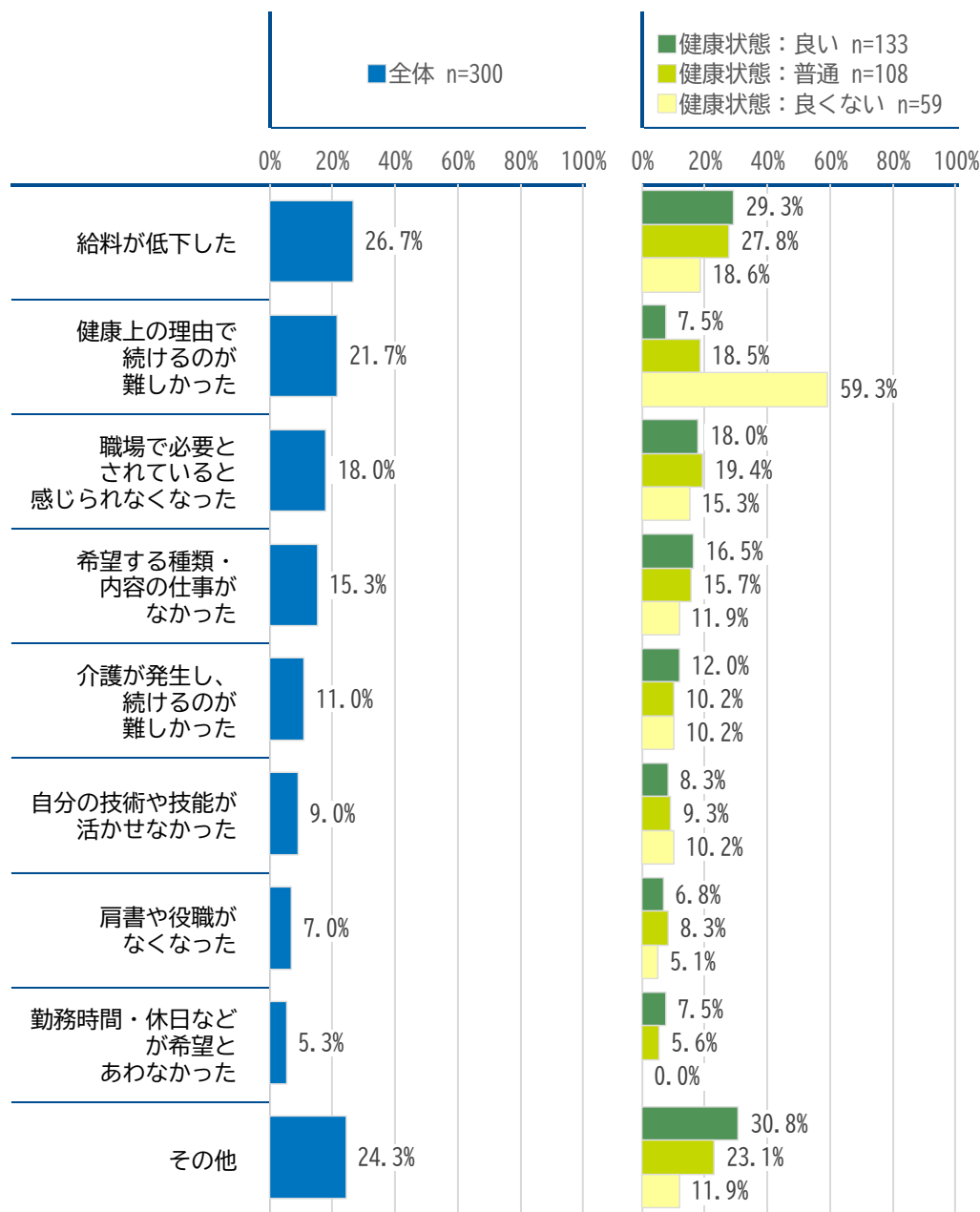
※ 選択肢「その他」には、必要に応じて行う、司法関係、バックオフィスサポート、プログラム作成と翻訳、IT指導、援農、キリスト教会、伝道活動、寄付、募金(主に被災地、子ども食堂、盲導犬など)、介護で時間がないなどがあつた。

### 4.3. 65歳まで勤めなかった理由

60～64歳の回答者に、65歳まで勤めなかった理由を尋ねたところ、「給料が低下した」との理由が約3割と最も多く、次いで「健康上の理由で続けるのが難しかった」が2割を超える。

健康状態の良くない層が「健康上の理由で続けるのが難しかった」が6割近くで多い。また健康状態が普通の層でも約2割が「健康上の理由で続けるのが難しかった」と回答している。

図表4.3. 65歳まで勤めなかった理由（複数選択）



※ 選択肢「自分よりも若い人が上司になることに抵抗があった」の選択は、5%に満たなかった。

※ 選択肢「その他」には、定年、年金生活、選択制度、早期退職制度、キャリア形成、当初からの予定、十分働いた、やりきった充足感、長期旅行、他にやりたいことができた、自分の時間を増やすため、のんびりしたかったから、私生活を優先したかった、自分と家族の時間を大切にしたい、健康なうちに今までできなかったことをしたかったから、趣味のため、次のステージに行くべきと思っていたから（老害にはなりたくない）、元気なうちにやりたいことをやる、経済的に働く必要がない、株式投資家の方が収入が多く稼げると思ったから、疲れた、飽きた、精神的にきつかった、仕事はもう十分、やりがいがない、働きたくない、会社都合、会社の大赤字、企業買収に伴うリストラ、業務方針の違い、吸収合併される直前の状態、経営者が変わり会社が嫌いになった、直属上司のパワハラが激しかった、会社のシニアに対する無理解、上司と合わなかったなどがあった。

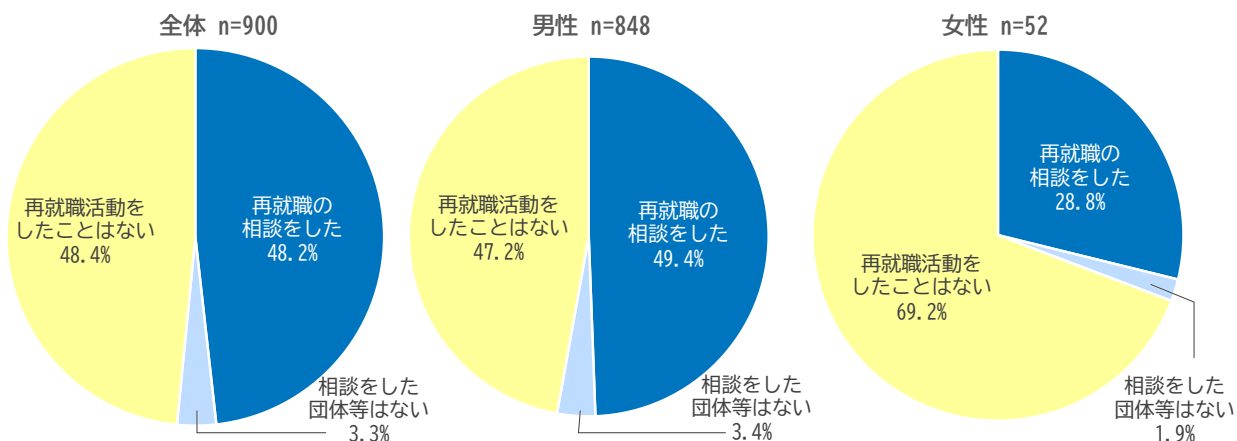
## 4.4. 再就職活動

定年後、再就職活動をしたことがあるか尋ねたところ、「再就職の相談をした」「再就職活動をしたことはない」がともに半数近く、活動した人の多くは団体等に相談している。

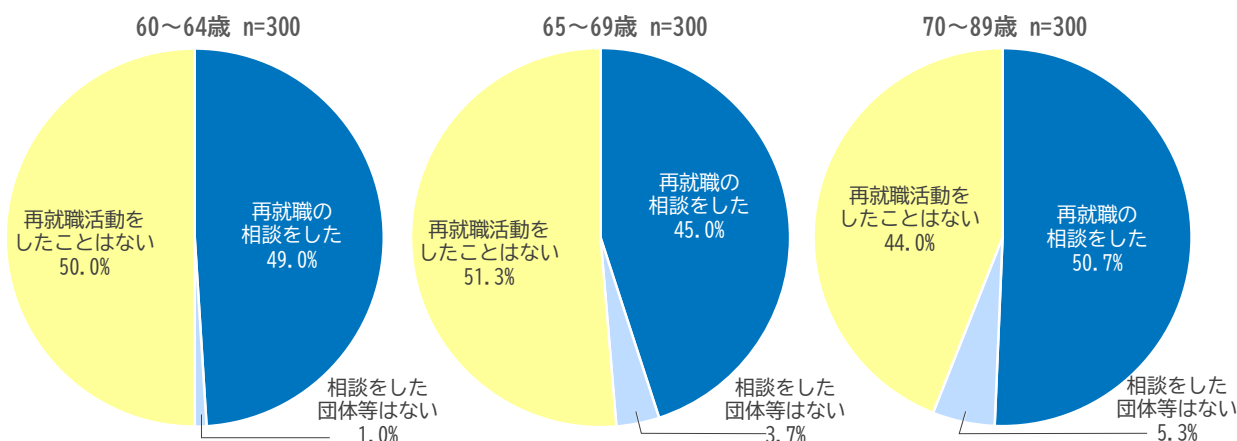
女性は「再就職活動をしたことはない」が多く約7割に上り、役職はない層も約6割に及ぶ。

図表4.4. 再就職活動(単数選択)

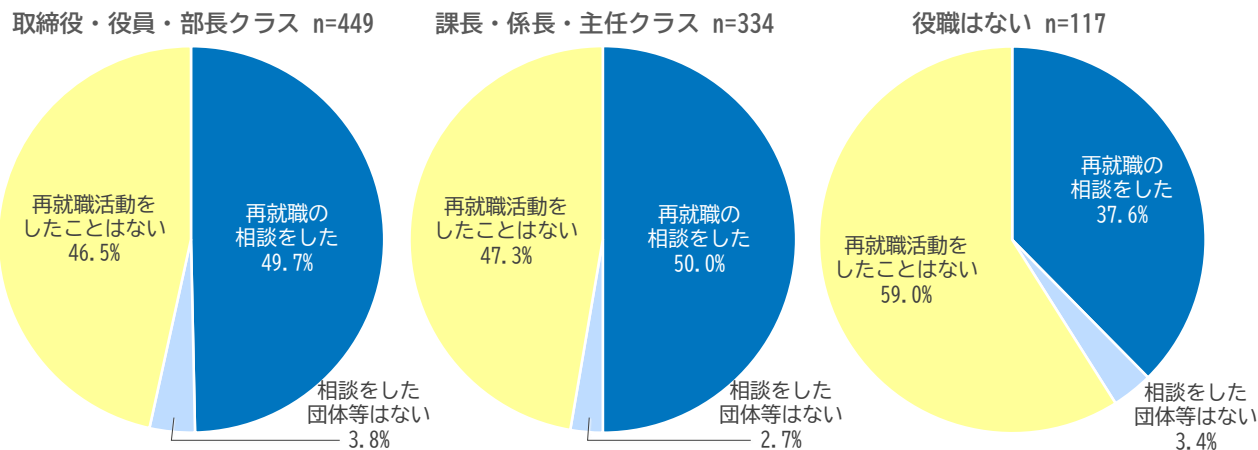
### 【全体・男女別】



### 【年齢別】



### 【職位別】

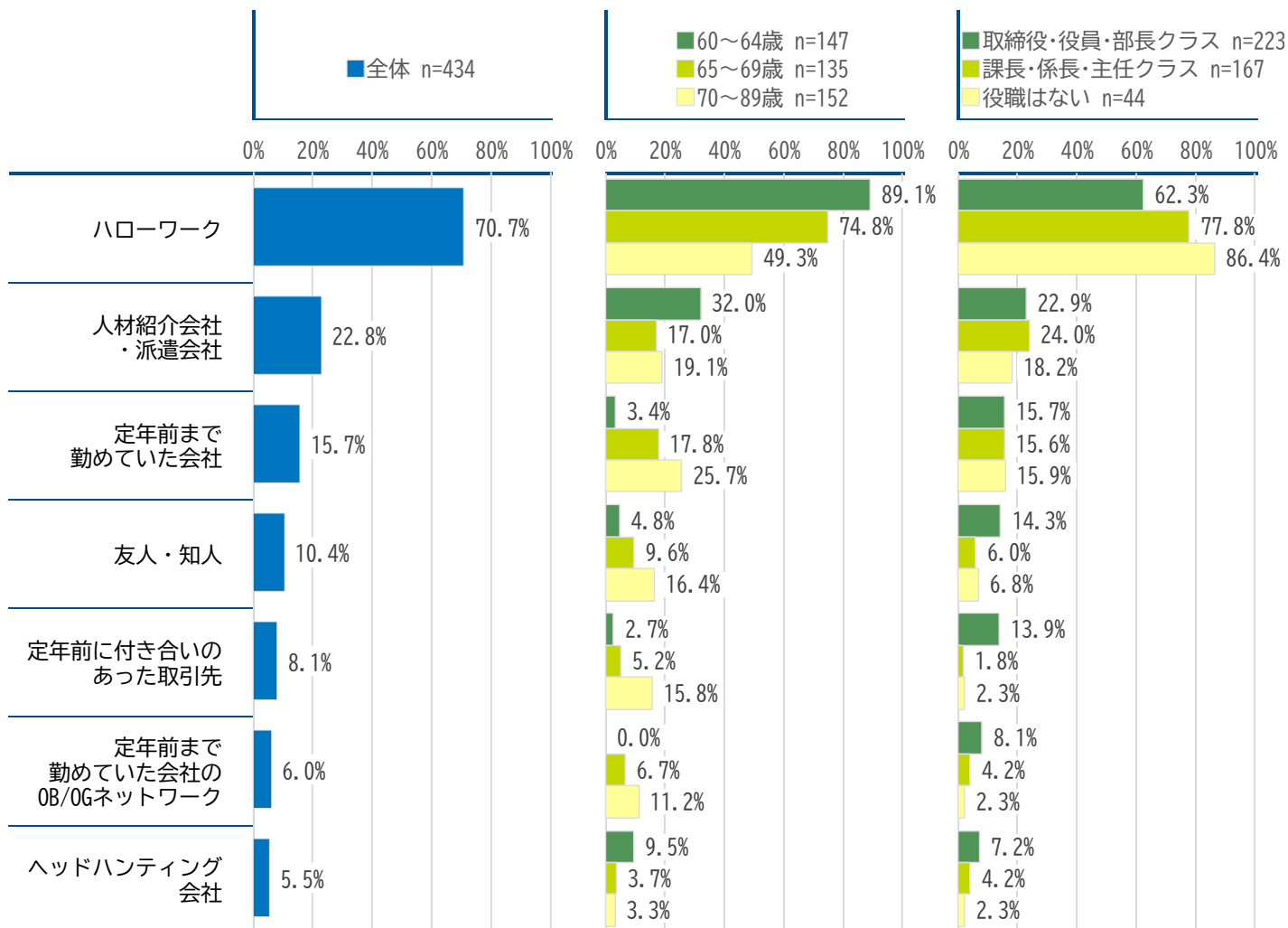


## 4.5. 再就職活動を行った際の相談先

定年後、再就職活動をした層に、再就職活動を行った際の相談先等を尋ねたところ、「ハローワーク」が7割超で最も多い。他の選択肢は約2割以下だった。

「ハローワーク」は、職位別で低い層ほど多く、若いほど多い。60～64歳は「定年前まで勤めていた会社」が少ない。

図表4.5. 再就職活動を行った際の相談先(複数選択)



※ 選択肢「地域の活動団体」「その他」の選択は、5%に満たなかった。」「の選択は、5%に満たなかった。

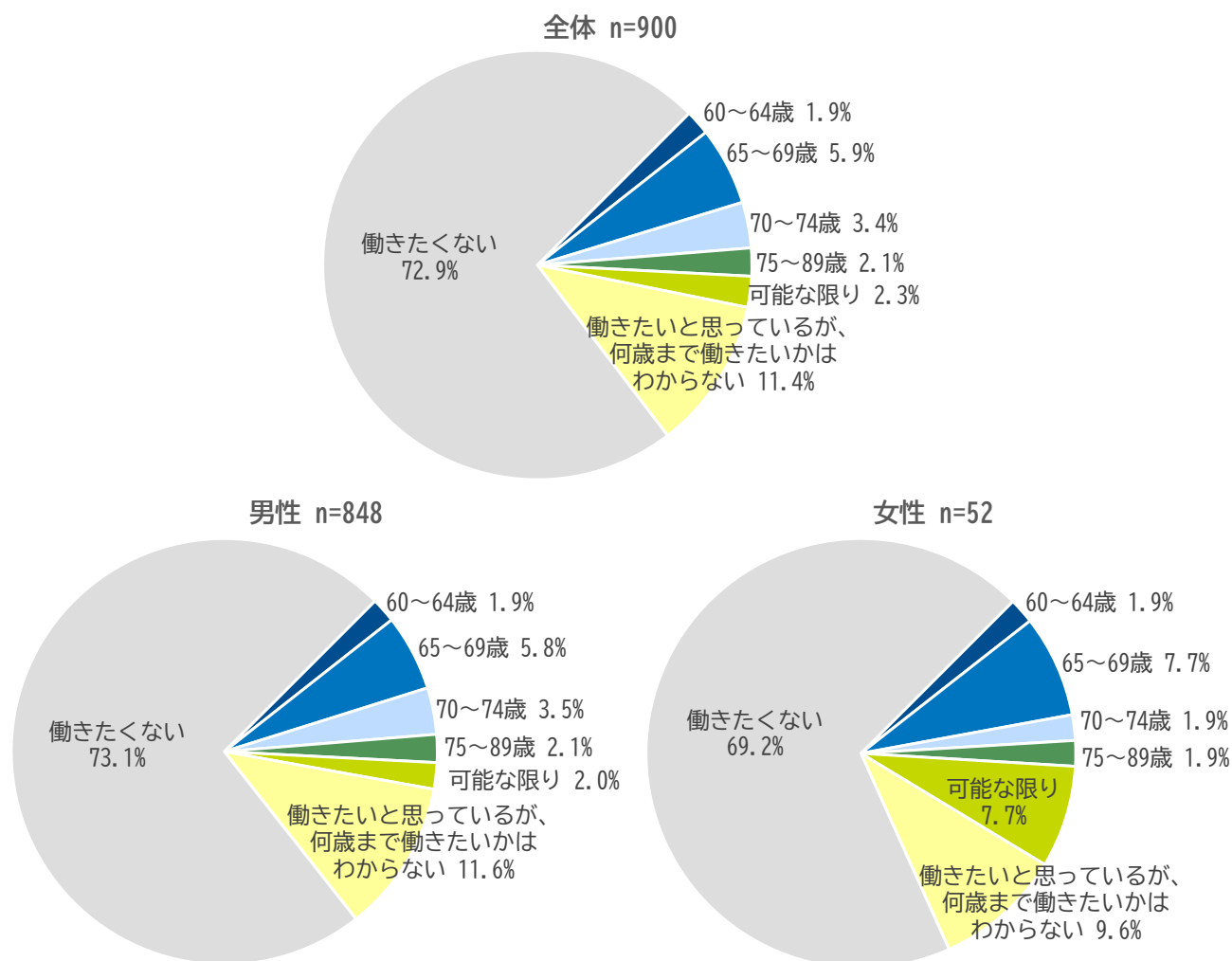
※ 選択肢「その他」には、産業雇用安定センター、省庁外郭団体、スーパー、シルバー、大学院生などがあつた。

## 4.6. 何歳まで働きたいか

働きたいか、働きたい場合、何歳まで働きたいか尋ねたところ、「働きたくない」との回答が最も多く7割を超えた。就業を希望する回答では、「働きたいと思っているが、何歳まで働きたいかはわからない」との回答が最も多いが、全体の約1割にとどまる。具体的にあげられた年齢では「65～69歳」が多い。

男女別でも大きな違いはない。

図表4.6. 何歳まで働きたいか(単一選択)



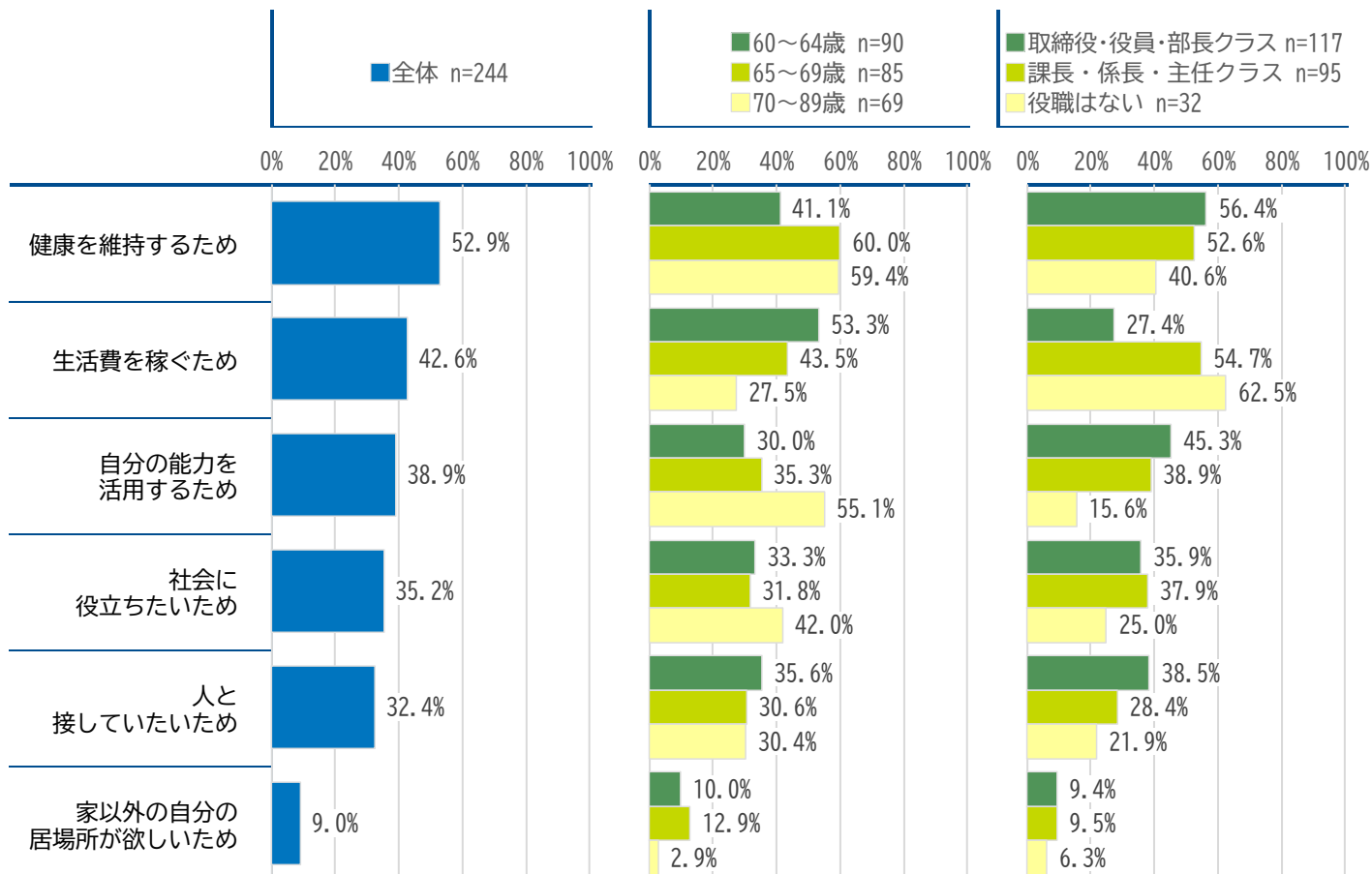
## 4.7. 働きたい理由

前問で「働きたくない」以外を選択した回答者に、働きたい理由を尋ねたところ、「健康を維持するため」との理由が最も多く半数を超える。次いで「生活費を稼ぐため」「自分の能力を活用するため」「社会に役立ちたいため」「人と接していたい」との理由が挙げられる。

60～64歳は「健康を維持するため」との理由が約4割と少なく、「生活費を稼ぐため」は年齢が高くなるにつれ少なくなる傾向が見える。また、70～89歳は「自分の能力を活用するため」との理由が約6割と多い。

また、役職が高いほど「自分の能力を活用するため」との理由が多い。

図表4.7. 働きたい理由(複数選択)



※ 選択肢「その他」「家に自分の居場所がないため」の選択は、5%に満たなかった。

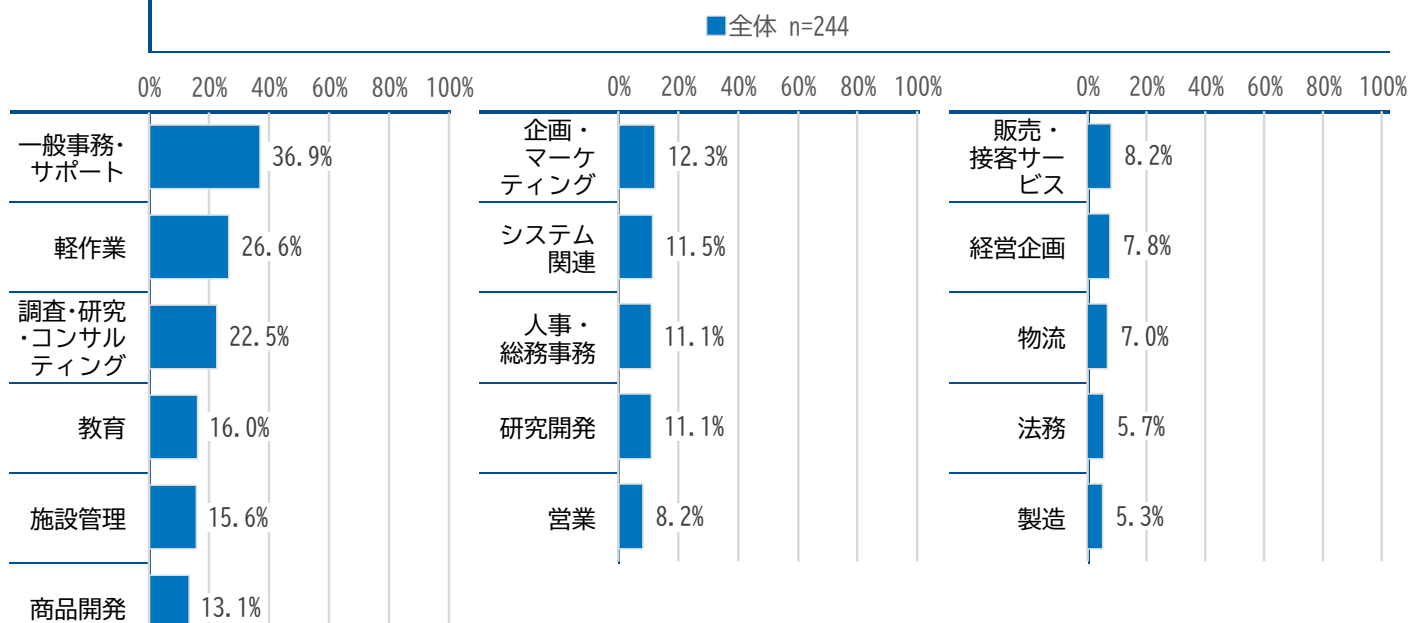
※ 選択肢「その他」には、自由に使えるお金を得る、小遣い稼ぎ、暇つぶし、ある程度のやりがいなどがあつた。

## 4.8. 再就職しても良いと感じる仕事

前問で「働きたくない」以外を選択した回答者に、再就職しても良いと感じる仕事を尋ねたところ、「一般事務・サポート」が約4割で最も多く、「軽作業」が約3割、「調査・研究・コンサルティング」が約2割と続く。

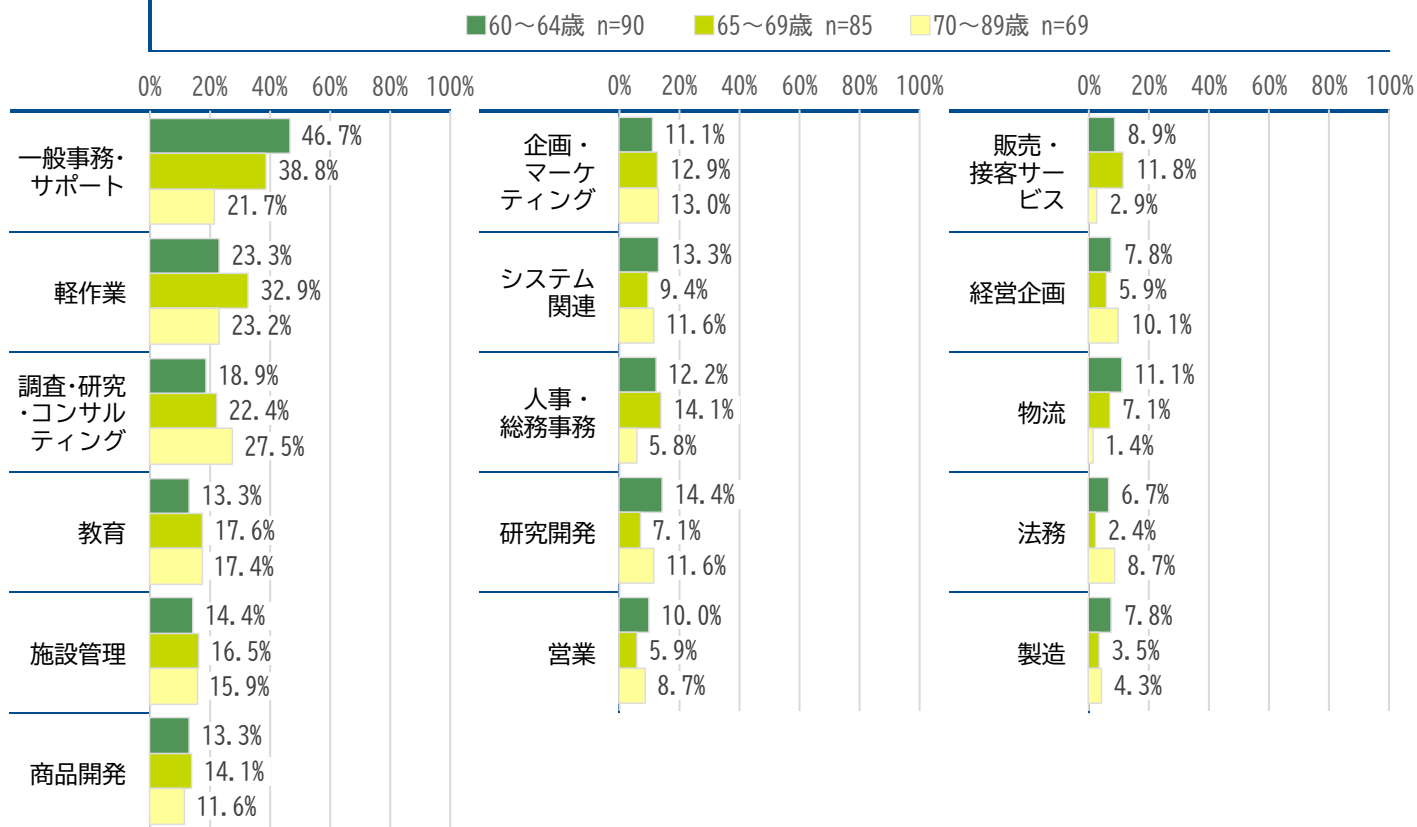
年齢別では若いほど「一般事務・サポート」がより多い。また、役職が低い層ほど「軽作業」が多く、役職が高い層ほど「調査・研究・コンサルティング」が多い。役職はない層は「施設管理」が少なく、「物流」が多い。

図表4.8. 再就職しても良いと感じる仕事（複数選択）

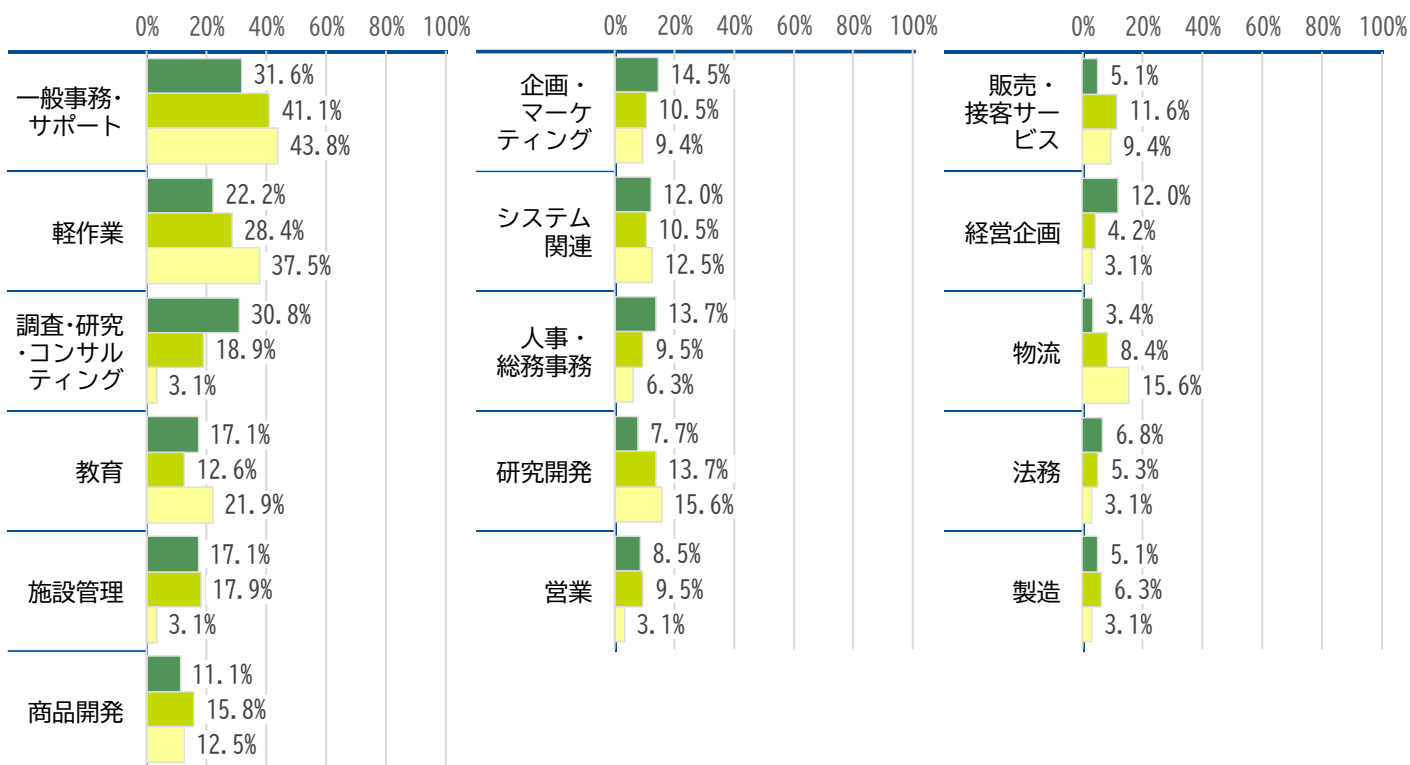


※ 選択肢「財務・経理事務」「翻訳・通訳」「その他」「広報・IR」「電話オペレーター」「保育」「介護」の選択は、5%に満たなかった。

※ 選択肢「その他」には、テレビ番組プロデューサー、アドバイザー、水産・漁業関係、サービス、公務、専門性を活かした役割、介護で時間がない、中小企業診断士、キャリアカウンセリングなどがあつた。



■取締役・役員・部長クラス n=117  
■課長・係長・主任クラス n=95 ■役職はない n=32

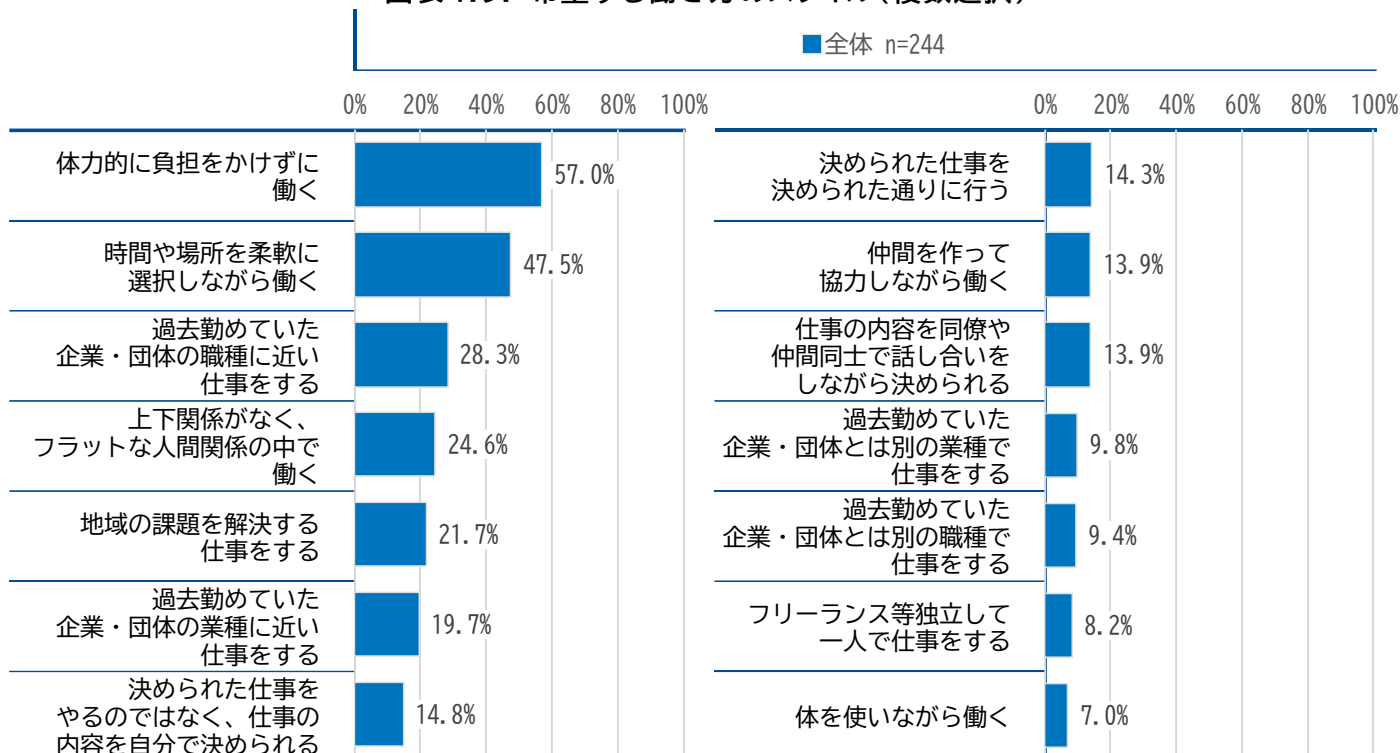


## 4.9. 希望する働き方のスタイル

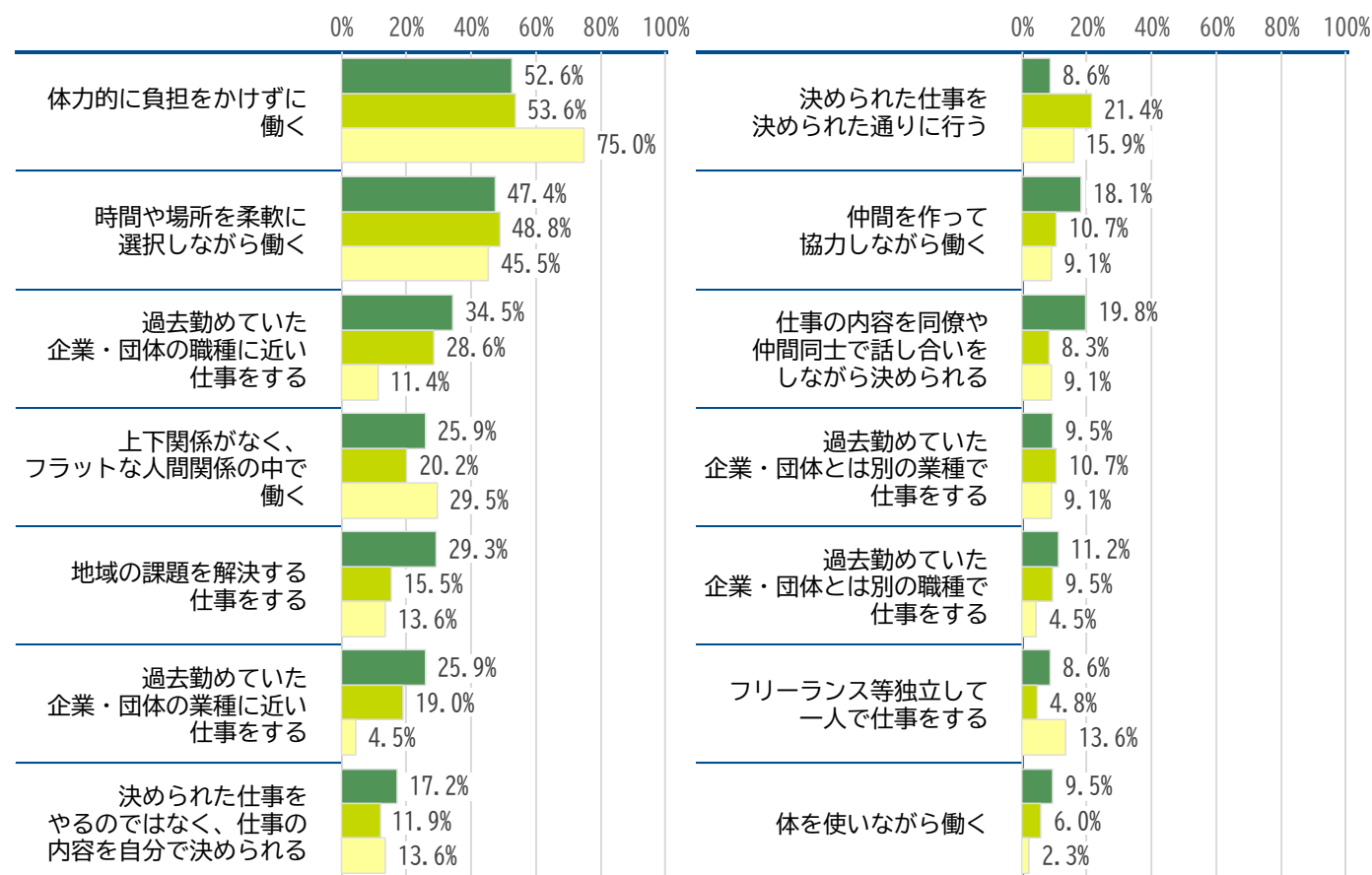
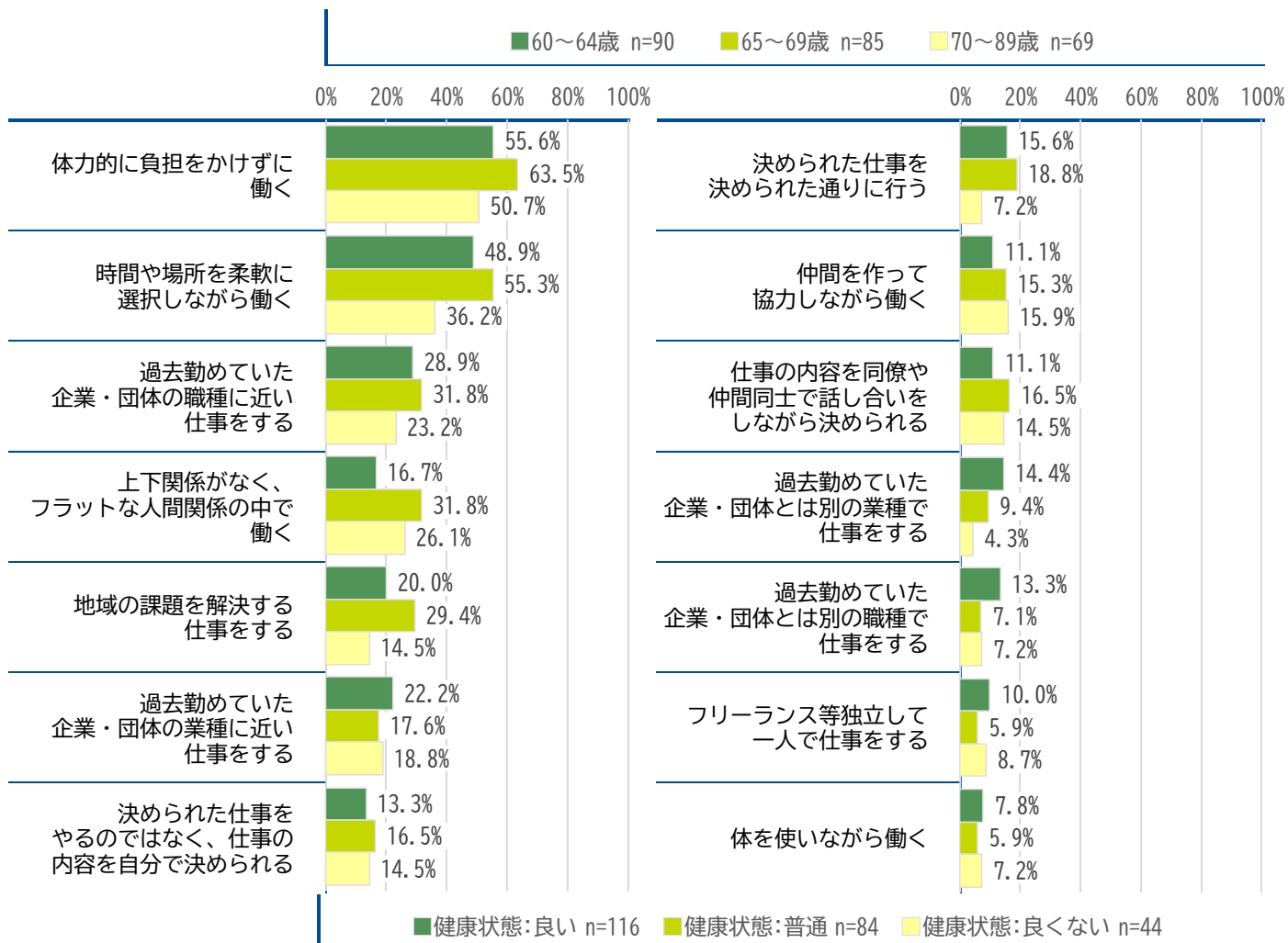
前問で「働きたくない」以外を選択した回答者に、今後の働き方として、希望するスタイルを尋ねたところ、「体力的に負担をかけずに働く」が約6割と最も多く、「時間や場所を柔軟に選択しながら働く」が約半数で次いで多い。

70～89歳は「時間や場所を柔軟に選択しながら働く」が約4割と少ないほかは、年齢別にあまり違いはない。また、健康状態の良くない層ほど、「体力的に負担をかけずに働く」が多く、「過去勤めていた企業・団体の職種に近い仕事をする」「過去勤めていた企業・団体の業種に近い仕事をする」が少ない傾向が見える。

図表4.9. 希望する働き方のスタイル(複数選択)



※ 選択肢「起業をして人を雇いながら働く」「上下関係のある人間関係の中で、指示を受けながら働く」「上下関係のある人間関係の中で、上席者の立場で指示をしながら働く」「その他」の選択は、5%に満たなかった。



## 5. ボランティア活動

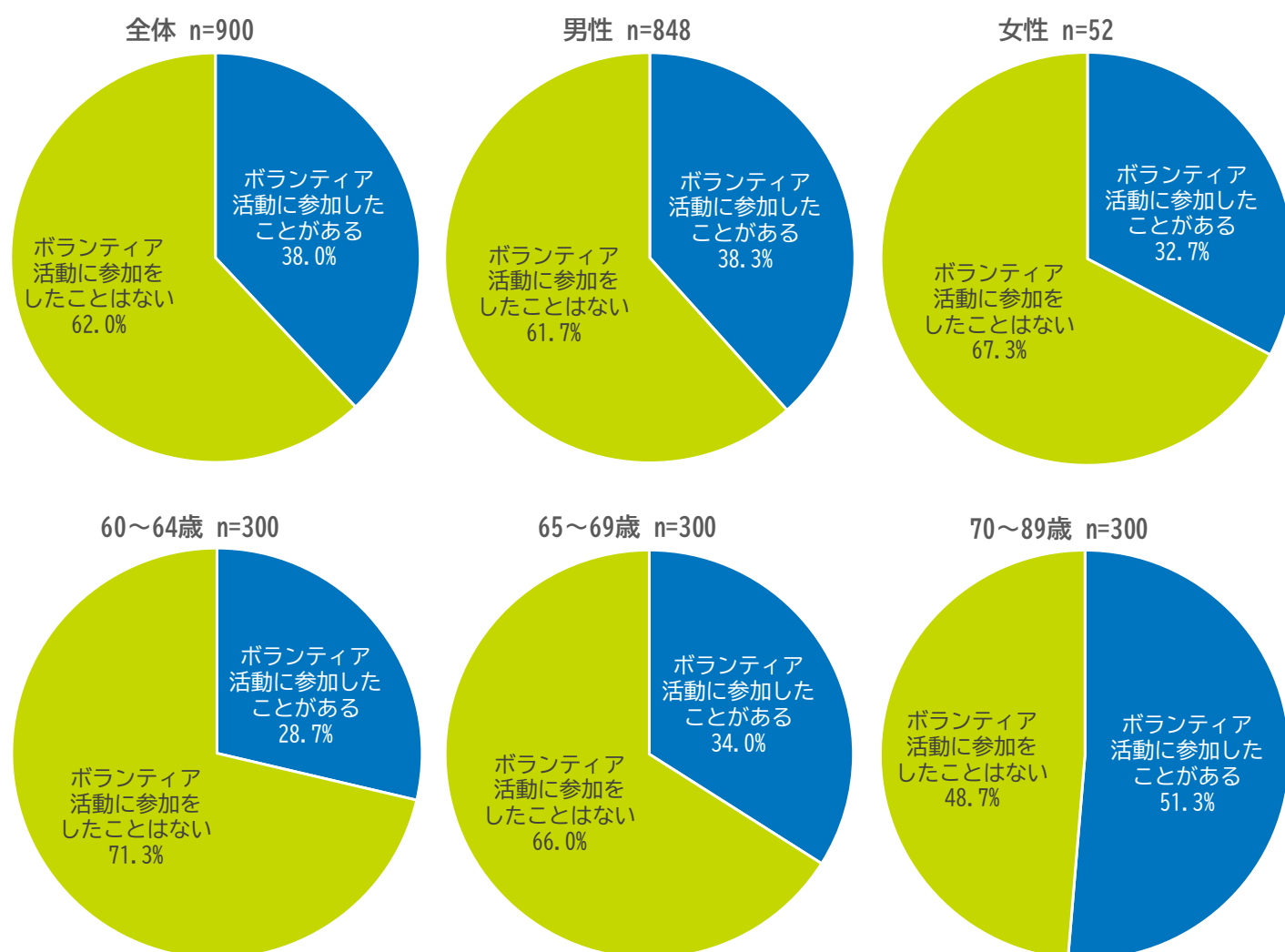
### 5.1. ボランティア活動参加

#### 5.1.1. ボランティア活動参加の有無

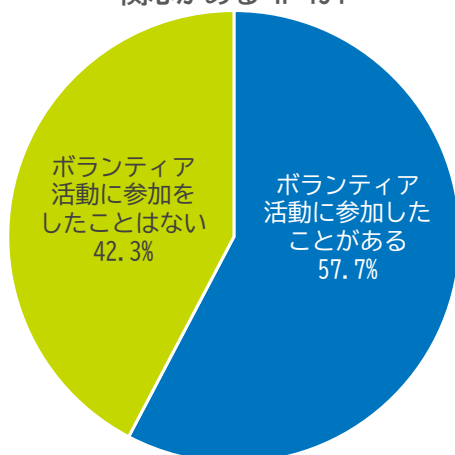
最近5年間で何らかのボランティア活動に参加したことがあるか尋ねたところ、「ボランティア活動に参加をしたことはない」との回答が6割を超えた。

男女別では大きな差異はなく、年齢層が高くなるほど「ボランティア活動に参加したことがある」が多く、70～89歳は半数を超える。また、ボランティア活動への参加に関心がある層は、「ボランティア活動に参加したことがある」が6割近くに及ぶ。

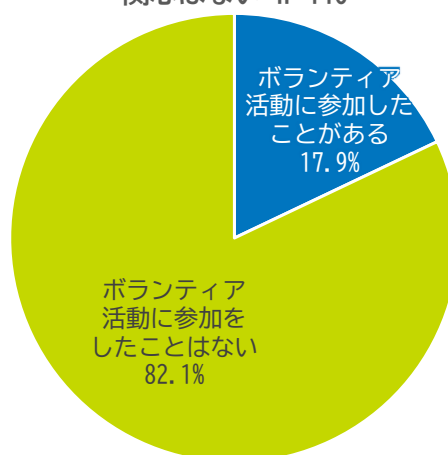
図表5.1.1. ボランティア活動参加の有無(単一選択)



ボランティア活動への参加に  
関心がある n=454



ボランティア活動への参加に  
関心はない n=446



## 5.1.2. 参加したボランティア活動

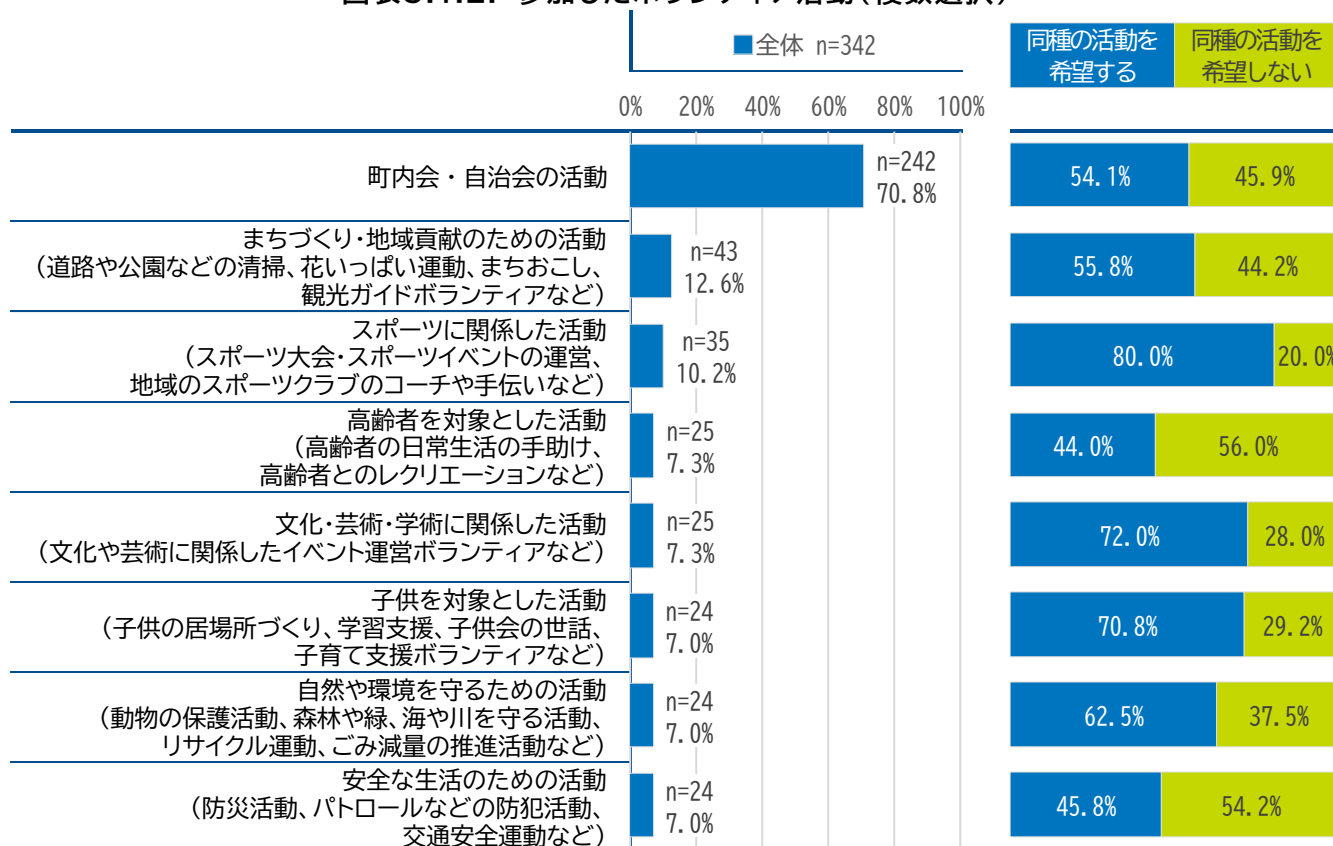
最近5年間で何らかのボランティア活動に参加したことがある層に、活動内容を尋ねたところ、「町内会・自治会の活動」が7割を超え圧倒的に多く、他の活動は約1割以下にとどまる。

年齢別では、大きな差異はない。

ボランティア活動への参加に関心はない層は、「町内会・自治会の活動」への参加経験が8割を超えて多く、「まちづくり・地域貢献のための活動」がほとんどいなかった。

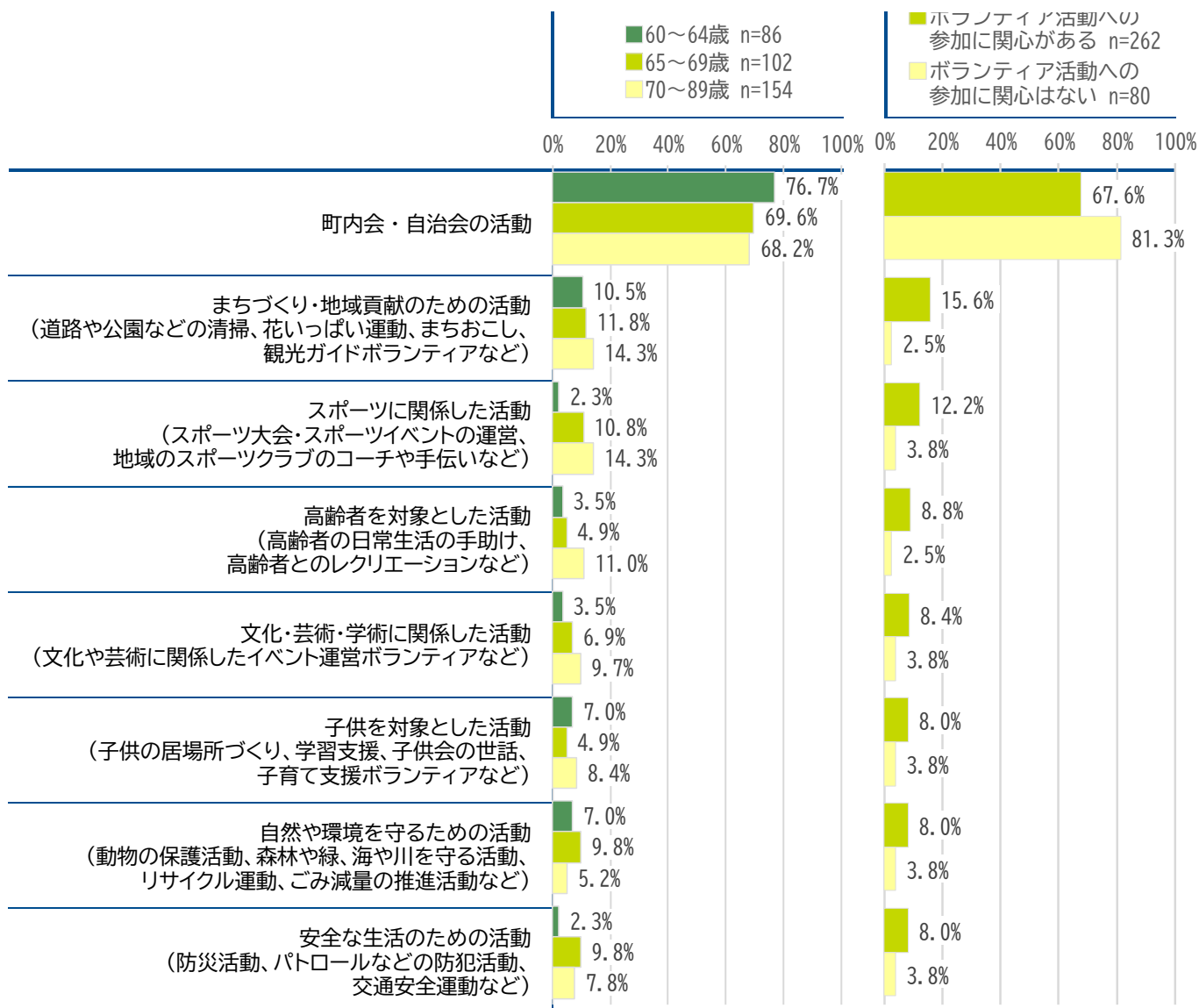
また後の5.2.やってみたいボランティア活動をクロスして見ると、「町内会・自治会の活動」「まちづくり・地域貢献のための活動」を、今後やってみたい活動にあげたのは5～6割にとどまり、「スポーツに関係した活動（スポーツ大会・スポーツイベントの運営、地域のスポーツクラブのコーチや手伝いなど）」は8割と多い。

図表5.1.2. 参加したボランティア活動（複数選択）



※ 選択肢「その他」「在住・訪日外国人のための活動（日常生活の手助けや道案内などの支援活動、国際交流など）」「災害に関係した活動（炊き出し、募金を集める活動など）」「障害者を対象とした活動（手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力など）」「国際協力に関係した活動（在住・訪日外国人のための活動を除く、海外支援協力、難民支援など）」「PTAの活動や学校行事の手伝い」「健康や医療サービスに関係した活動（献血、入院患者の話し相手など）」「当事者活動、セルフ・ヘルプ・グループ（障害、病気、介護などの体験や困難を抱えている人が、体験を伝えるなどして同様の体験がある人を助けるための活動など）」の選択は、5%に満たなかった。

※ 選択肢「その他」には、民生委員、児童委員、司法委員、調停委員、プログラム作成翻訳、前職関連、経理サポート、マンション管理組合理事、OB会役員、援農、募金などがあつた。

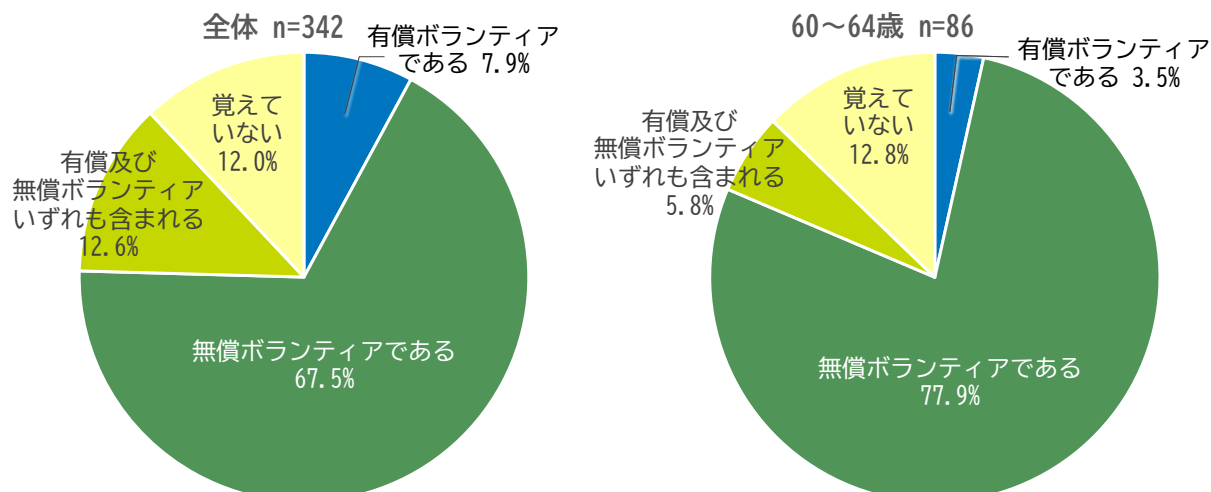


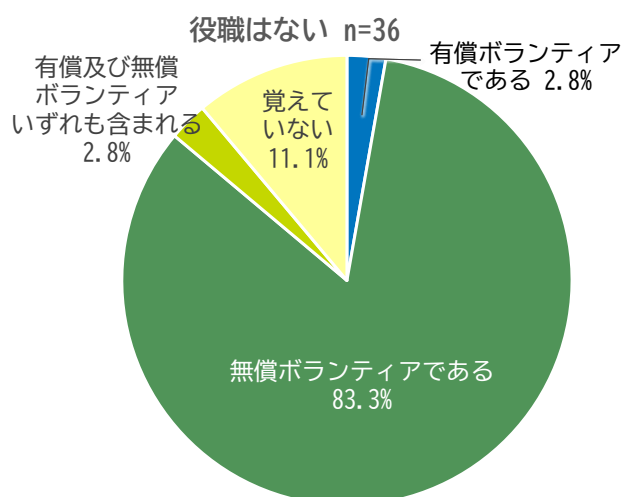
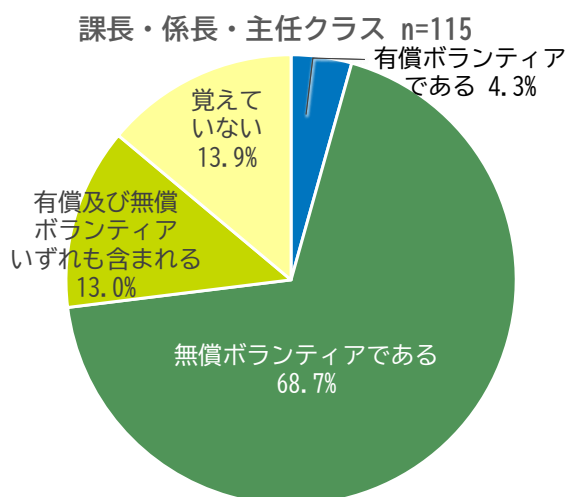
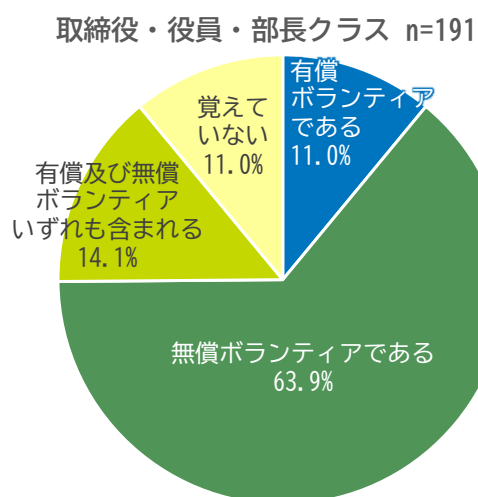
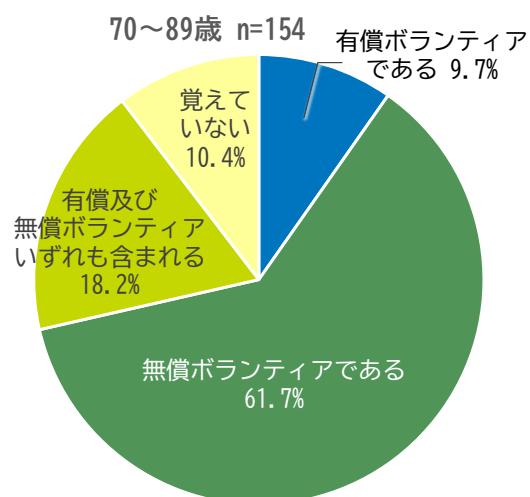
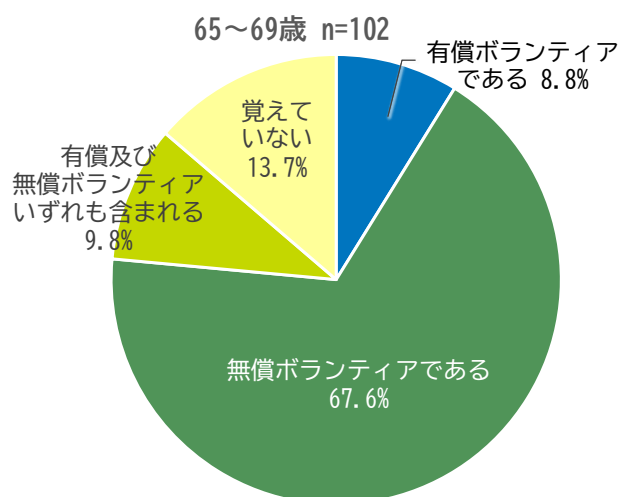
### 5.1.3. 参加したボランティア活動の有償/無償

最近5年間で何らかのボランティア活動に参加したことがある層に、有償か無償かのいずれかを尋ねたところ、「無償ボランティアである」との回答が7割近くと圧倒的に多く、他の選択肢はいずれも約1割だった。

若い層ほど「無償ボランティアである」との回答が多い

図表5.1.3. 参加したボランティア活動の有償/無償(単数選択)





## 5.2. やってみたいボランティア活動

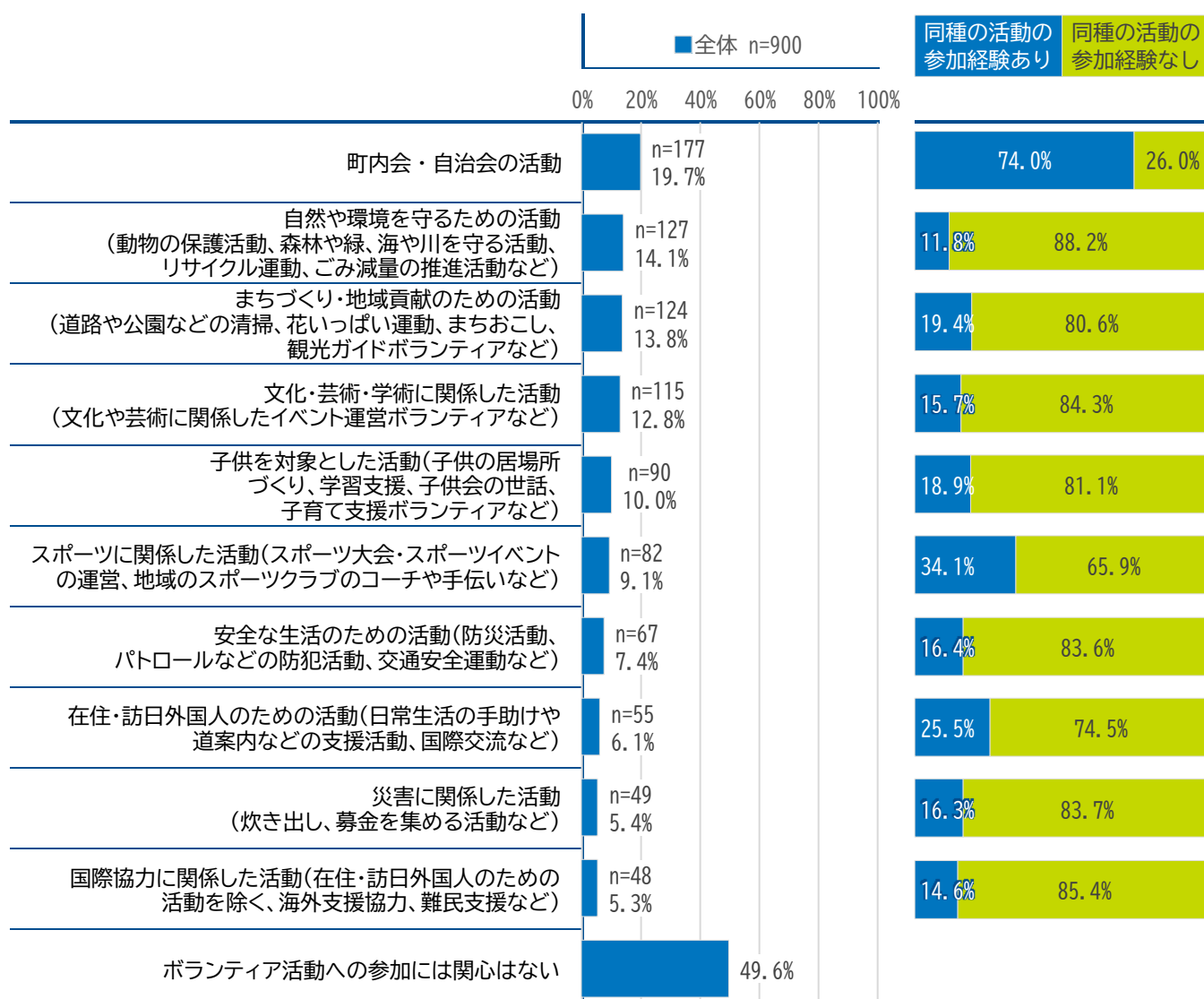
ボランティアや社会貢献活動をするとしたら、やってみたいことを尋ねたところ、「ボランティア活動への参加には関心はない」との回答が最も多く、半数近くに及んだ。やってみたいボランティアや社会貢献活動としてあがった中では、「町内会・自治会の活動」が2割近くで最も多く、他の選択肢は約1割以下だった。

男女別では大きな差異はなく、年齢別では若い人ほど「ボランティア活動への参加には関心はない」が多く、最近5年間のボランティア経験がある層は「ボランティア活動への参加には関心はない」が約2割と少なく、「町内会・自治会の活動」が4割を超えより多い。

また「ボランティア活動への参加には関心はない」の選択は、職位が高い層ほど少なく、就業希望の層も少ない。

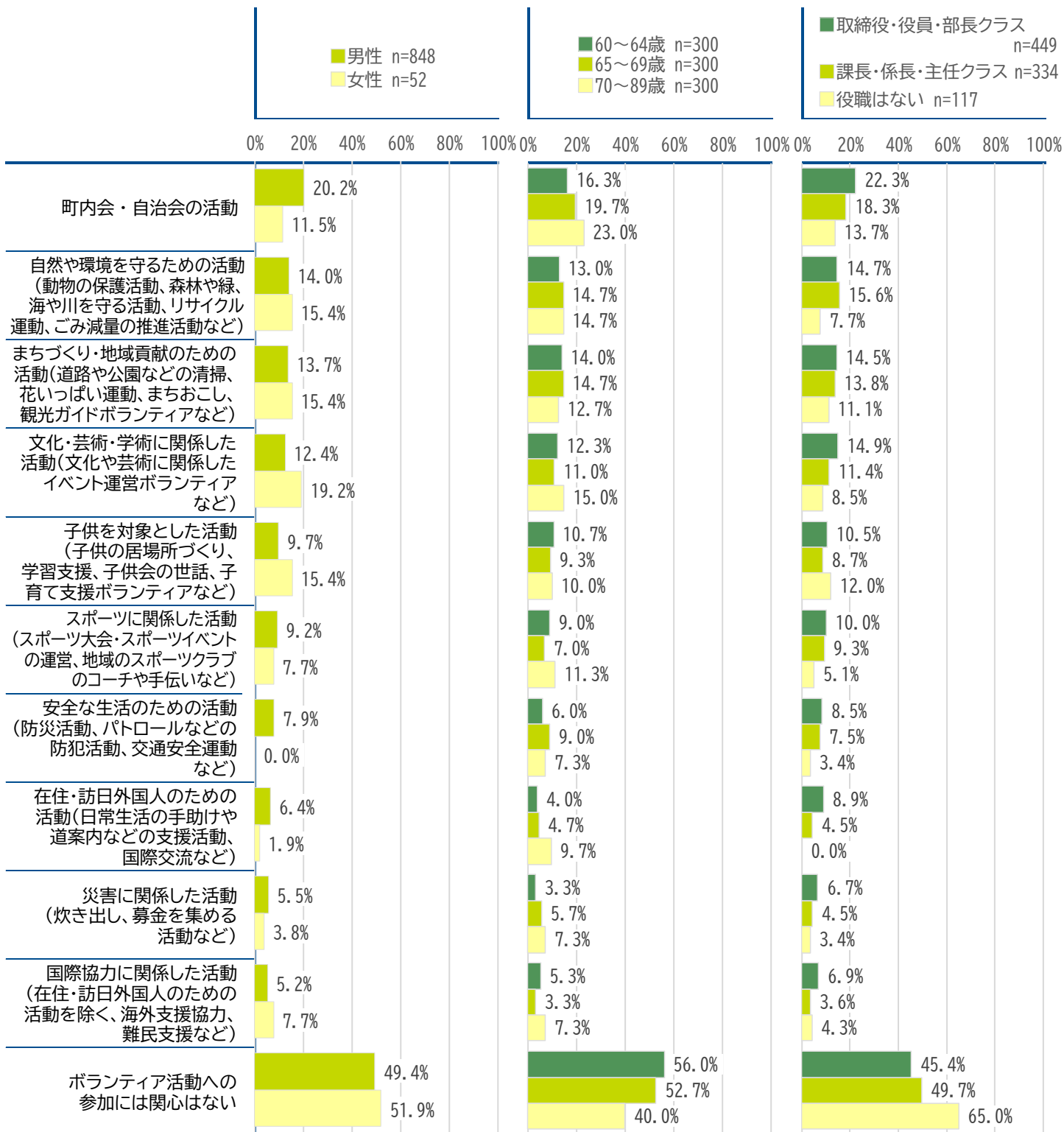
それぞれのボランティア活動について、前の[5.1.2.参加したボランティア活動](#)をクロスして見ると、「町内会・自治会の活動」が7割を超えて「参加あり」が最も多く、「スポーツに関係した活動(スポーツ大会・スポーツイベントの運営、地域のスポーツクラブのコーチや手伝いなど)」「在住・訪日外国人のための活動(日常生活の手助けや道案内などの支援活動、国際交流など)」がどちらも約3割で次いで多い。

図表5.2. やってみたいボランティア活動(複数選択)



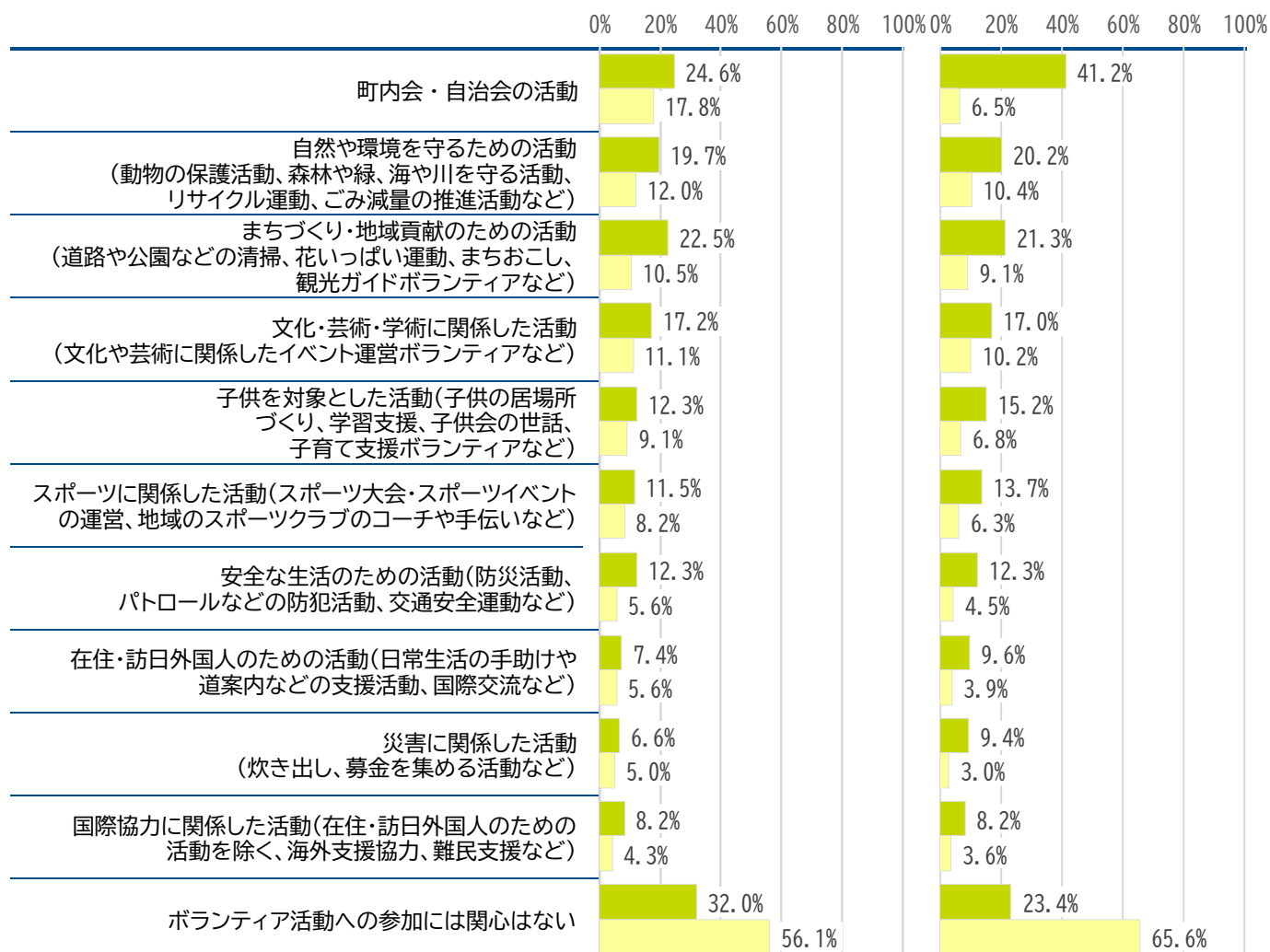
※ 選択肢「高齢者を対象とした活動(高齢者の日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど)」「健康や医療サービスに関係した活動(献血、入院患者の話し相手など)」「障害者を対象とした活動(手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力など)」「PTAの活動や学校行事の手伝い」「その他」「当事者活動、セルフ・ヘルプ・グループ(障害、病気、介護などの体験や困難を抱えている人が、体験を伝えるなどして同様の体験がある人を助けるための活動など)」の選択は、5%に満たなかった。

※ 選択肢「その他」には、司法関係、バックオフィスサポート、プログラム作成と翻訳、IT指導、援農、寄付、募金(主に被災地、子ども食堂、盲導犬など)などがあつた。



■ 就業希望 n=244  
■ 働きたくない n=656

■ ボランティア活動に参加したことがある n=342  
■ ボランティア活動に参加したことはない n=558



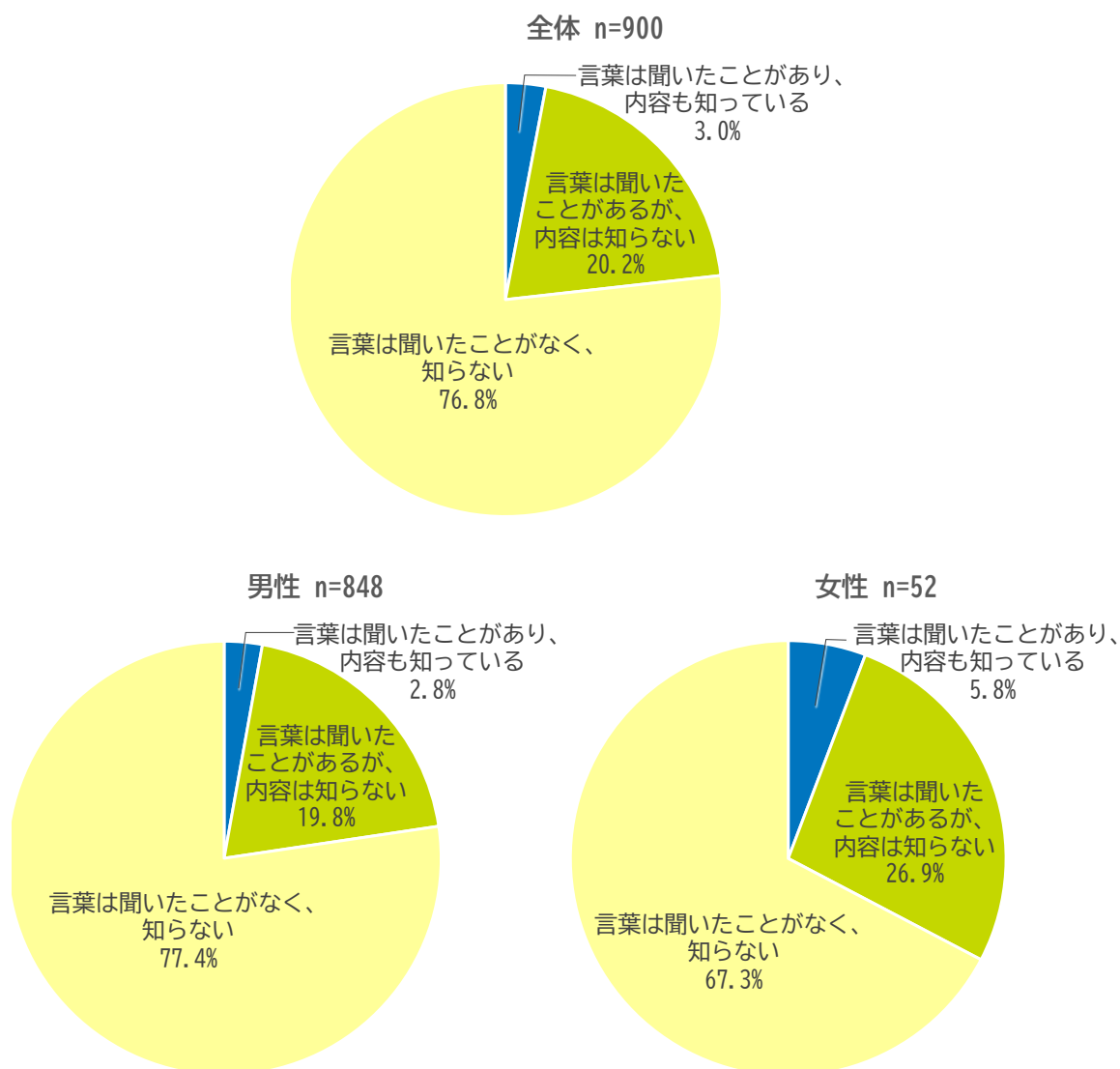
## 6. 労働者協同組合

### 6.1. 労働者協同組合法の認知

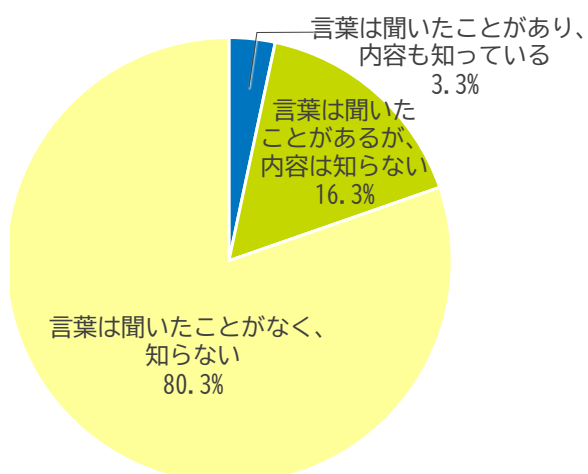
「労働者協同組合法」の認知を尋ねたところ、「言葉は聞いたことがなく、知らない」との回答が約8割と最も多く、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が約2割であった。

女性は「言葉は聞いたことがなく、知らない」が全体と比べて少なく、年齢別では大きな差異はない。また後の6.2.労働者協同組合セミナー参加意向をクロスして見ても、大きな差異はない。

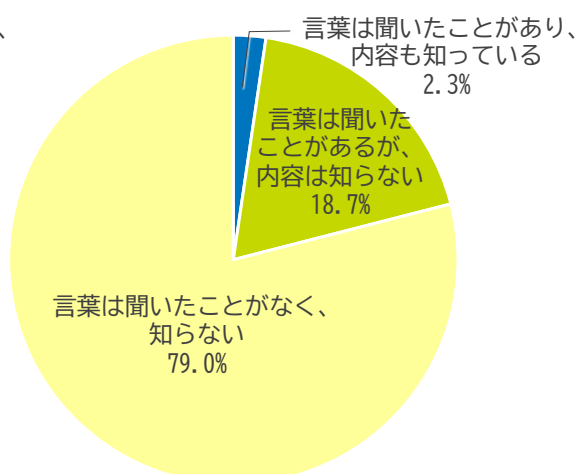
図表6.1. 労働者協同組合法の認知(単一選択)



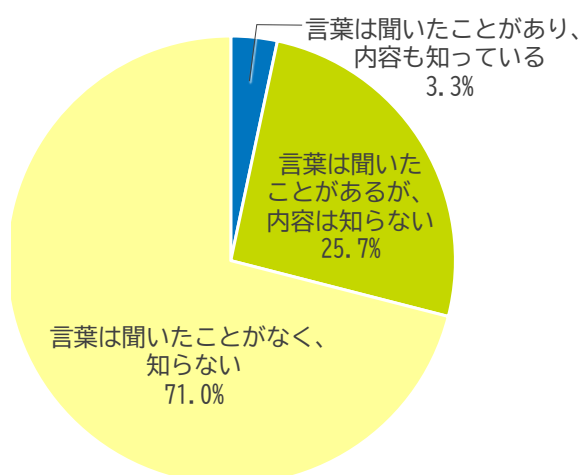
60～64歳 n=300



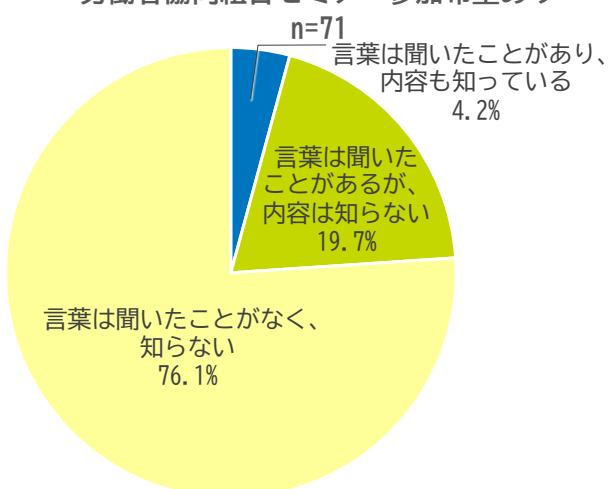
65～69歳 n=300



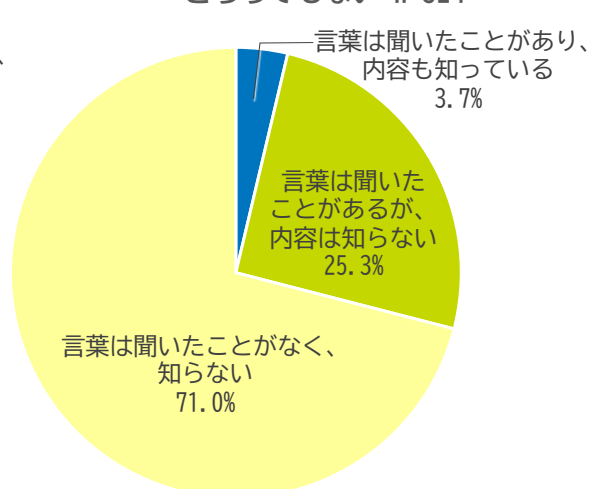
70～89歳 n=300



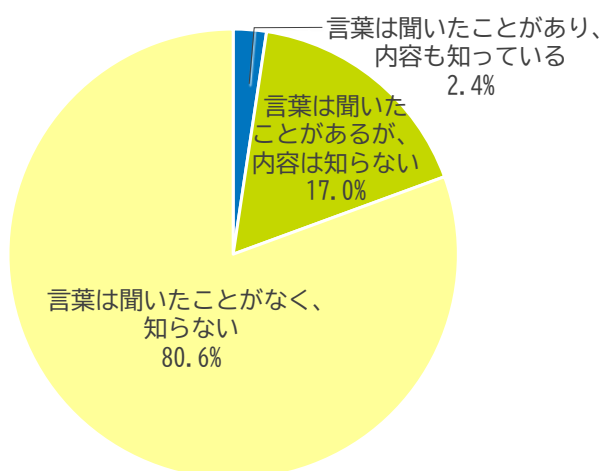
労働者協同組合セミナー参加希望あり



どちらでもない n=324



参加希望なし n=505



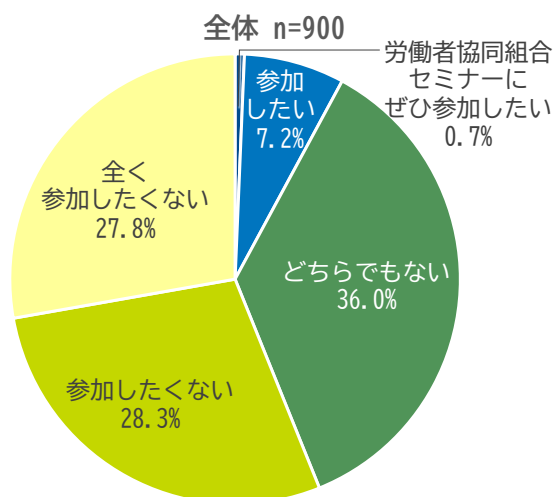
## 6.2. 労働者協同組合セミナー参加意向

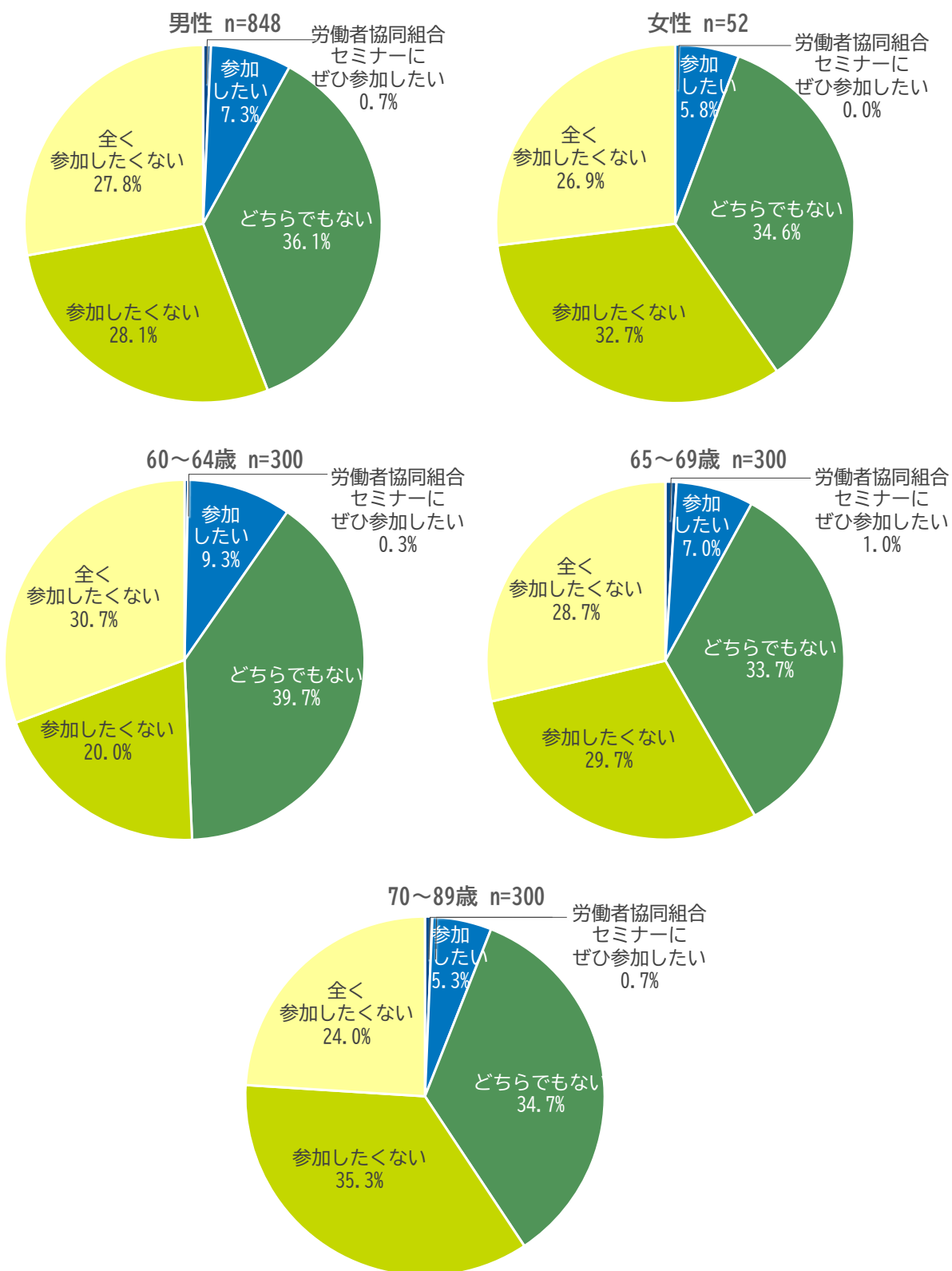
国や自治体が行う労働者協同組合の設立や参画についてのセミナーへの参加意向を尋ねたところ、「労働者協同組合セミナーにぜひ参加したい」と「参加したい」の計は約1割にとどまったのに比べ、「全く参加したくない」「参加したくない」の計は約6割に及んだ。

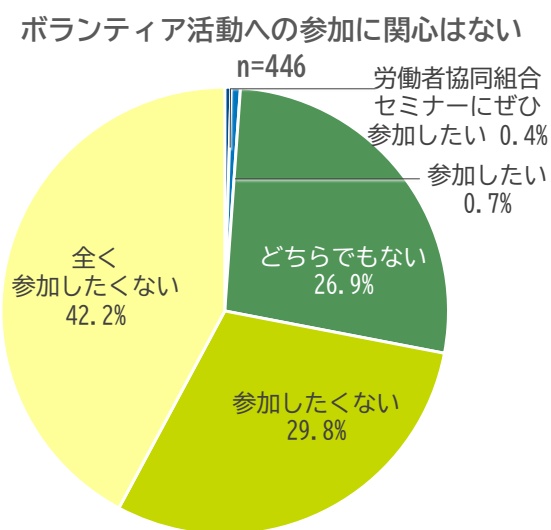
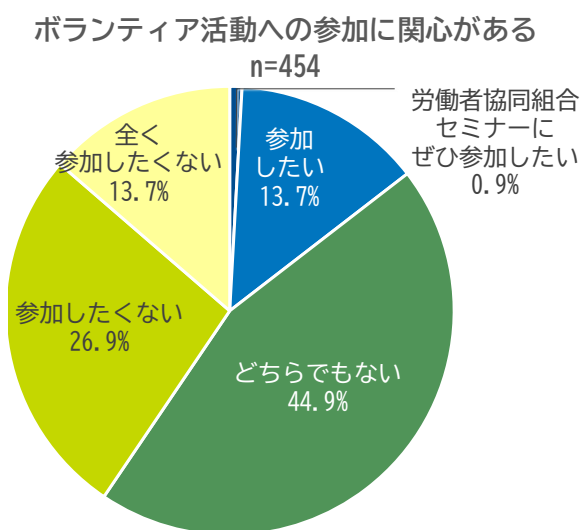
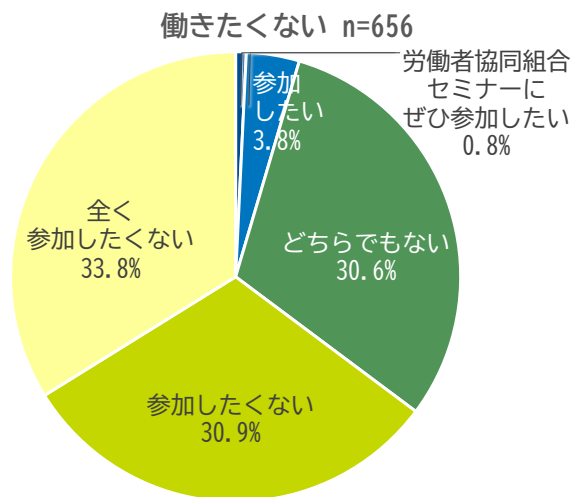
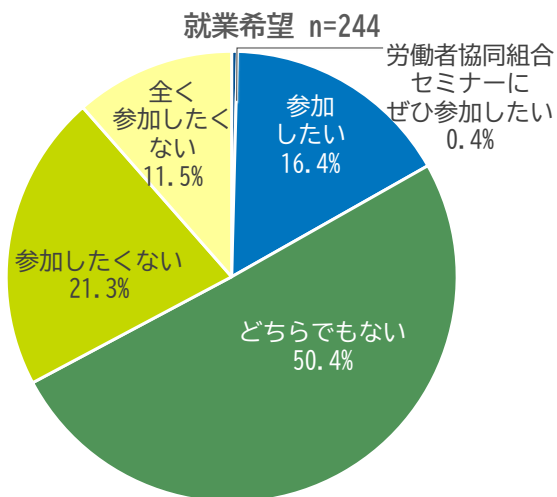
男女別、年齢別では大きな差異はない。就業希望の層、ボランティア活動への参加に関心がある層は、「全く参加したくない」「参加したくない」が少ない。

「労働者協同組合セミナーにぜひ参加したい」「参加したい」と回答した層、「どちらでもない」と回答した層、「全く参加したくない」「参加したくない」と回答した層に分けたクロス集計グラフを、次ページ以降に掲載する。

図表6.2. 労働者協同組合セミナー参加意向(単一選択)





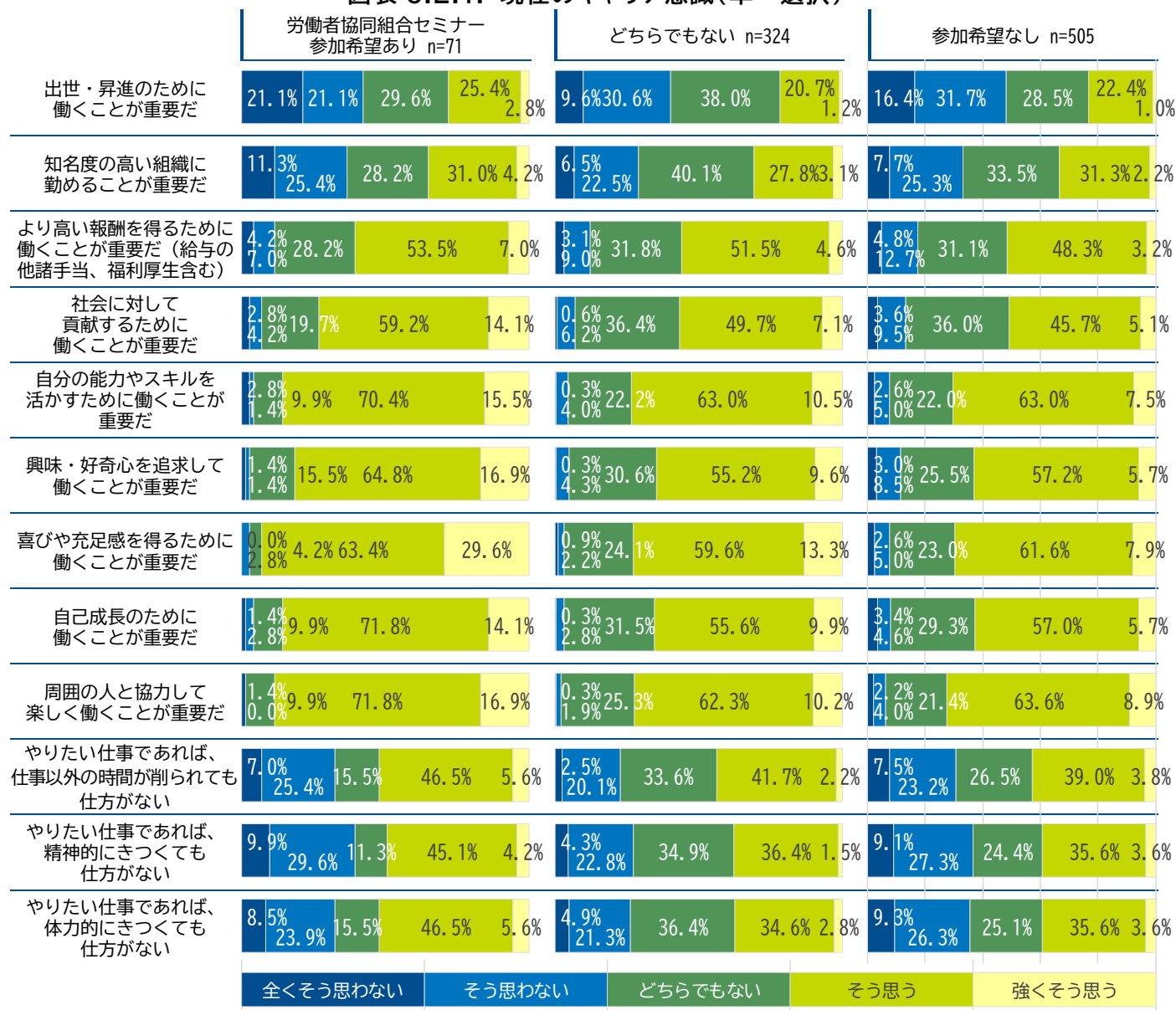


### 6.2.1. 現在のキャリア意識

国や自治体が行う労働者協同組合の設立や参画についてのセミナーへの参加意向別に、現在の働くことに対する気持ちを比較すると、参加希望ありの層は「喜びや充足感を得るために働くことが重要だ」「周囲の人と協力して楽しく働くことが重要だ」「自己成長のために働くことが重要だ」との回答（それぞれ「そう思う」「強くそう思う」の計。以下同）が約9割、「自分の能力やスキルを活かすために働くことが重要だ」「興味・好奇心を追求して働くことが重要だ」も8割を超える。

現在の働くことに対する気持ちの全体や他のクロス集計の結果は、[2.1.就職活動時と現在のキャリア意識](#)で述べる。

図表 6.2.1. 現在のキャリア意識（単一選択）

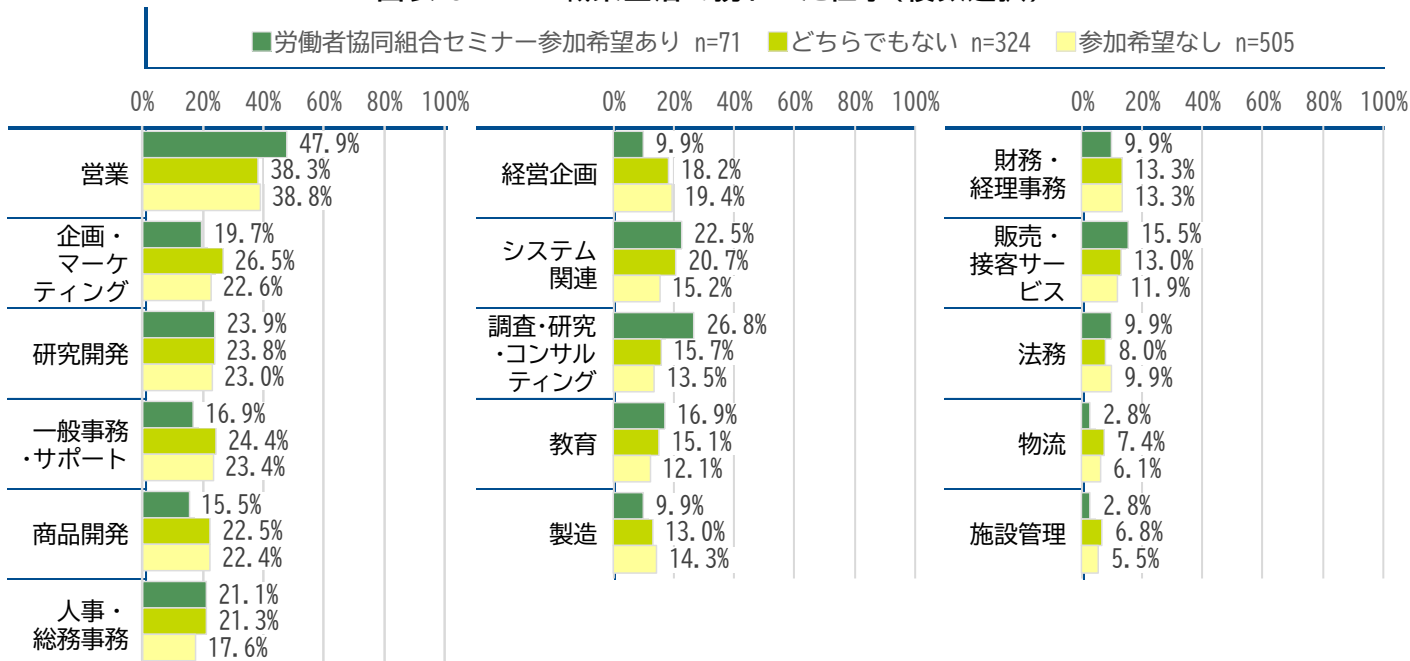


## 6.2.2. 職業生活で携わった仕事

同様に労働者協同組合についてのセミナーへの参加意向別に、職業生活で携わった仕事を比較すると、労働者協同組合セミナー参加希望ありの層は、「営業」が約半数と最も多く、「調査・研究・コンサルティング」が約3割と続く。

職業生活で携わった仕事の全体や他のクロス集計の結果は、[3.1.職業生活で携わった仕事](#)で述べる。

図表 6.2.2. 職業生活で携わった仕事（複数選択）



※ 選択肢「広報・IR」「その他」「翻訳・通訳」「電話オペレーター」「軽作業」「保育」「介護」の選択は、5%に満たなかった。

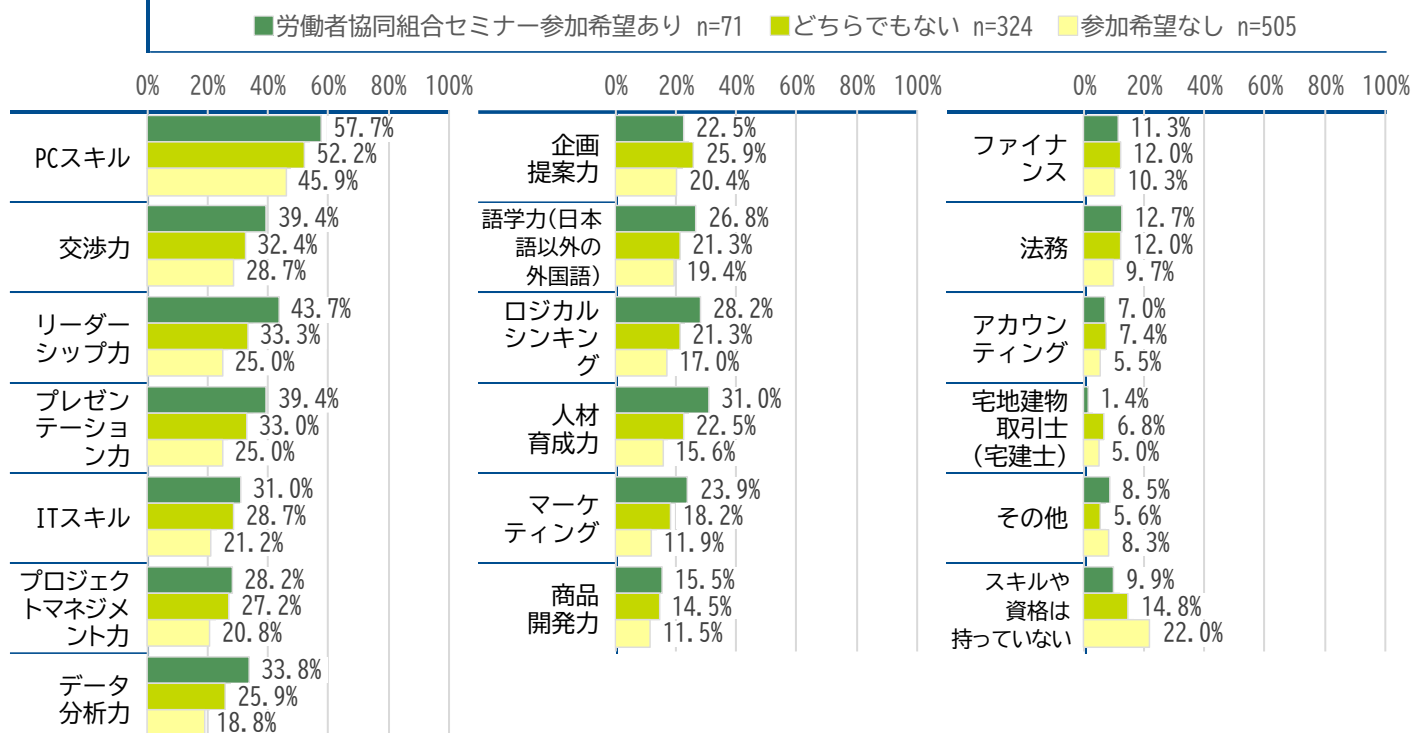
※ 選択肢「その他」には、建設工事、建築技術者、現場管理、生産技術、技術指導、海外技術支援、設計、保守、測量、ディーリング、渉外、審査、購買、調達、リスク管理、リスクマネジメント、プロジェクトマネージャー、公務員獣医師、自動車の検査、運転手、路線バスドライバー、船長、空港ポーター、原価低減活動、品質管理、品質保証、顧客サービス、関連組織、サステナビリティ、主婦、公務員、捜査などがあつた。

### 6.2.3. 身につけたスキルや資格

同様に労働者協同組合についてのセミナーへの参加意向別に、職務経験等を通じて身につけたスキルや資格を比較すると、参加希望ありの層は「リーダーシップ力」「プレゼンテーション力」が約4割、「データ分析力」「人材育成力」が約3割と多い。

職務経験等を通じて身につけたスキルや資格の全体や他のクロス集計の結果は、[3.2.身につけたスキルや資格](#)で述べる。

図表 6.2.3. 身につけたスキルや資格(複数選択)



※ 選択肢「仮説構築力」「行政書士」「社会保険労務士」「中小企業診断士」「公認会計士」「税理士」「弁護士」「介護福祉士」「管理栄養士」の選択は、5%に満たなかった。

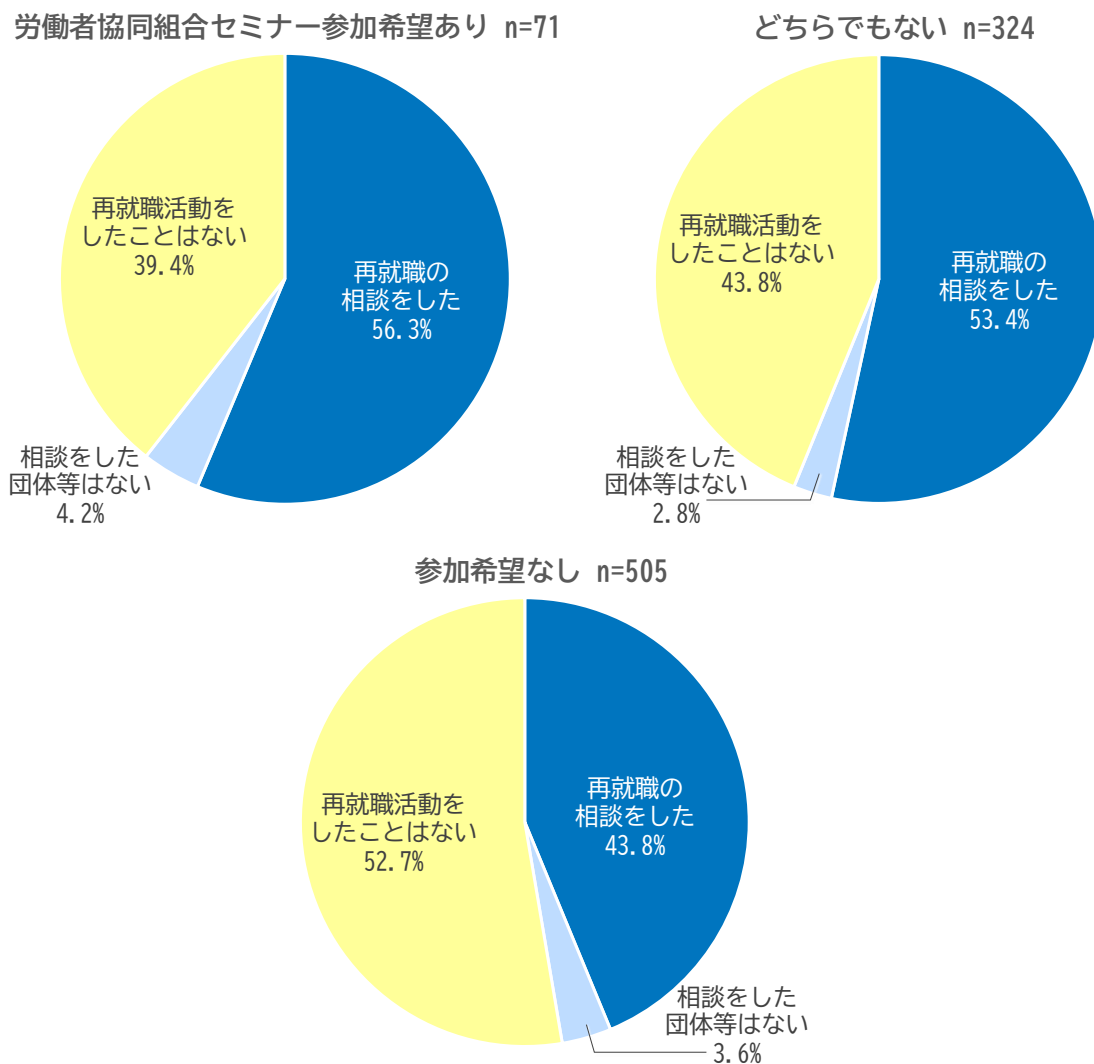
※ 選択肢「その他」には、大型免許、海技士、運航管理者、教員免許、初級システムアドミニストレータ、公認内部監査人、マネジメント審査員、ISO9001、監査能力、簿記、建設業経理事務士、貸金業務取扱主任者、生損保全資格、銀行口座解明、経営アセスメント、FP、QC、コンプライアンスオフィサー、一般旅行業務取扱主任者、添乗員、通訳、マンション管理士、司書、貿易実務、土木施工管理技士、建築士、建築施工監理、技術士、回路設計、計量士、危険物、高圧ガス、電気工事士、特種情報処理技術者、公害防止、農業機械士、放射線管理責任者、第一種放射線取扱主任者、衛生管理者、工学博士、建設系資格、メディカル、MR、薬剤師、精神保健福祉士、獣医師、ポストドクター、学位(博士号)、弁理士、演出力、気象予報士などがあつた。

#### 6.2.4. 再就職活動

同様に労働者協同組合についてのセミナーへの参加意向別に、定年後、再就職活動をしたことがあるかを比較すると、参加希望ありの層は「再就職の相談をした」が約6割と多く、「再就職活動をしたことはない」が約4割と少ない。

再就職活動の全体や他のクロス集計の結果は、[4.4.再就職活動](#)で述べる。

図表 6.2.4. 再就職活動(単数選択)

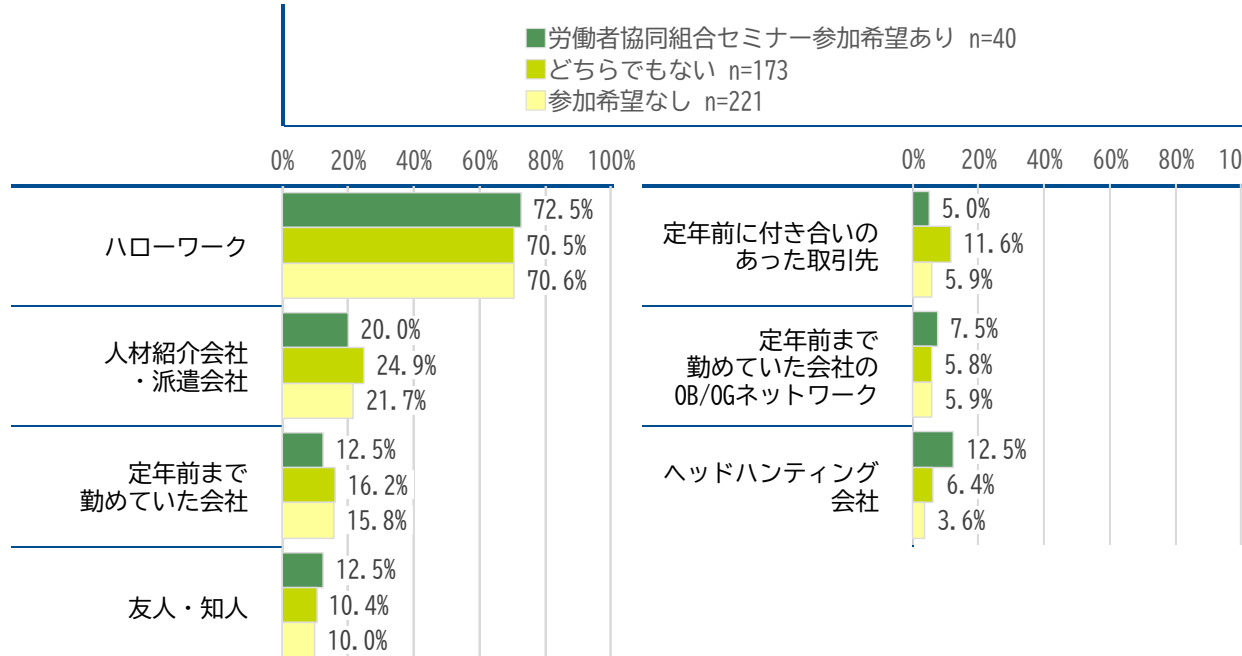


## 6.2.5. 再就職活動を行った際の相談先

さらに再就職活動を行った際の相談先を比較したが、大きな差異はなかった。

再就職活動を行った際の相談先の全体や他のクロス集計の結果は、[4.4.再就職活動](#)で述べる。

図表 6.2.5. 再就職活動を行った際の相談先(複数選択)



※ 選択肢「地域の活動団体」「その他」の選択は、5%に満たなかった。の選択は、5%に満たなかった。

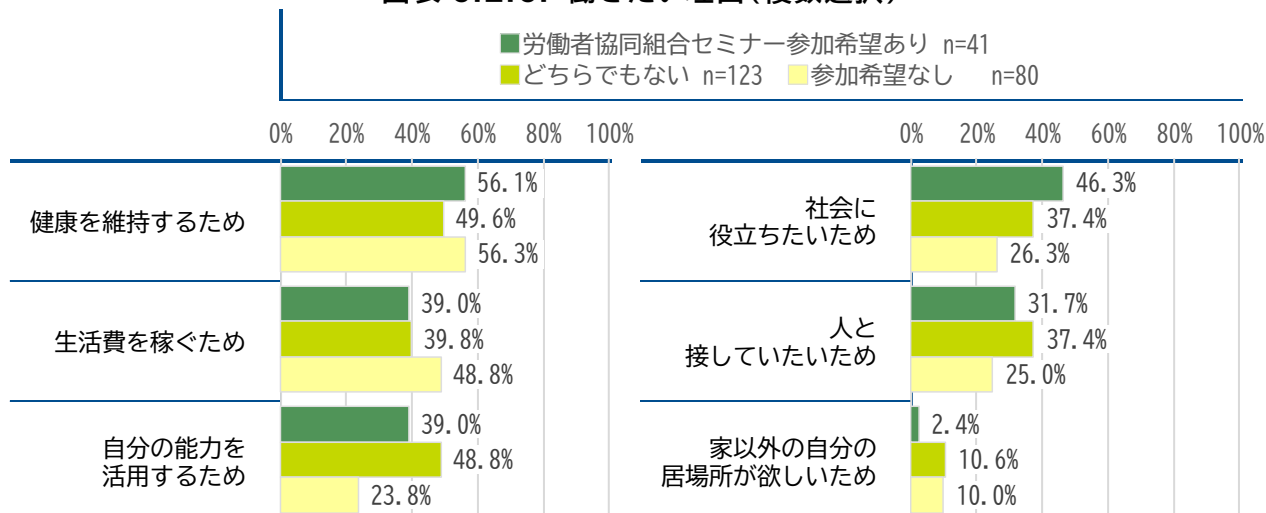
※ 選択肢「その他」には、産業雇用安定センター、省庁外郭団体、スーパー、シルバー、大学院生などがあつた。

## 6.2.6. 働きたい理由

同様に労働者協同組合についてのセミナーへの参加意向別に、[4.6.](#)で「働きたくない」以外を選択した回答者の働きたい理由を比較すると、参加希望なしの層は「自分の能力を活用するため」が約2割と少なく、参加希望ありの層は「社会に役立ちたいため」が約5割と多い。

働きたい理由の全体や他のクロス集計の結果は、[4.7.働きたい理由](#)で述べる。

図表 6.2.6. 働きたい理由(複数選択)



※ 選択肢「その他」「家に自分の居場所がないため」の選択は、5%に満たなかった。

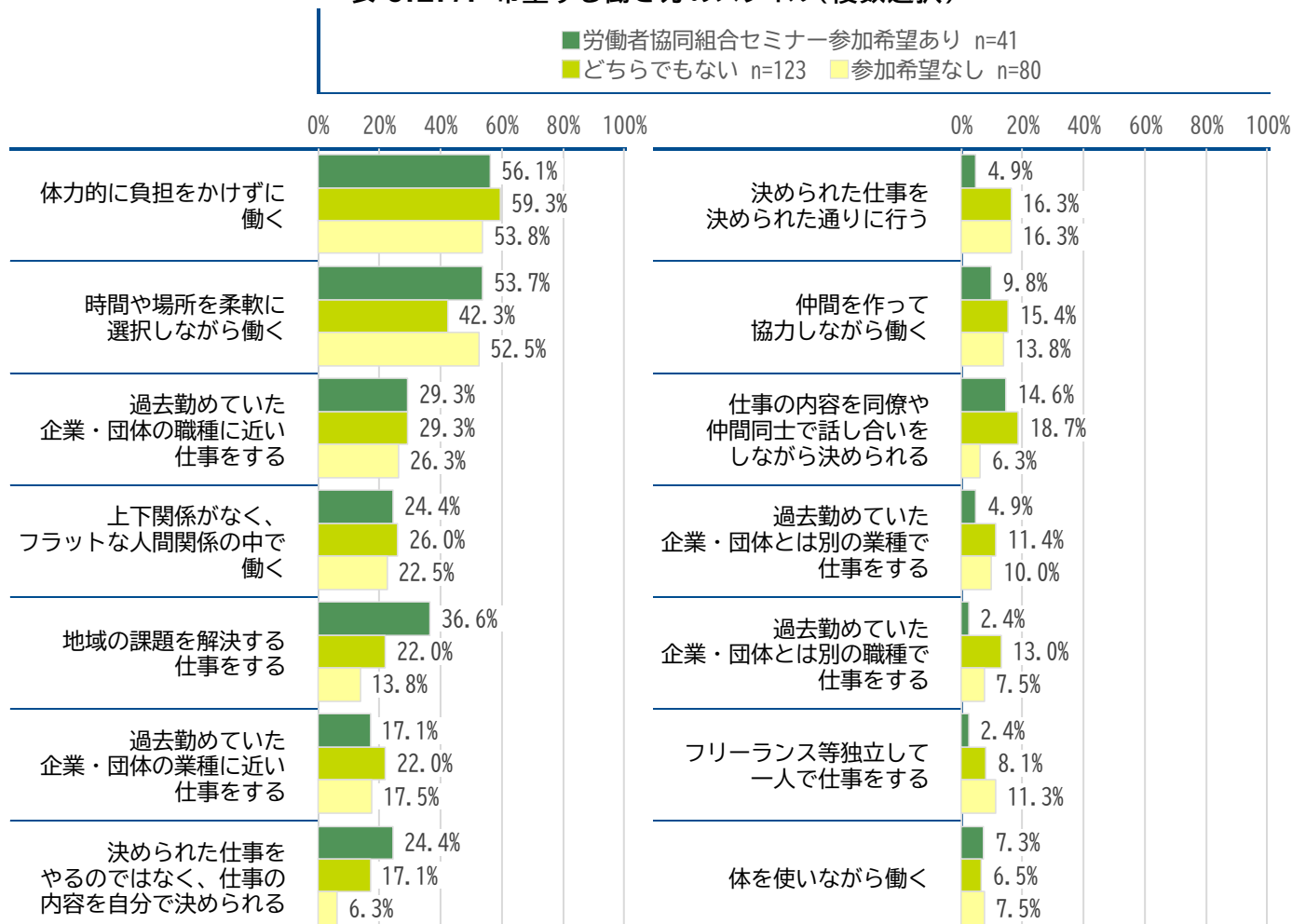
※ 選択肢「その他」には、自由に使えるお金を得る、小遣い稼ぎ、暇つぶし、ある程度のやりがいなどがあつた。

## 6.2.7. 希望する働き方のスタイル

同様に労働者協同組合についてのセミナーへの参加意向別に、[4.6.](#)で「働きたくない」以外を選択した回答者の今後の働き方としての希望するスタイルを比較すると、参加希望ありの層は「地域の課題を解決する仕事をする」が約4割、「決められた仕事をやるのではなく、仕事の内容を自分で決められる」が約2割と多く、「決められた仕事を決められた通りに行く」はほとんどない。

今後の働き方としての希望するスタイルの全体や他のクロス集計の結果は、[4.9.希望する働き方のスタイル](#)で述べる。

表 6.2.7. 希望する働き方のスタイル(複数選択)



※ 選択肢「起業をして人を雇いながら働く」「上下関係のある人間関係の中で、指示を受けながら働く」「上下関係のある人間関係の中で、上席者の立場で指示をしながら働く」「その他」の選択は、5%に満たなかった。

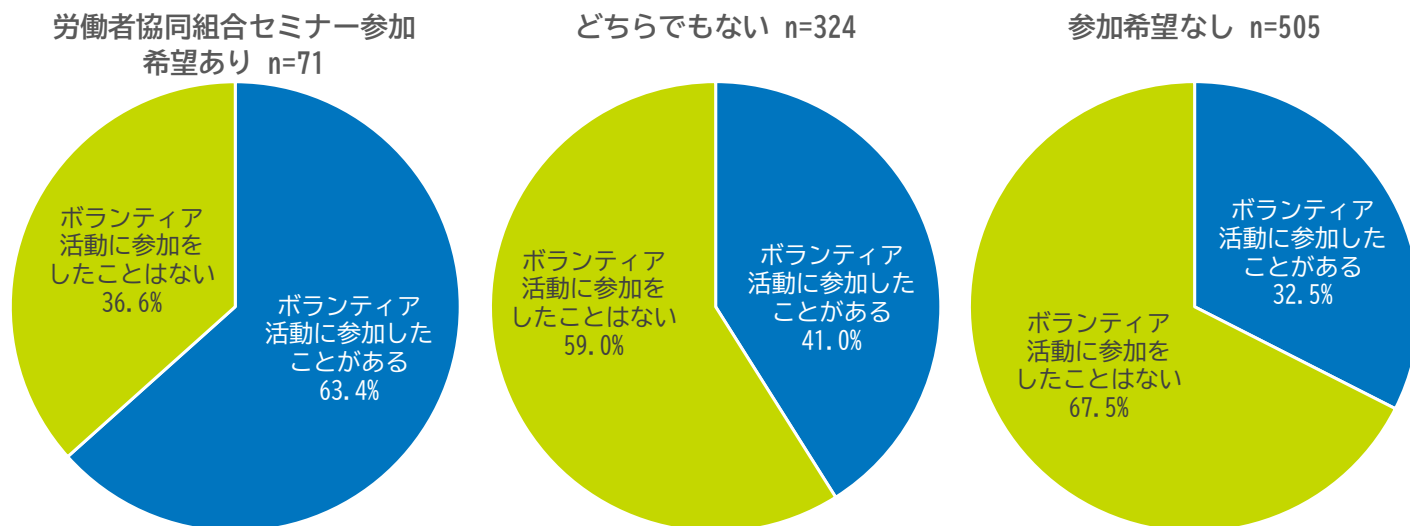
※ 選択肢「その他」には、介護で時間がないなどがあった。

## 6.2.8. ボランティア活動参加の有無

同様に労働者協同組合についてのセミナーへの参加意向別に、最近5年間で何らかのボランティア活動に参加したことがあるかを比較すると、参加希望ありの層は「ボランティア活動に参加したことがある」が6割を超え多い。

最近5年間のボランティア活動参加有無の全体や他のクロス集計の結果は、[5.1.1. ボランティア活動参加の有無](#)で述べる。

図表 6.2.8. ボランティア活動参加の有無(単一選択)

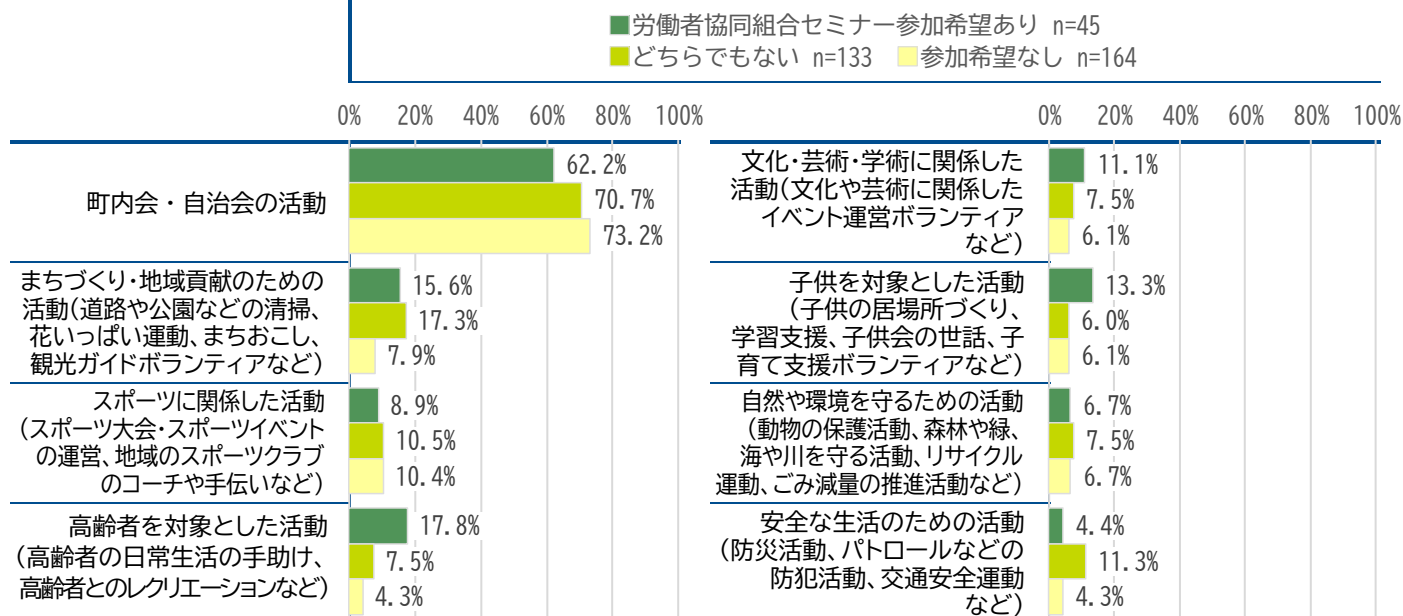


## 6.2.9. 参加したボランティア活動

さらに、ボランティア活動に参加した回答者に絞って活動内容を比べると、参加希望ありの層は「高齢者を対象とした活動（高齢者の日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど）」が多く、「町内会・自治会の活動」が少ない。

参加したボランティア活動内容の全体や他のクロス集計の結果は、[5.1.2.参加したボランティア活動](#)で述べる。

図表 6.2.9. 参加したボランティア活動（複数選択）



※ 選択肢「その他」「在住・訪日外国人のための活動（日常生活の手助けや道案内などの支援活動、国際交流など）」「災害に関連した活動（炊き出し、募金を集める活動など）」「障害者を対象とした活動（手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力など）」「国際協力に関連した活動（在住・訪日外国人のための活動を除く、海外支援協力、難民支援など）」「PTAの活動や学校行事の手伝い」「健康や医療サービスに関連した活動（献血、入院患者の話し相手など）」「当事者活動、セルフ・ヘルプ・グループ（障害、病気、介護などの体験や困難を抱えている人が、体験を伝えるなどして同様の体験がある人を助けるための活動など）」の選択は、5%に満たなかった。

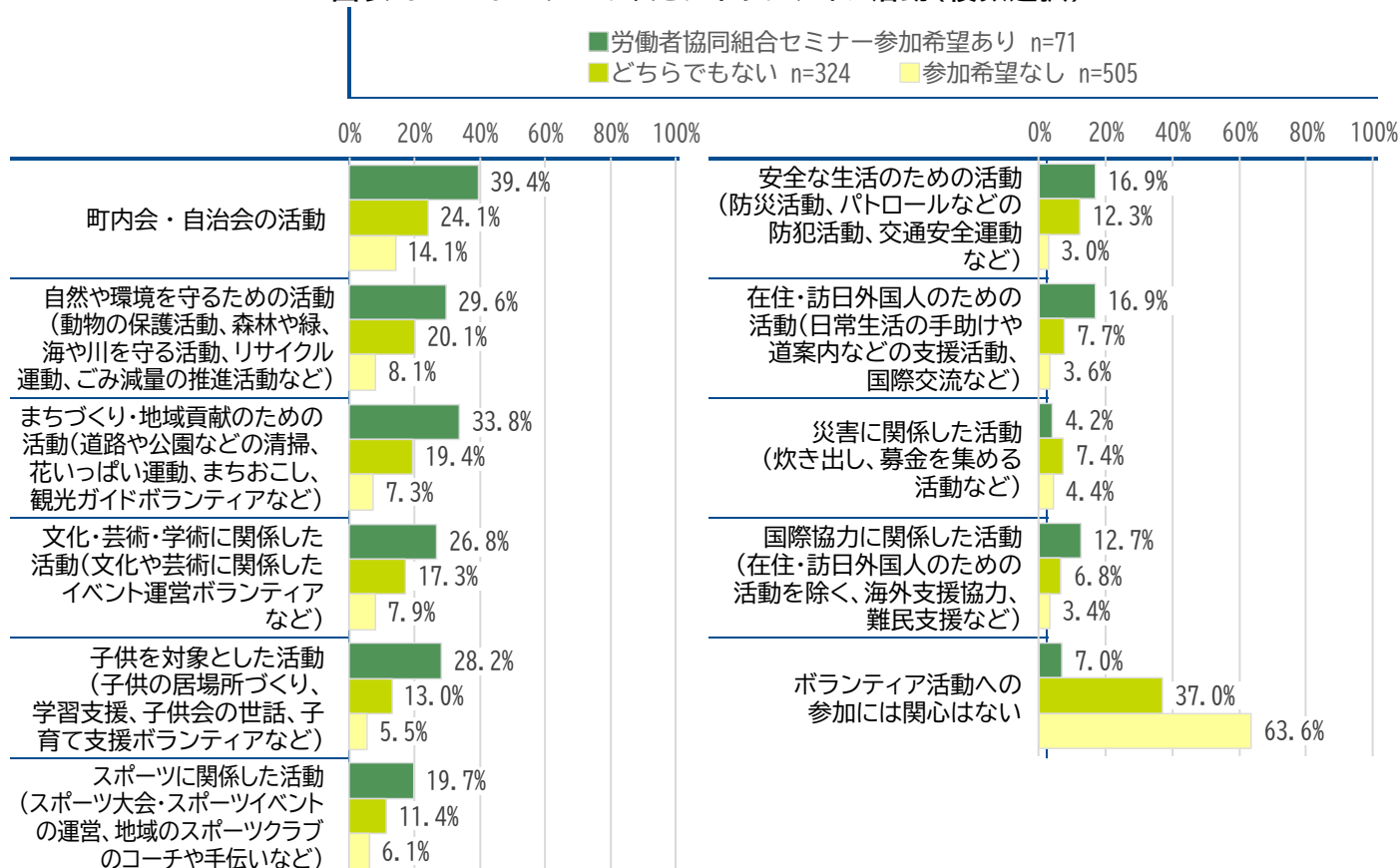
※ 選択肢「その他」には、民生委員、児童委員、司法委員、調停委員、プログラム作成翻訳、前職関連、経理サポート、マンション管理組合理事、OB会役員、キリスト教会、農協、援農、募金などがあつた。

## 6.2.10. やってみたいボランティア活動

同様に労働者協同組合についてのセミナーへの参加意向別に、ボランティア活動をするとしたらやってみたいことを比較すると、「ボランティア活動への参加には関心はない」との回答が、参加希望ありの層は約1割、どちらでもない層は約4割と少ない。やってみたいボランティア活動としてあがったほとんどの活動が、参加希望ありの層で多いが、とくに「まちづくり・地域貢献のための活動（道路や公園などの清掃、花いっぱい運動、まちおこし、観光ガイドボランティアなど）」「町内会・自治会の活動」「子供を対象とした活動（子供の居場所づくり、学習支援、子供会の世話、子育て支援ボランティアなど）」の回答が多い。

ボランティア活動をするとしたらやってみたいことの全体や他のクロス集計の結果は、[5.2. やってみたいボランティア活動](#)で述べる。

図表 6.2.10. やってみたいボランティア活動（複数選択）



※ 選択肢「高齢者を対象とした活動（高齢者の日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど）」「健康や医療サービスに関係した活動（献血、入院患者の話し相手など）」「障害者を対象とした活動（手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力など）」「PTAの活動や学校行事の手伝い」「その他」「当事者活動、セルフ・ヘルプ・グループ（障害、病気、介護などの体験や困難を抱えている人が、体験を伝えるなどして同様の体験がある人を助けるための活動など）」の選択は、5%に満たなかった。

※ 選択肢「その他」には、必要に応じて行う、司法関係、バックオフィスサポート、プログラム作成と翻訳、IT指導、援農、キリスト教会、伝道活動、寄付、募金（主に被災地、子ども食堂、盲導犬など）、介護で時間がないなどがあつた。

## 7. アルumniネットワーク

### 7.1. アルumniネットワークの有無と利用

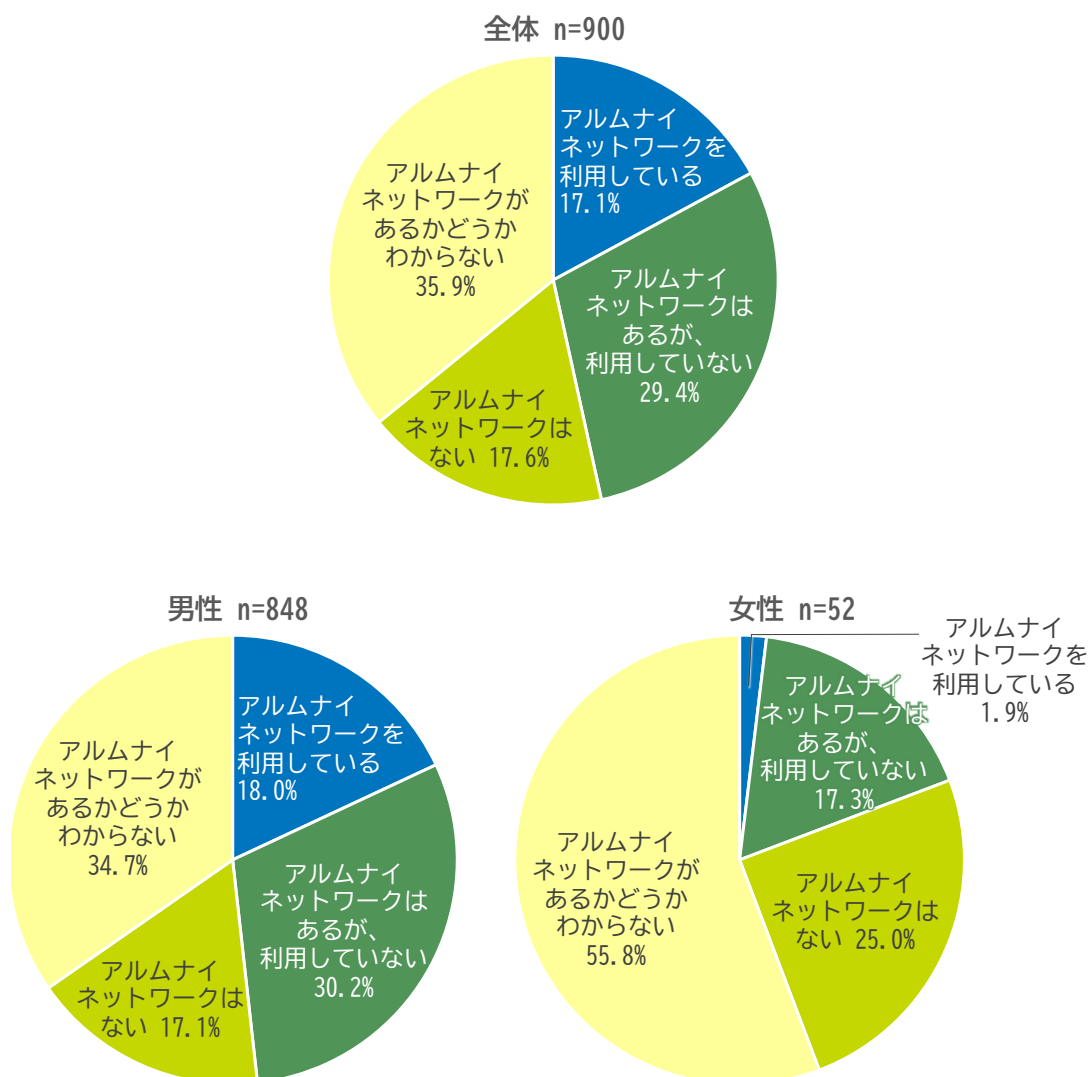
アルumniネットワーク(例:OB/OG会など企業の元従業員で形成されるコミュニティ)の利用状況等を尋ねたところ、「アルumniネットワークがあるかどうか分からない」との回答が最も多く約4割に及び、次いで「アルumniネットワークはあるが、利用していない」との回答が約3割だった。

女性は「アルumniネットワークがあるかどうか分からない」が約6割と多い一方で、「アルumniネットワークを利用している」はほとんどない。年齢の高い層ほど「アルumniネットワークを利用している」が多い傾向にある。職位の高い層ほど「アルumniネットワークがあるかどうか分からない」が少ない。また「アルumniネットワークを利用している」が多くなる傾向が強い。

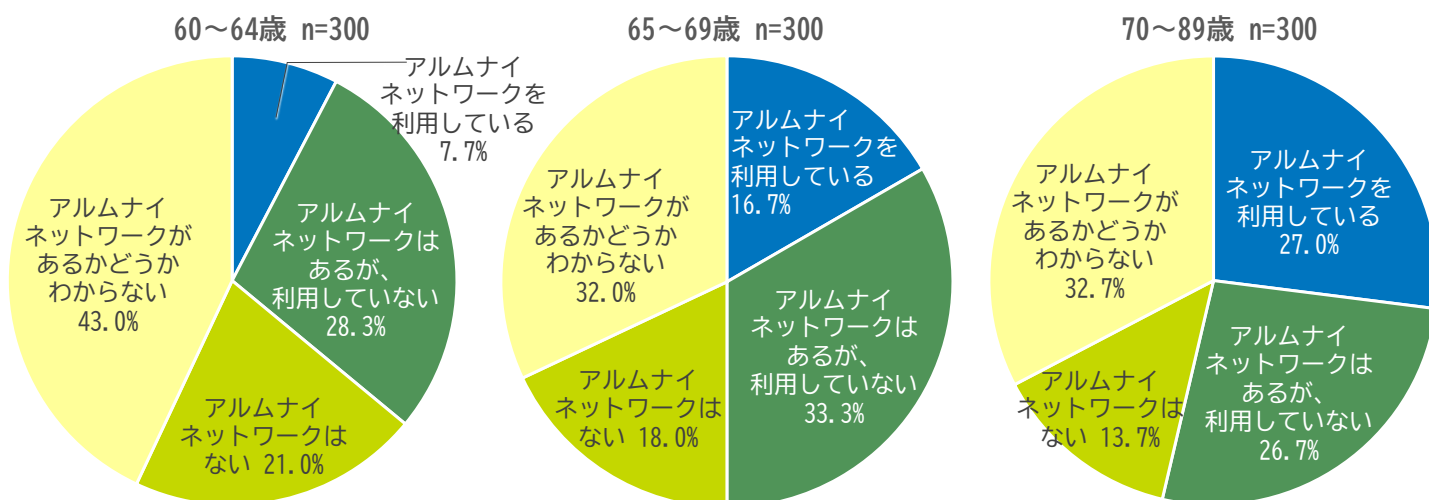
「アルumniネットワークを利用している」と「アルumniネットワークはあるが、利用していない」と回答した層を対象にしたクロス集計グラフを、次ページ以降に掲載する。

図表7.1. アルumniネットワークの有無と利用(単一選択)

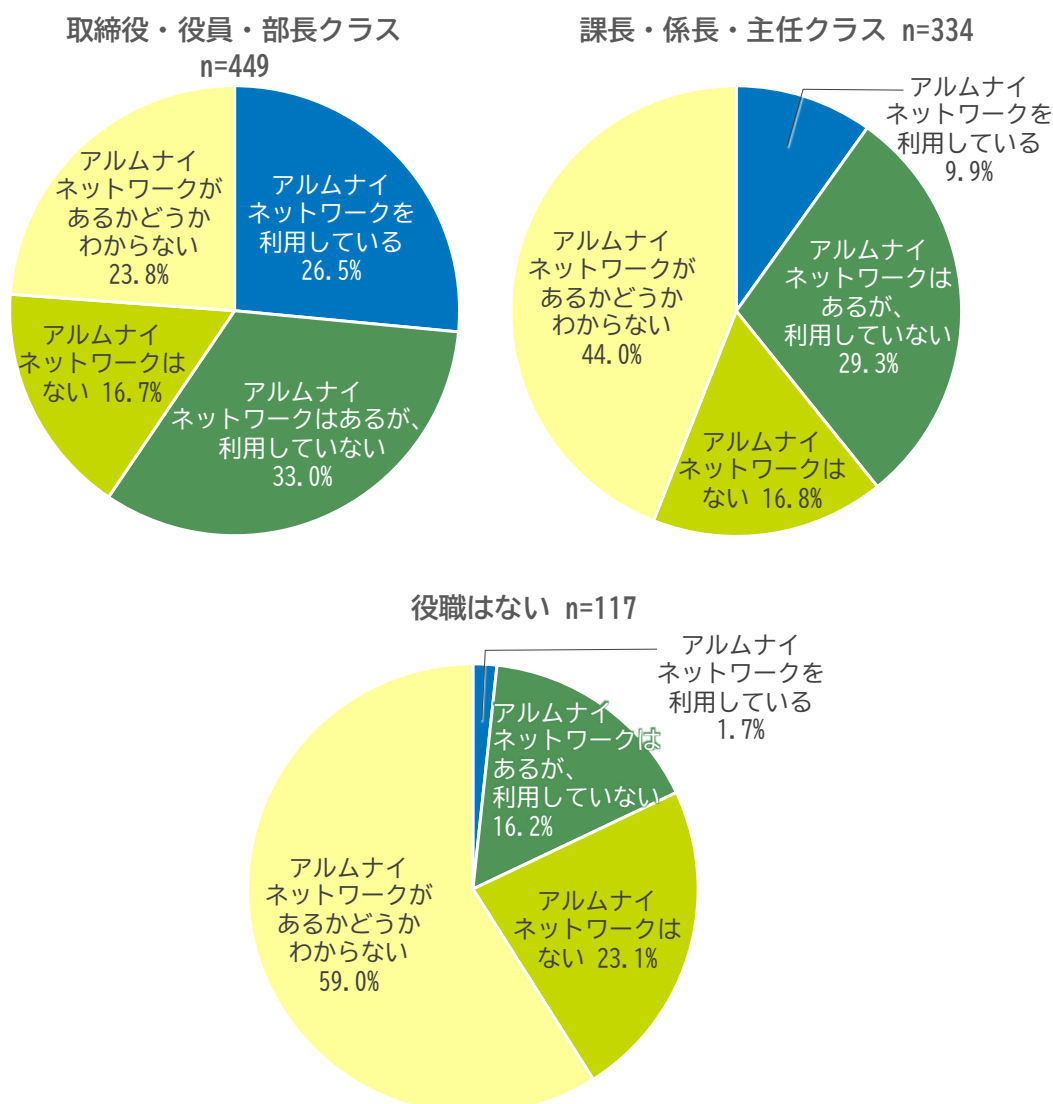
【全体・男女別】



【年齢別】



【職位別】

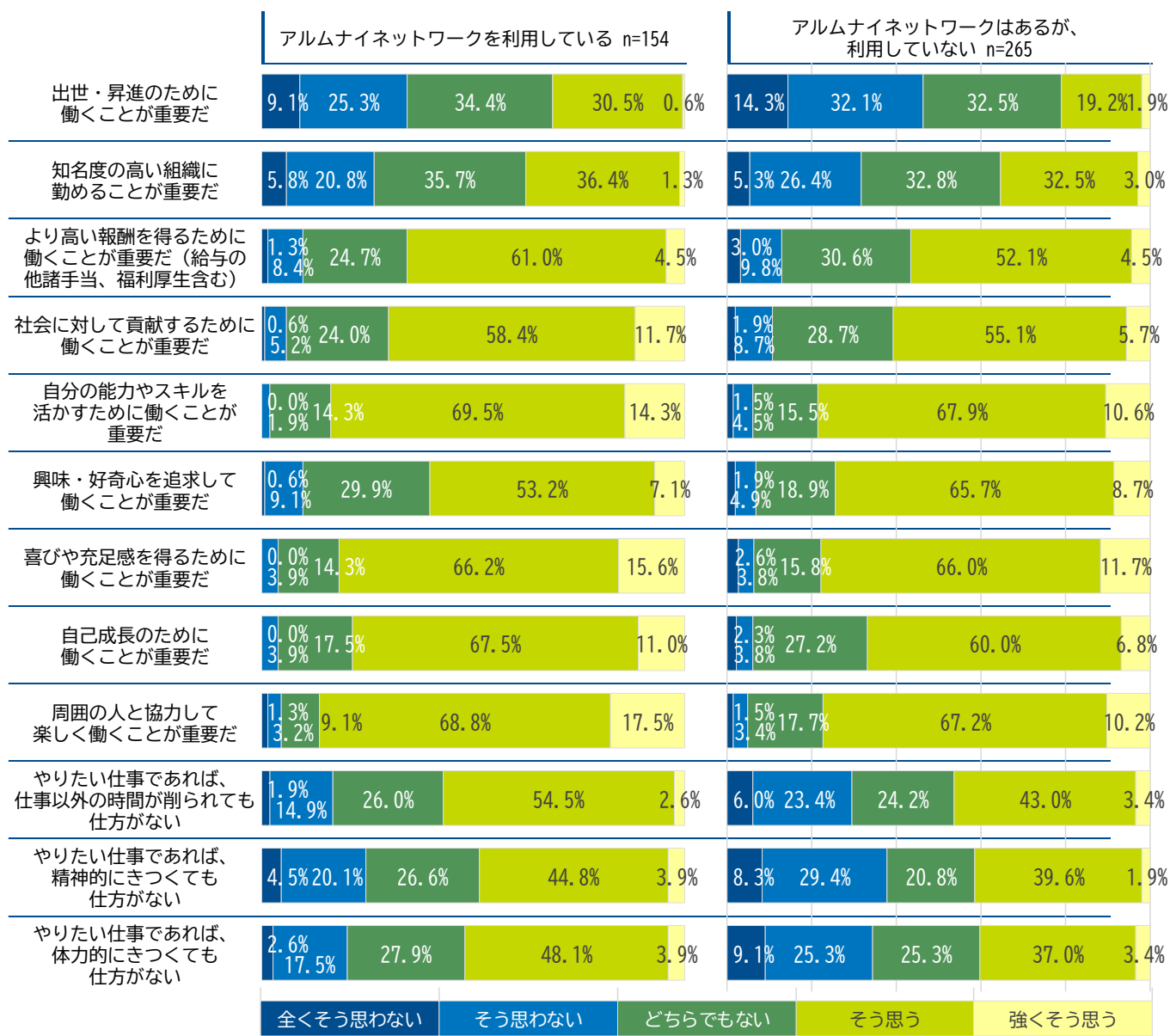


### 7.1.1. 現在のキャリア意識

アルムナイネットワークの利用状況別に、現在の働くことに対する気持ちを比較すると、利用している層は「社会に対して貢献するために働くことが重要だ」との回答（それぞれ「そう思う」「強くそう思う」の計）が7割超、「やりたい仕事であれば、仕事以外の時間が削られても仕方がない」が約6割、「自己成長のために働くことが重要だ」が8割近くと多い。

現在の働くことに対する気持ちの全体や他のクロス集計の結果は、[2.1.就職活動時と現在のキャリア意識](#)で述べる。

図表 7.1.1. 現在のキャリア意識（単一選択）

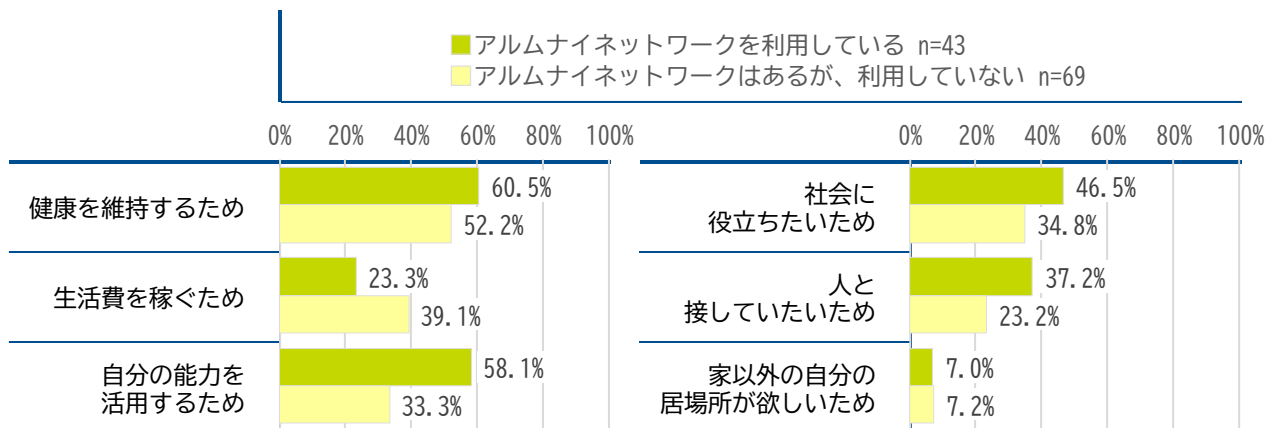


### 7.1.2. 働きたい理由

同様にアルムナイネットワークの利用状況別に、[4.6.](#)で「働きたくない」以外を選択した回答者の働きたい理由を比較すると、利用している層は「生活費を稼ぐため」が約2割と少なく、「自分の能力を活用するため」が6割近く、「社会に役立ちたいため」が約5割と多い。

働きたい理由の全体や他のクロス集計の結果は、[4.7.働きたい理由](#)で述べる。

図表 7.1.2. 働きたい理由(複数選択)



※ 選択肢「その他」「家に自分の居場所がないため」の選択は、5%に満たなかった。

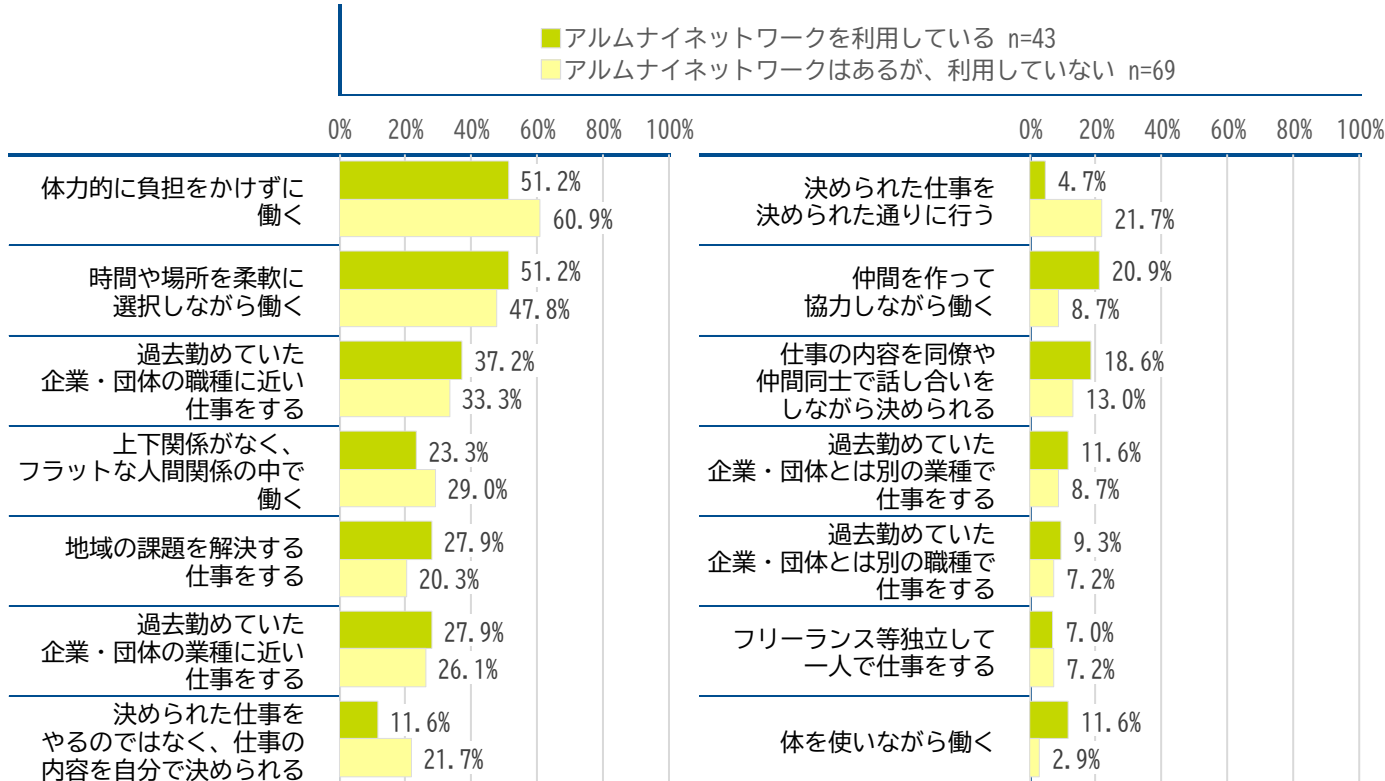
※ 選択肢「その他」には、自由に使えるお金を得る、小遣い稼ぎ、暇つぶし、ある程度のやりがいなどがあつた。

### 7.1.3. 希望する働き方のスタイル

同様にアルムナイネットワークの利用状況別に、[4.6.](#)で「働きたくない」以外を選択した回答者の今後の働き方としての希望するスタイルを比較すると、利用している層は「仲間を作って協力しながら働く」が多い。

今後の働き方としての希望するスタイルの全体や他のクロス集計の結果は、[4.9.希望する働き方のスタイル](#)で述べる。

図表 7.1.3. 希望する働き方のスタイル(複数選択)



※ 選択肢「起業をして人を雇いながら働く」「上下関係のある人間関係の中で、指示を受けながら働く」「上下関係のある人間関係の中で、上席者の立場で指示をしながら働く」「その他」の選択は、5%に満たなかった。

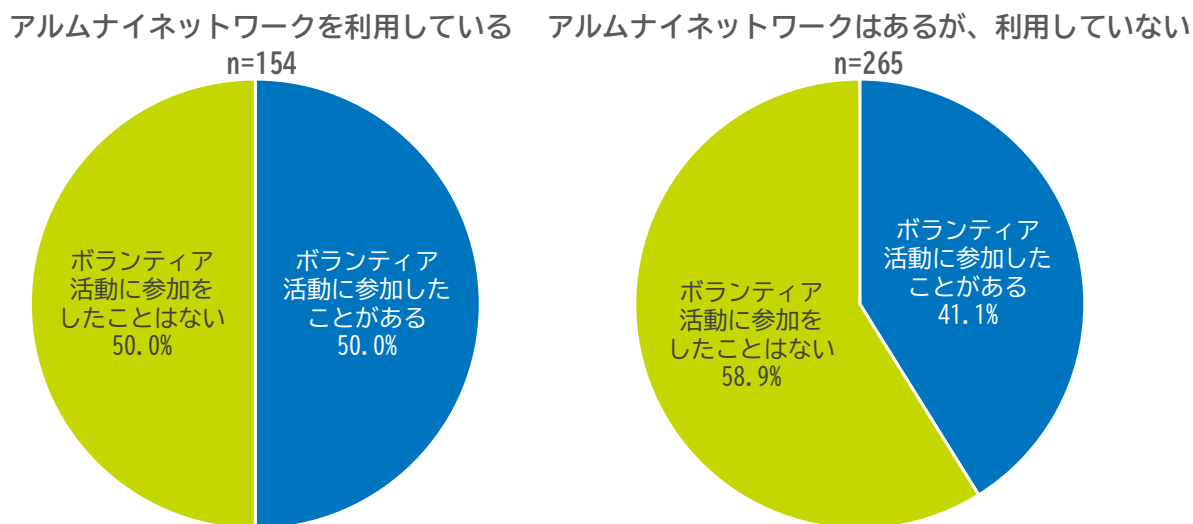
※ 選択肢「その他」には、介護で時間がないなどがあつた。

#### 7.1.4. ボランティア活動参加の有無

同様にアルムナイネットワークの利用状況別に、最近5年間で何らかのボランティア活動に参加したことがあるかを比較すると、利用している層は「ボランティア活動に参加したことがある」が半数と多い。

ボランティア活動をするとしたらやってみたいことの全体や他のクロス集計の結果は、[5.1.1. ボランティア活動参加の有無](#)で述べる。

図表 7.1.4. ボランティア活動参加の有無(単数選択)

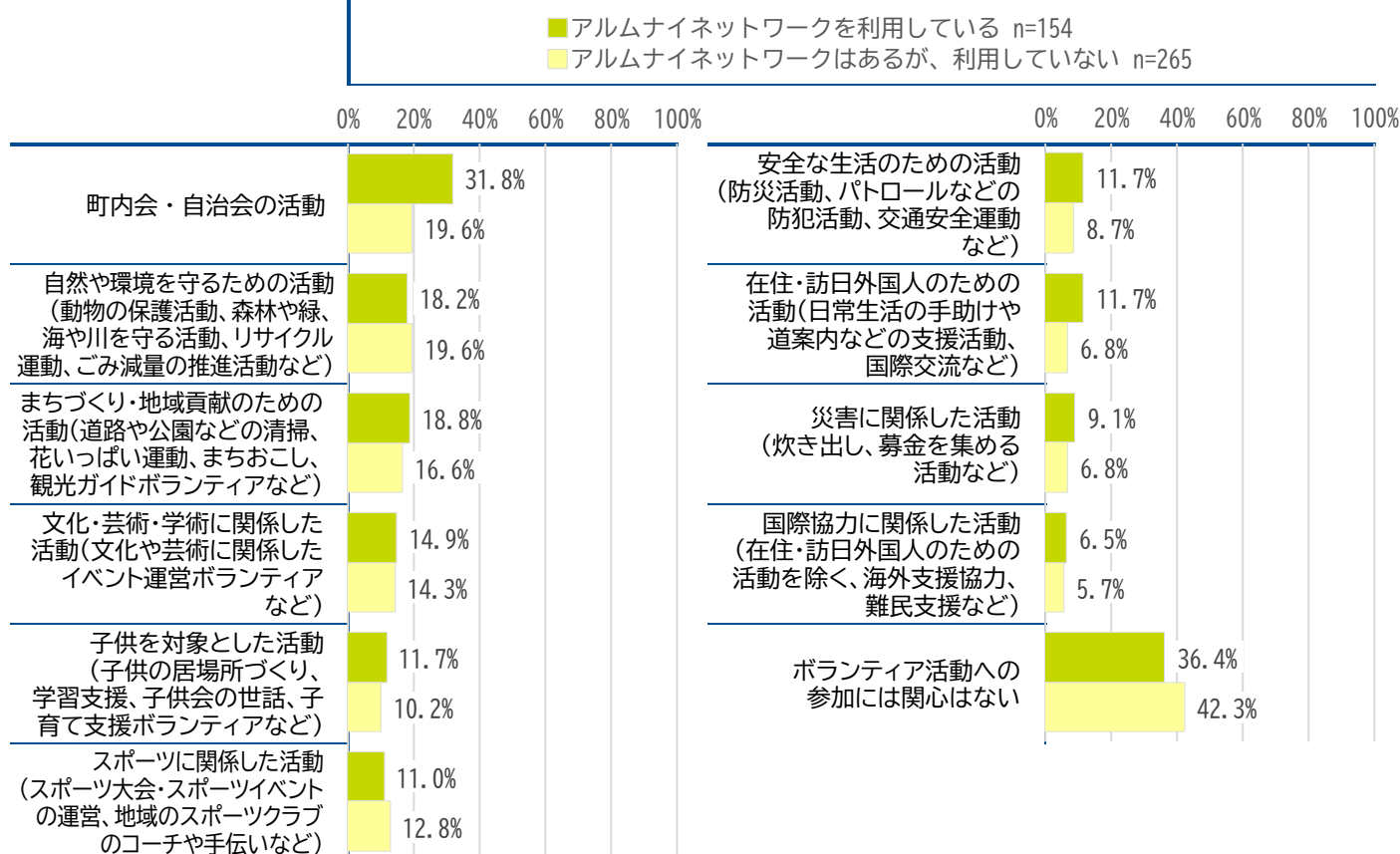


### 7.1.5. やってみたいボランティア活動

同様にアルムナイネットワークの利用状況別に、ボランティア活動をするとしたらやってみたいことを比較すると、利用している層は「町内会・自治会の活動」が多く3割を超える。

ボランティア活動をするとしたらやってみたいことの全体や他のクロス集計の結果は、[5.2. やってみたいボランティア活動](#)で述べる。

図表 7.1.5. やってみたいボランティア活動（複数選択）



※ 選択肢「高齢者を対象とした活動（高齢者の日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど）」「健康や医療サービスに関係した活動（献血、入院患者の話し相手など）」「障害者を対象とした活動（手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力など）」「PTAの活動や学校行事の手伝い」「その他」「当事者活動、セルフ・ヘルプ・グループ（障害、病気、介護などの体験や困難を抱えている人が、体験を伝えるなどして同様の体験がある人を助けるための活動など）」の選択は、5%に満たなかった。

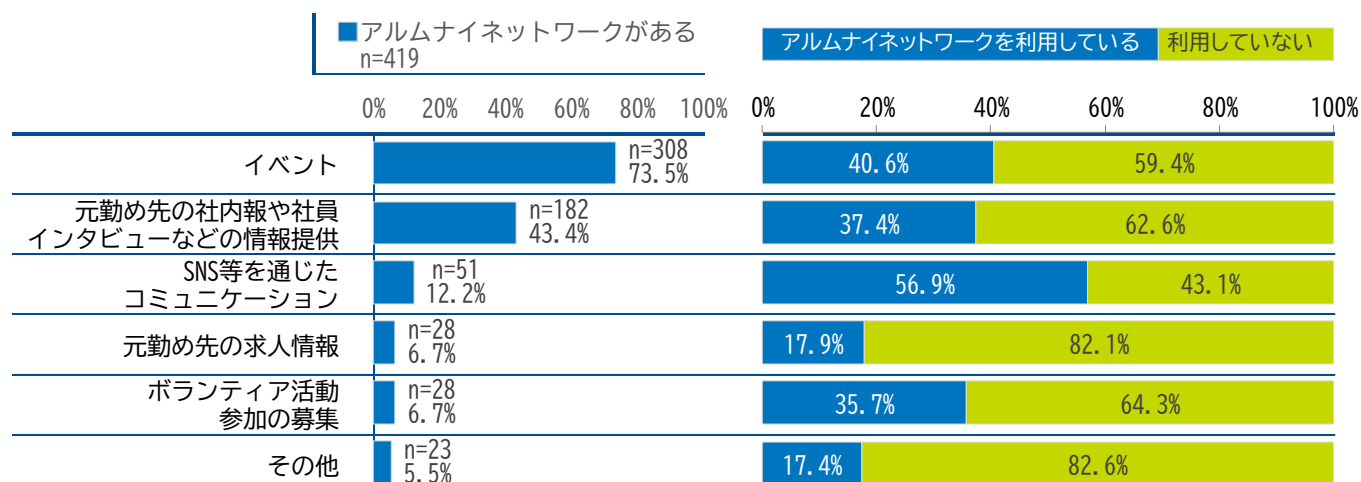
※ 選択肢「その他」には、必要に応じて行う、司法関係、バックオフィスサポート、プログラム作成と翻訳、IT指導、援農、キリスト教会、伝道活動、寄付、募金（主に被災地、子ども食堂、盲導犬など）、介護で時間がないなどがあつた。

## 7.2. アルumniネットワークの提供サービス

前問で「アルumniネットワークを利用している」または「アルumniネットワークはあるが、利用していない」を選択した回答者を対象に、所属しているアルumniネットワークで提供されているサービス等を尋ねたところ、「イベント」が最も多く7割を超え、次いで「元勤め先の社内報や社員インタビューなどの情報提供」が多く4割を超えた。他の選択肢は、約1割以下だった。

それぞれのサービスを提供するアルumniネットワークに所属する回答者の、前問の「アルumniネットワークを利用している」と「アルumniネットワークはあるが、利用していない」の比率を見たところ、「SNS等を通じたコミュニケーション」を提供するアルumniネットワークが、約6割と最も「アルumniネットワークを利用している」比率が高い。

図表7.2. アルumniネットワークの提供サービス(複数選択)



※ 選択肢「元勤め先以外の企業・団体の求人情報」の選択は、5%に満たなかった。

※ 選択肢「その他」には、割引サービス、保険、墓地、団体保険、訃報の通知、旧交などがあつた。

## 8. 人間関係

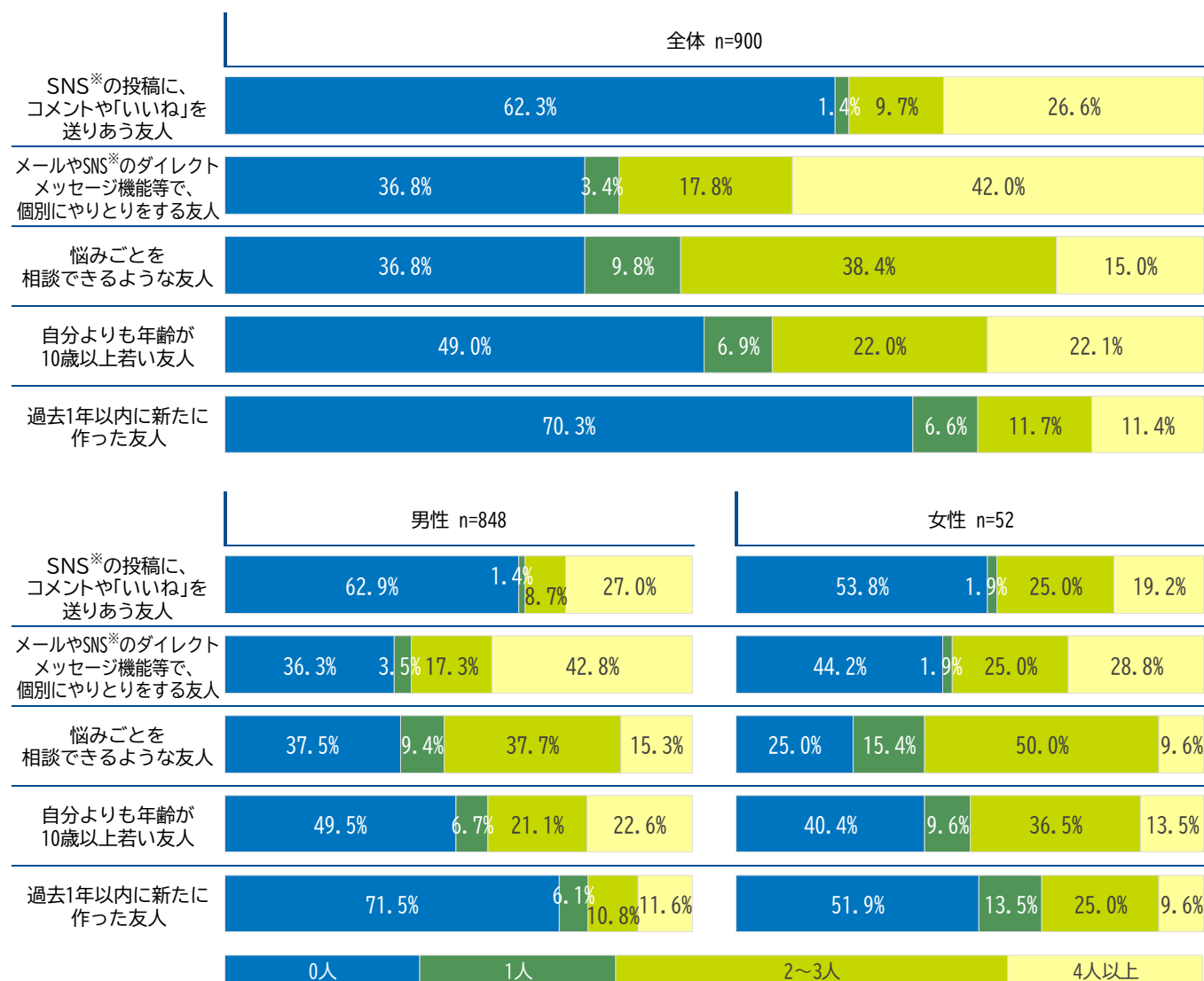
### 8.1. 友人の数

友人の数について尋ねたところ、「過去1年以内に新たに作った友人」が「0人」との回答が最も多く全体の7割を超え、「SNS※の投稿に、コメントや『いいね』を送りあう友人」が「0人」との回答も6割を超え次いで多い。

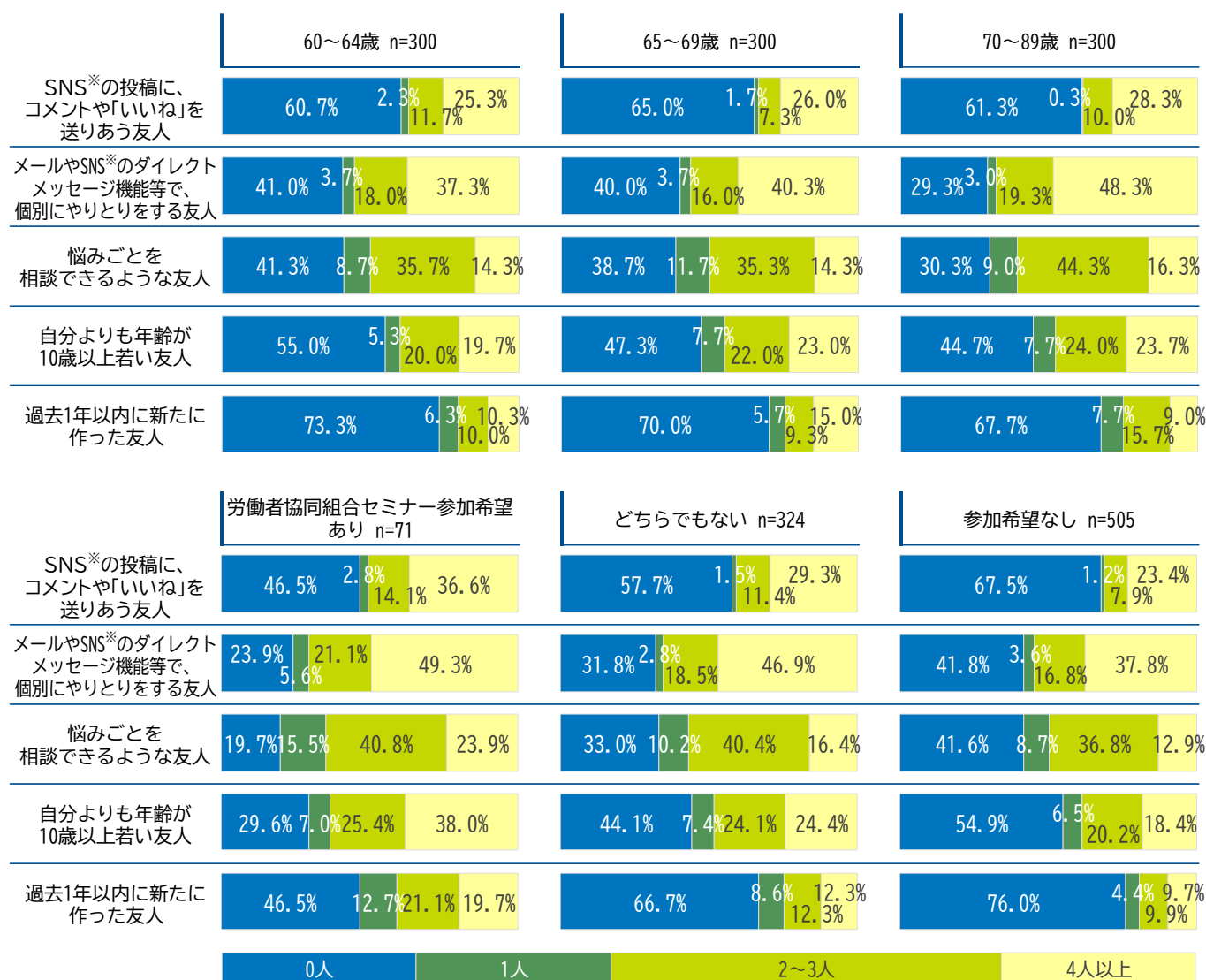
女性は「過去1年以内に新たに作った友人」が「0人」との回答が約5割と少なく、「SNS※の投稿に、コメントや『いいね』を送りあう友人」が「2～3人」との回答が約3割と多い。年齢の高い層ほど「メールやSNS※のダイレクトメッセージ機能等で、個別にやりとりをする友人」が「0人」との回答が少なく、「4人以上」との回答が多い傾向が見える。

また、労働者協同組合セミナー参加希望ありの層は「自分よりも年齢が10歳以上若い友人」と「SNS※の投稿に、コメントや『いいね』を送りあう友人」が「0人」との回答が少なく、「4人以上」との回答が多い。

図表8.1. 友人の数(単一選択)



※ X(旧Twitter)、Instagram、TikTok、Facebook等

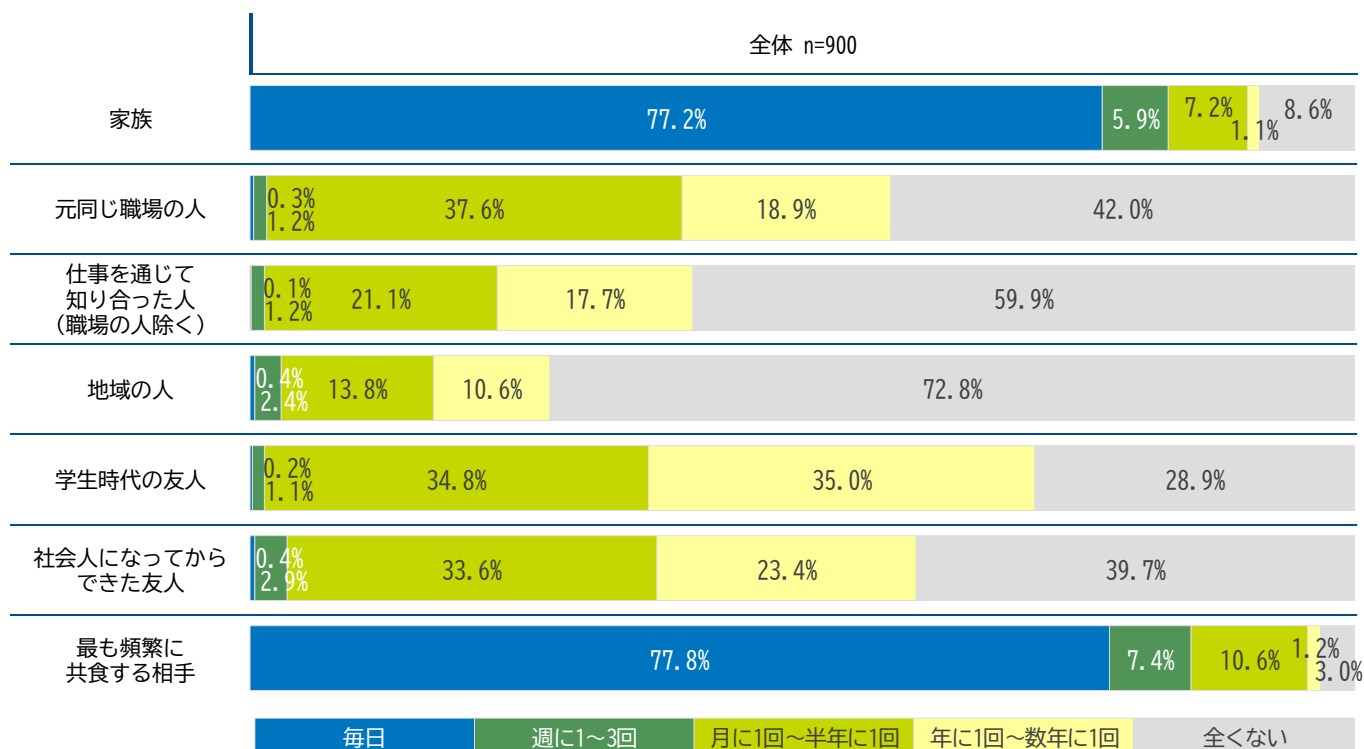


## 8.2. 共食

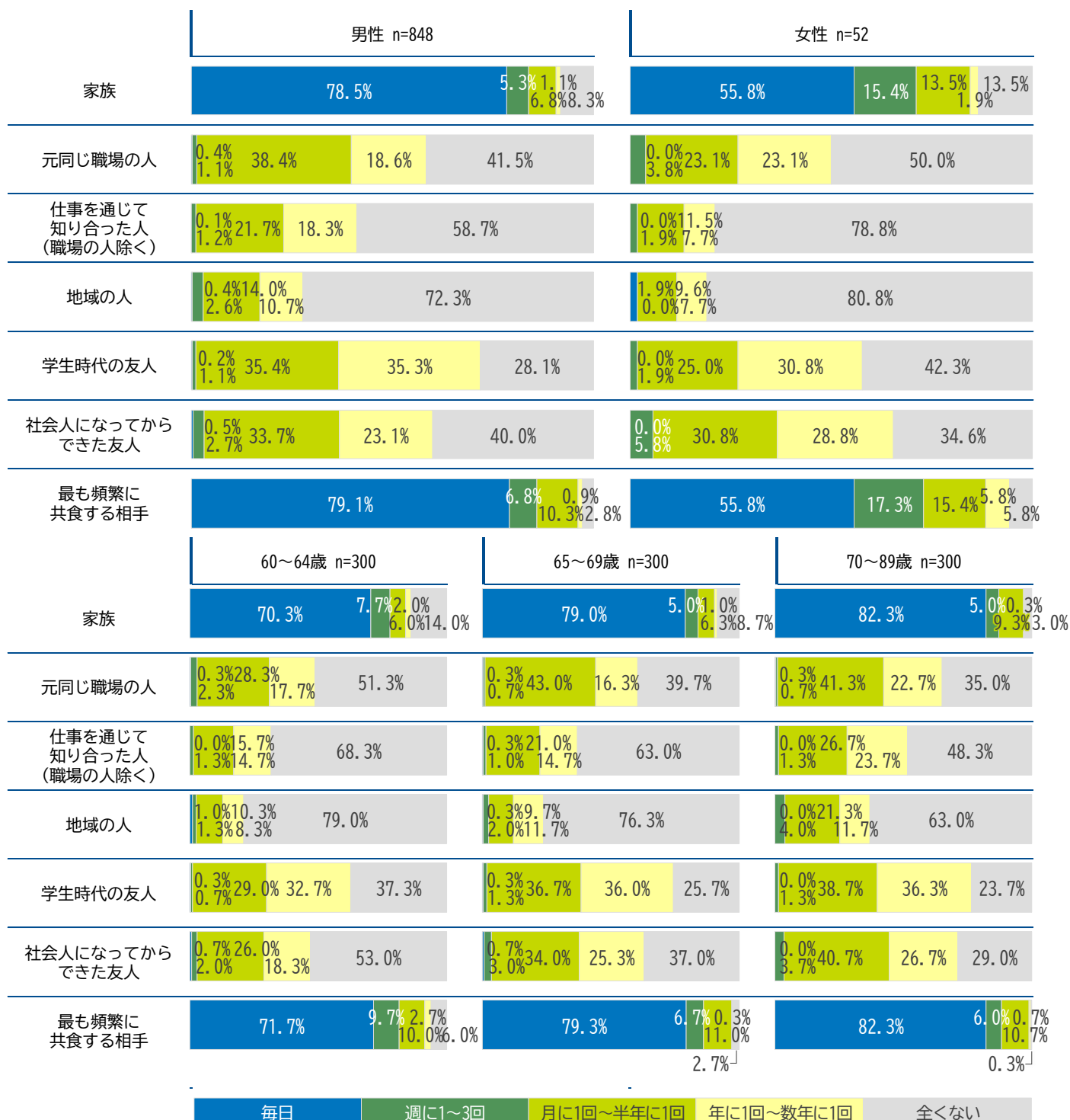
さまざまな相手と「共食(共に食事をする事)」する頻度を尋ねたところ、すべての共食相手のうち「家族」と「毎日」を選択した人が約8割で最も多い。「学生時代の友人」は「年に1回～数年に1回」が4割、「月に1回～半年に1回」が3割である。他の相手は「全くない」が最も多い。

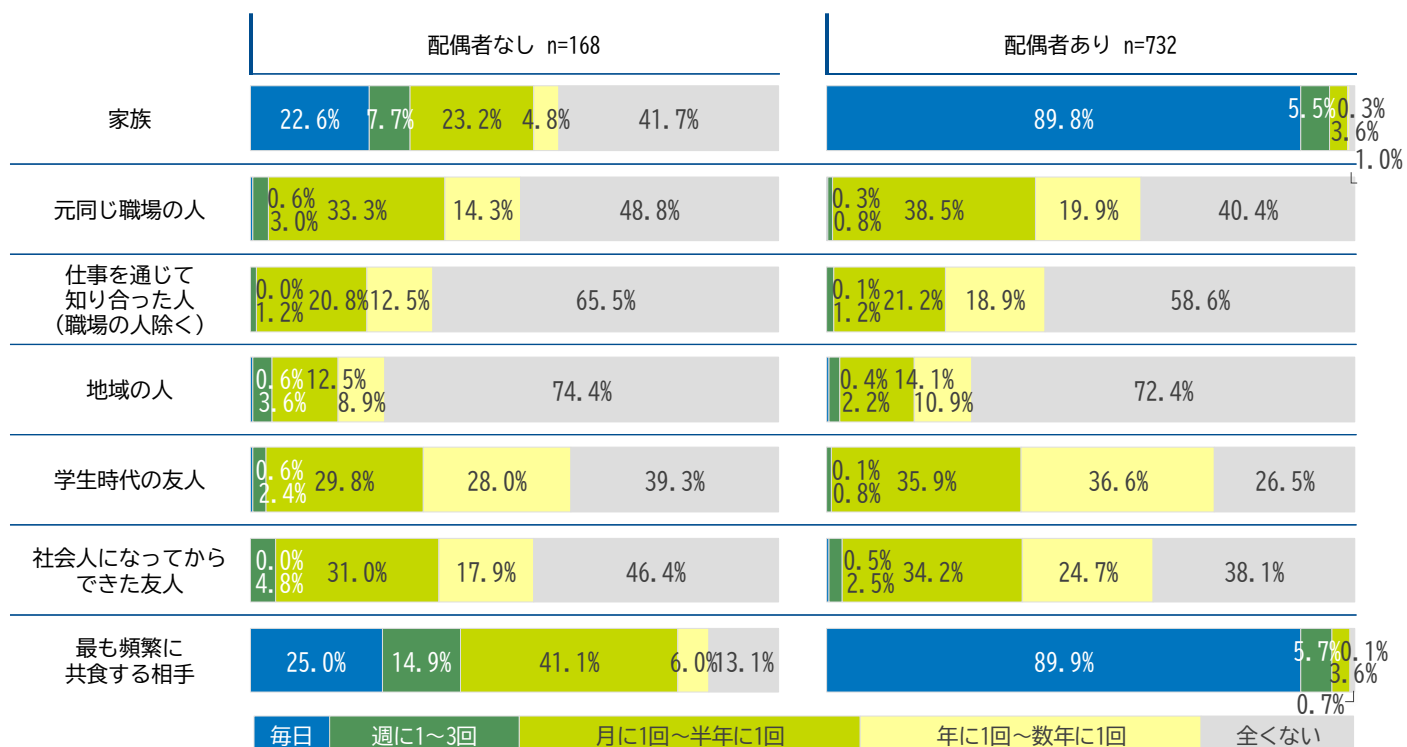
女性は「家族」と「毎日」との回答が約6割、「元同じ職場の人」と「月に1回～半年に1回」も約2割と少ない。一方で「仕事を通じて知り合った人(職場の人除く)」「学生時代の友人」は「全くない」がそれぞれ約8割、約4割と多い。若い層ほど「社会人になってからできた友人」「仕事を通じて知り合った人」が「全くない」が多い傾向が見える。配偶者ありの層は「家族」と「毎日」が約9割、配偶者なしの層は「全くない」が約4割、「月に1回～半年に1回」が約2割である。

図表8.2. 共食(単一選択)



※ その他の共食相手として、家族の友人、友人の友人、恋人、知人、留学生、海外の友人、当日初対面の人などがあつた。



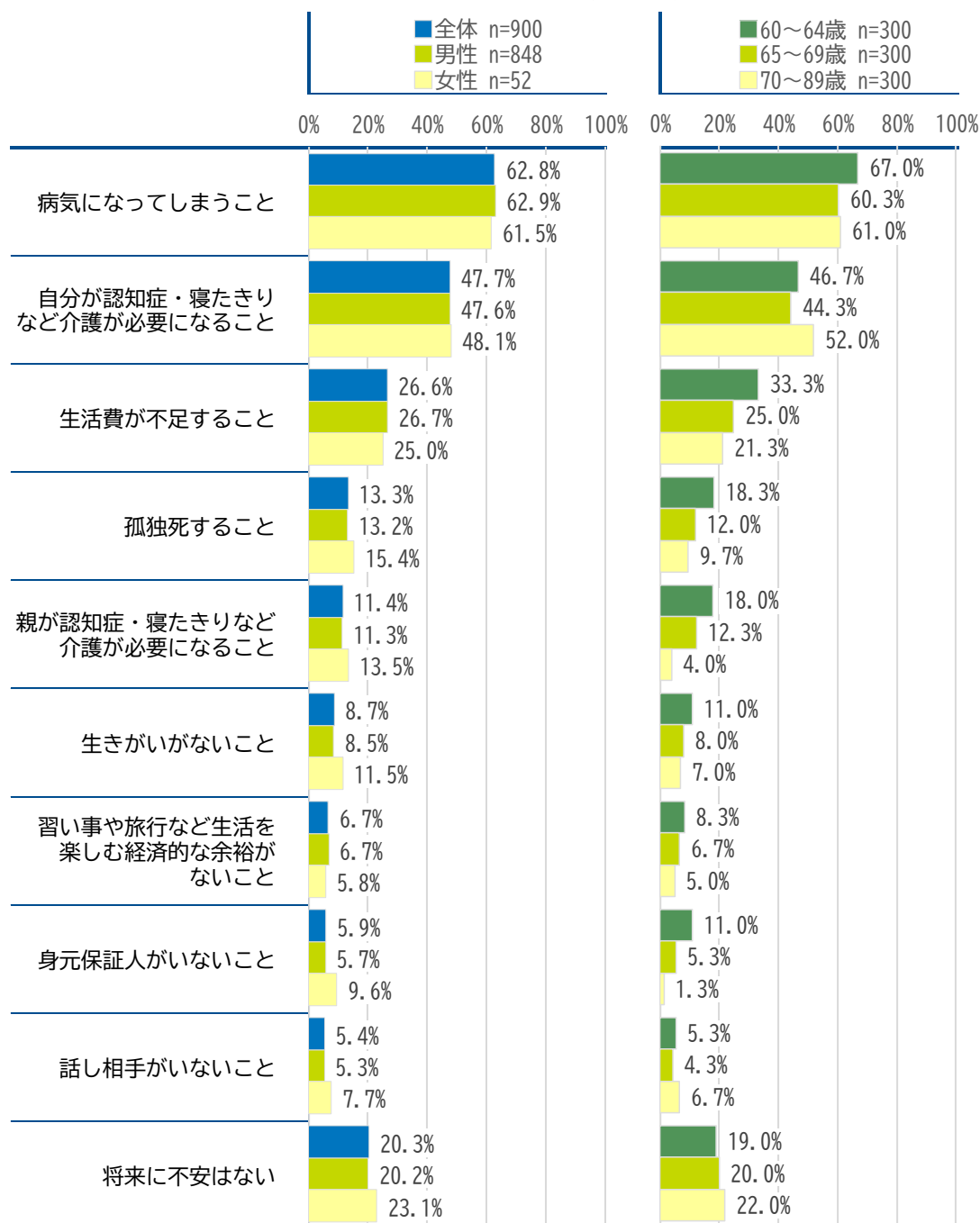


## 8.3. 将来の不安

将来の不安について尋ねたところ、「病気になってしまうこと」との回答が6割を超えて最も多く、次いで「自分が認知症・寝たきりなど介護が必要になること」を半数近くの回答者があげた。一方で「将来に不安はない」との回答も2割を超えた。

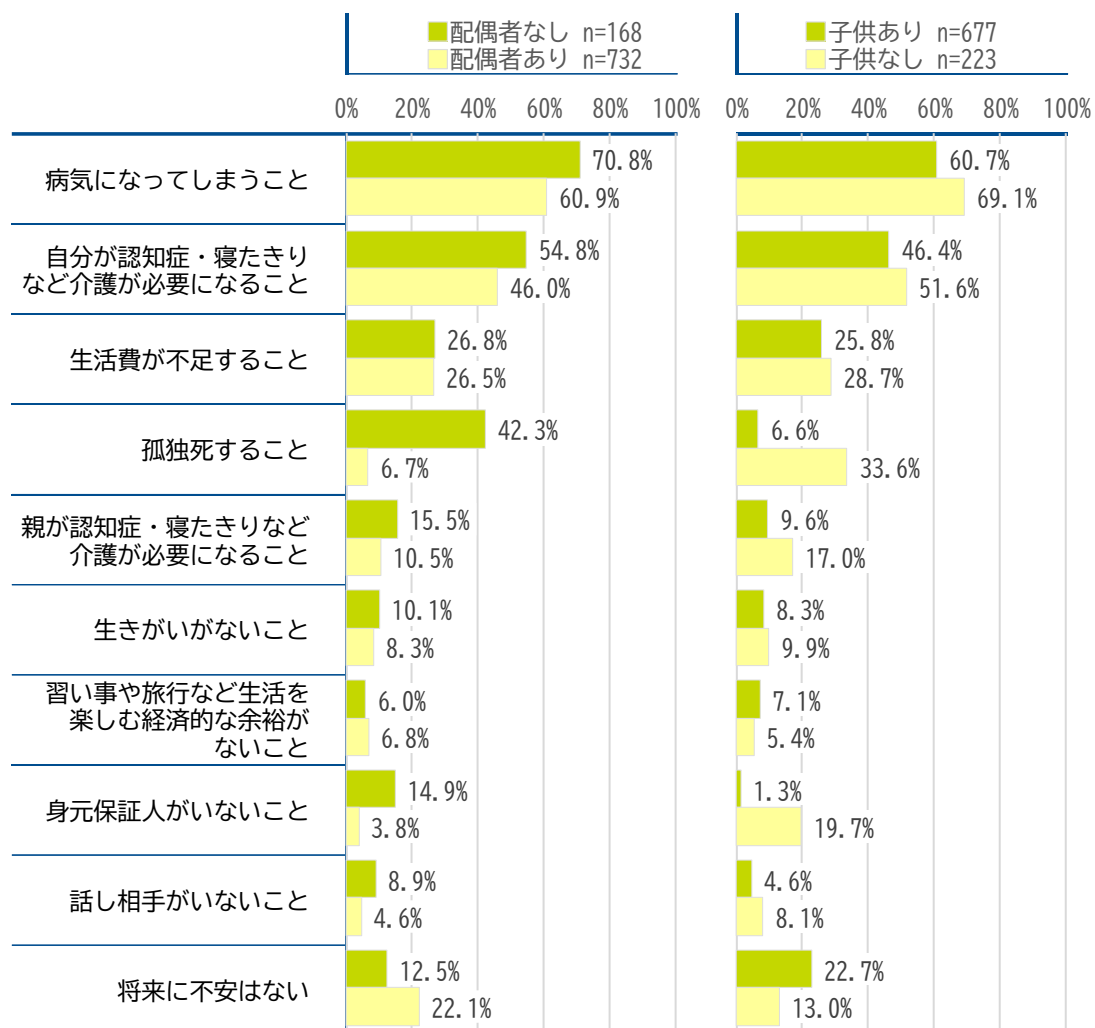
男女別、年齢別で大きな差異は見られない。「孤独死すること」は配偶者なしの層で約4割、子供なしの層で約3割と多い。子供なしの層「身元保証人がいないこと」も約2割と多い。

図表8.3. 将来の不安(複数選択)



※ 選択肢「住まいを確保すること」「仕事がなくなってしまうこと」「その他」の選択は、5%に満たなかった。

※ 選択肢「その他」には、病気ではないがフレイルになること、妻が病気になること、妻が認知症・寝たきりなどの介護が必要になること、子・孫の将来、子・孫の生活力不足、意識するようなものはないなどがあつた。



## 9. 社会や政府、企業への意見

社会や政府、企業に対して感じていることを、自由記述で回答を依頼したところ、以下のような回答を得た。

経済的不安（一部抜粋） 同様回答29件

- 貧富の差がますます大きくなっている気がする。（60代前半）

物価高（一部抜粋） 同様回答27件

- 物価の上昇を止めてほしい。（70代以上）

政治不信（一部抜粋） 同様回答98件

- 税金の無駄遣いばかりしているので、もっと議員の数や報酬を減らして、税金を安くしてほしい（60代前半）
- 金に絡む政治を終わらせることを望んでいます。（60代後半）
- 政府はもっと国民のことを考えて政治をしてほしい。（60代後半）
- 日本政府はもっと日本人の幸福のための政策に取り組むべき。（60代後半）
- 政府に長期的視野、方針がないため停滞状態が続いている（70代以上）
- 政府は民意がわかっていない（70代以上）

政治家の資質（一部抜粋） 同様回答20件

- 国の将来を任せられる人材がいない。（70代以上）

政策への意見（一部抜粋） 同様回答14件

- 自国の産業や農業政策をしっかりとやって欲しい。（60代後半）

少子化高齢化への意見（一部抜粋） 同様回答19件

- 少子高齢化対策を将来にわたって計画的に行うべき（70代以上）

財政について（一部抜粋） 同様回答18件

- 税金が上がっているが、その使い道に納得できないことがある。（60代後半）

社会保障について（一部抜粋） 同様回答19件

- 税金や国民健康保険料が高い。（60代前半）

弱者への配慮（一部抜粋） 同様回答7件

- 政府は弱者救済を主眼に活動してほしい（60代前半）

将来不安（一部抜粋） 同様回答24件

- 未来に展望が持てる社会であってほしい（60代後半）

年金問題（一部抜粋） 同様回答25件

- 年金が少ないと思う（60代前半）
- 年金生活者にも物価高に対応できるだけの年金アップを考えてほしい（70代以上）

地球環境（一部抜粋） 同様回答6件

- 地球環境保護に最も政治の力を向けてほしい（70代以上）

外国との関係（一部抜粋） 同様回答24件

- 日本の国力が落ちないように必要な政策を実施してほしい（60代前半）
- 国際的な混乱が心配（60代後半）

---

高齢者への対応（一部抜粋） 同様回答35件

- もっと高齢者を活用すべき（60 代後半）
- これからの高齢者社会がどうなっていくのか不安（70 代以上）
- 年寄りに優しい国でありますように（70 代以上）

---

若い世代への意見・要望（一部抜粋） 同様回答8件

- 若い世代が心配（70 代以上）

---

社会への不満（一部抜粋） 同様回答61件

- 非正規雇用をなくすべき。労働者に対する企業利益の分配率が低すぎる。（60 代前半）
- 格差社会の是正（60 代後半）
- 個人主義が強くなり過ぎて他者との関わりを避ける傾向が強くなっている（60 代後半）
- 住みやすい日本を目指して欲しい。（60 代後半）

---

定年への意見（一部抜粋） 同様回答11件

- 定年の年齢を上げてほしい（70 代以上）

---

企業への不満（一部抜粋） 同様回答5件

- 新入社員や若年層のみ賃金を優遇し、今まで働いてきた人たちに冷たい（60 代後半）

---

日本らしさ（一部抜粋） 同様回答9件

- 日本の良さが失われている。（60 代後半）

## 10. 図表索引

設問ごとに集計条件別グラフの掲載箇所の、章番号の一覧表をあげる。集計条件の詳細は、水色行の章番号に対応する回答者の属性とクロス集計の分類を参照されたい。

| 設問                         | 単純集計          | 男女別           | 年齢別           | 配偶者<br>有無別  | 子供有無別       | 健康状態別       | 職位別           | 就業制度別         |
|----------------------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|---------------|---------------|
|                            |               | <u>1.1.</u>   | <u>1.2.</u>   | <u>1.3.</u> | <u>1.4.</u> | <u>1.5.</u> | <u>1.6.</u>   | <u>1.7.</u>   |
| 就職活動時と現在のキャリア意識            | <u>2.1.</u>   | <u>2.1.</u>   |               |             |             |             |               |               |
| 元勤め先や生活の捉え方                | <u>2.2.</u>   | <u>2.2.</u>   |               |             |             |             |               |               |
| 職業生活で携わった仕事                | <u>3.1.</u>   | <u>3.1.</u>   |               |             |             |             |               |               |
| 身につけたスキルや資格                | <u>3.2.</u>   | <u>3.2.</u>   |               |             |             |             |               |               |
| 働いていない理由                   | <u>4.1.</u>   | <u>4.1.</u>   | <u>4.1.</u>   |             |             | <u>4.1.</u> |               |               |
| 会社組織で導入されていた両立支援に関する取組みや制度 | <u>4.2.</u>   | <u>4.2.</u>   |               |             |             |             |               |               |
| 65歳まで勤めなかった理由              | <u>4.3.</u>   |               |               |             |             | <u>4.3.</u> |               |               |
| 再就職活動                      | <u>4.4.</u>   | <u>4.4.</u>   | <u>4.4.</u>   |             |             |             | <u>4.4.</u>   | <u>4.2.1.</u> |
| 再就職活動を行った際の相談先             | <u>4.5.</u>   |               | <u>4.5.</u>   |             |             |             | <u>4.5.</u>   |               |
| 何歳まで働きたいか                  | <u>4.6.</u>   | <u>4.6.</u>   |               |             |             |             |               | <u>4.2.2.</u> |
| 働きたい理由                     | <u>4.7.</u>   |               | <u>4.7.</u>   |             |             |             | <u>4.7.</u>   |               |
| 再就職しても良いと感じる仕事             | <u>4.8.</u>   |               | <u>4.8.</u>   |             |             |             | <u>4.8.</u>   |               |
| 希望する働き方のスタイル               | <u>4.9.</u>   |               | <u>4.9.</u>   |             |             | <u>4.9.</u> |               |               |
| ボランティア活動参加の有無              | <u>5.1.1.</u> | <u>5.1.1.</u> | <u>5.1.1.</u> |             |             |             |               | <u>4.2.3.</u> |
| 参加したボランティア活動               | <u>5.1.2.</u> |               | <u>5.1.2.</u> |             |             |             |               | <u>4.2.4.</u> |
| 参加したボランティア活動の有償/無償         | <u>5.1.3.</u> |               | <u>5.1.3.</u> |             |             |             | <u>5.1.3.</u> |               |
| やってみたいボランティア活動             | <u>5.2.</u>   | <u>5.2.</u>   | <u>5.2.</u>   |             |             |             |               | <u>4.2.5.</u> |
| 労働者協同組合法の認知                | <u>6.1.</u>   | <u>6.1.</u>   | <u>6.1.</u>   |             |             |             |               |               |
| 労働者協同組合セミナー参加意向            | <u>6.2.</u>   | <u>6.2.</u>   | <u>6.2.</u>   |             |             |             |               |               |
| アルムナイネットワークの有無と利用          | <u>7.1.</u>   | <u>7.1.</u>   | <u>7.1.</u>   |             |             |             | <u>7.1.</u>   |               |
| アルムナイネットワークの提供サービス         | <u>7.2.</u>   |               |               |             |             |             |               |               |
| 友人の数                       | <u>8.1.</u>   | <u>8.1.</u>   | <u>8.1.</u>   |             |             |             |               |               |
| 共食相手                       | <u>8.2.</u>   | <u>8.2.</u>   | <u>8.2.</u>   | <u>8.2.</u> |             |             |               |               |
| 将来の不安                      | <u>8.3.</u>   | <u>8.3.</u>   | <u>8.3.</u>   | <u>8.3.</u> | <u>8.3.</u> |             |               |               |

| 設問                            | 就業希望別        | ボランティア<br>経験別 | ボランティア<br>関心別   | 労協セミナー<br>参加意向別  | アルムナインネット<br>利用別 | 将来の<br>不安別    | 個別条件の集計                 |
|-------------------------------|--------------|---------------|-----------------|------------------|------------------|---------------|-------------------------|
|                               | <u>1. 8.</u> | <u>1. 9.</u>  | <u>1. 10.</u>   | <u>1. 11.</u>    | <u>1. 12.</u>    | <u>1. 13.</u> |                         |
| 就職活動時と現在のキャリア意識<br>勤め先や生活の捉え方 |              |               |                 | <u>6. 2. 1.</u>  | <u>7. 1. 1.</u>  |               |                         |
| 職業生活で携わった仕事                   | <u>3. 1.</u> | <u>3. 1.</u>  | <u>3. 1.</u>    | <u>6. 2. 2.</u>  |                  |               |                         |
| 身につけたスキルや資格                   | <u>3. 2.</u> | <u>3. 2.</u>  | <u>3. 2.</u>    | <u>6. 2. 3.</u>  |                  |               |                         |
| 働いていない理由                      | <u>4. 1.</u> |               |                 |                  |                  |               |                         |
| 会社組織で導入されていた両立支援に関する取り組みや制度   |              |               |                 |                  |                  |               |                         |
| 65歳まで勤めなかった理由                 |              |               |                 |                  |                  |               |                         |
| 再就職活動                         |              |               |                 | <u>6. 2. 4.</u>  |                  |               |                         |
| 再就職活動を行った際の相談先                |              |               |                 | <u>6. 2. 5.</u>  |                  |               |                         |
| 何歳まで働きたいか                     |              |               |                 |                  |                  |               |                         |
| 働きたい理由                        |              |               |                 | <u>6. 2. 6.</u>  | <u>7. 1. 2.</u>  |               |                         |
| 再就職しても良いと感じる仕事                |              |               |                 |                  |                  |               |                         |
| 希望する働き方のスタイル                  |              |               |                 | <u>6. 2. 7.</u>  | <u>7. 1. 3.</u>  | <u>4. 9.</u>  |                         |
| ボランティア活動参加の有無                 |              |               | <u>5. 1. 1.</u> | <u>6. 2. 8.</u>  |                  |               |                         |
| 参加したボランティア活動                  |              |               | <u>5. 1. 2.</u> | <u>6. 2. 9.</u>  |                  |               | <u>5. 1. 2.</u> 同種の活動希望 |
| 参加したボランティア活動の有償/無償            |              |               |                 |                  | <u>7. 1. 4.</u>  |               |                         |
| やってみたいボランティアや社会貢献活動           | <u>5. 2.</u> | <u>5. 2.</u>  |                 | <u>6. 2. 10.</u> | <u>7. 1. 5.</u>  |               | <u>5. 2.</u> 同種の活動経験    |
| 労働者協同組合法の認知                   |              |               |                 | <u>6. 1.</u>     |                  |               |                         |
| 労働者協同組合セミナー参加意向               | <u>6. 2.</u> |               | <u>6. 2.</u>    |                  |                  |               |                         |
| アルムナインネットワークの有無と利用            |              |               |                 |                  |                  |               |                         |
| アルムナインネットワークの提供サービス           |              |               |                 |                  | <u>7. 2.</u>     |               |                         |
| 友人の数                          |              |               |                 | <u>8. 1.</u>     |                  |               |                         |
| 共食相手                          |              |               |                 |                  |                  |               |                         |
| 将来の不安                         |              |               |                 |                  |                  |               |                         |